

幼兒教育学科

2021年6月4日 更新

2021年5月25日 更新

2021年4月14日 更新

2021年4月1日 更新

科目名	日本国憲法		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	わたなべ のぶひさ 渡辺 演久
ナバリングコード	PUL11101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	憲法はなぜ存在するのかを理解し、憲法は国家権力を縛ることによって、人権を保障していることを説明していく。また子どもの権利条約などの国際法や教育基本法との関連性についても講義していく。最終的には子どもにまつわる憲法上の諸問題について考えられる講義とする。							
到達目標	1. 憲法の制定目的について説明できる 2. 立憲主義について説明できる。 3. 子どもの人権について理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 4, 5 ）地域保育学科（ 1, 2, 4 ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス、憲法はなぜあるのか（立憲主義）	予習	憲法の前文を読む	復習	憲法の目的を理解する	
	第2回	内容	憲法は素晴らしいが、何の役に立つのだろうか？（憲法は誰に遵守義務があるのか）	予習	憲法は誰を縛っているのか調べる	復習	憲法尊重擁護義務について理解する	
	第3回	内容	戦後の日本はへそによって作られた（日本国憲法の制定過程）	予習	民間の憲法案を調べる	復習	民間の憲法案がどう反映されたかを理解する	
	第4回	内容	天皇の給料はお仕事にみあっているか（象徴天皇制）	予習	女性宮家について調べる	復習	現在の皇室をとりまく状況を理解する	
	第5回	内容	ウルトラマンは地球を守るために戦う？（平和主義と自衛隊）	予習	平和のための戦いはありうるのか考える	復習	平和主義について理解する	
	第6回	内容	自由が先か、平等が先か（法の下での平等）	予習	一票の格差とは何か調べる	復習	選挙制度について理解する	
	第7回	内容	大岡政談にみる黙秘権と無罪の推定（刑事司法における人権保障）	予習	事件報道について調べる	復習	無罪推定の意義について理解する	
	第8回	内容	言論の自由は「言いたいことを言う権利」ではない（言論の自由）	予習	民主政治には何が必要か調べる	復習	言論の自由の意義を理解する	
	第9回	内容	教育の主体は国家？それとも国民？（教育を受ける権利）	予習	学校教育の誕生について調べる	復習	教育を受ける権利について理解する	
	第10回	内容	幸福追求権の中身と自己決定（幸福追求権）	予習	学校のおかしな校則について調べる	復習	幸福追求権が人権の源になりうることを理解する	
	第11回	内容	参政権があるだけでは民主主義とはいえない（参政権と民意）	予習	自分の選挙区の選挙結果を調べる	復習	多数が民意とは限らないことを理解する	
	第12回	内容	統治機構は人権を守る手段である（法の支配）	予習	国家を支配しているのは誰か考える	復習	法の支配について理解する	
	第13回	内容	国会と国会議員の実像（立法機関）	予習	国権とは何か調べる	復習	三権分立について理解する	
	第14回	内容	内閣と議員内閣制の不思議（内閣）	予習	憲法の行政について読んでおく	復習	行政権の範囲について理解する	
	第15回	内容	まとめとレポート作成	予習	憲法にまつわる新聞記事を調べる	復習	憲法の視点から政治問題を考える	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題に関して授業で復習を行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 90%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（ 10%）							
教科書	『憲法のおもしろさ（第3版）』（山本聡・渡辺演久、北樹出版）							
参考文献	授業内で適宜紹介する							
注意事項	新聞記事等を通じて子どもをとりまく人権状況を取り上げるので、新聞などの報道に興味をもってほしい。							

科目名	体育実技	単位数	1	授業時間数	45	担当教員	かさい きたほら 笠井・北洞
カバリングコート*	DMB11101	授業形態	実技	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	本講義では、生涯にわたって運動・スポーツと親しむための基礎的技術の習得、正しい知識、実践方法について学ぶとともに、運動・スポーツを通して他者との関わり方について考えることをねらいとする。また、将来幼児教育者として必要な幼児の運動あそびに関する知識、技能、さらに子どもの指導や援助の技術について理解を深めることを目的としている。						
到達目標	1. 運動・ダンス・スポーツに親しむための基礎的技術を習得している。 2. 自己の身体に関心を持ち、健康の維持・向上を実践していく知識・方法を習得している。 3. 運動・ダンス・スポーツを通して協調性・社会性を身に付けている。 4. 幼児教育者として必要な幼児の運動遊びに関する基本的な知識と技能を習得している。						
学位授与方針	幼児教育学科(1・3・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	次にあげる3つのコースから選択できる。(第10時間までは共通) ① 平常コース ② 野外実習(9月初旬から3泊4日) ③ スキー実習(3月下旬3日間) (②③に係る費用は全額学生負担。) 履修方法、受講上の注意事項等について説明	予習	シラバス読み、本授業のねらい、内容について把握する。		
				復習	授業をもとに履修方法を定める		
	第2回	内容	からだの調整力を育むからだ遊びといろいろなハイハイ(四足移動)	予習	乳幼児期におけるハイハイの必要性を調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第3回	内容	マット遊び:回転遊び	予習	いろいろな回転の仕方を調べる		
				復習	授業内容とノートにまとめる		
	第4回	内容	レクリエーションスポーツ:バスケットボール	予習	バスケットボールの成り立ちを調べる		
				復習	バスケットボールに必要な体力をまとめる		
	第5回	内容	マット遊び:マットを道具にした遊び	予習	マットを利用した遊び方を調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第6回	内容	跳び箱遊び	予習	跳び箱を使った遊び方を調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第7回	内容	ボール遊び	予習	ボールを使った遊び方を調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第8回	内容	レクリエーションスポーツ:ソフトバレーボール	予習	バレーボールの成り立ちを調べる		
				復習	バレーボールに必要な体力をまとめる		
	第9回	内容	縄遊び:短縄・長縄	予習	縄を使った遊び方を調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第10回	内容	巧技台遊び①	予習	巧技台を使った遊び方を調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第11回	内容	巧技台遊び②	予習	巧技台遊びの効用をノートにまとめる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第12回	内容	レクリエーションスポーツ:バドミントン	予習	バドミンントンの成り立ちを調べる		
				復習	バドミントンに必要な体力を調べる		
	第13回	内容	鬼ごっこ遊び	予習	鬼ごっこの成り立ちを調べる		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第14回	内容	身近なものを使った遊び	予習	身近なものを使った遊びを考える		
				復習	授業内容をノートにまとめる		
	第15回	内容	まとめ	予習	1~14回で行ったことを復習する		
				復習	レポートあるいは小テストに答える		
	第16回	内容	いろいろなウォーミングアップ、幼児の体操	予習	幼児期の運動の意義について教科書を読んでくる		
				復習	本時の内容をノートに記入する		
	第17回	内容	幼児の運動あそび① 友達と関わって遊ぶ	予習	幼児期の運動発達について調べてくる		
				復習	年齢ごとの遊び方の工夫について考える		
	第18回	内容	幼児の運動あそび② 幼児の指導を想定して実践する	予習	指導法について教科書を読み要点を確認する		
				復習	指導実践の工夫や留意点についてノートにまとめる		

	第19回	内容	リズムカルに動く「ダンス」① グループで動きを工夫し作品を創る	予習	幼児期のダンスの意義について教科書を読みまとめる
				復習	動きを工夫する方法をノートにまとめる
	第20回	内容	リズムカルに動く「ダンス」② グループで作品を深める	予習	創作したい曲を選び、構成を考えてくる
				復習	本時の活動をまとめ、動きを練習してくる
	第21回	内容	リズムカルに動く「ダンス」③ グループごとに発表し鑑賞し合う	予習	グループで動きの練習をする
				復習	創作過程について振り返り感想と反省点を記入する
	第22回	内容	いろいろな用具を使った運動遊び ボール、フラフープ、縄を使った運動遊び	予習	用具を使う遊びについて教科書を読み留意点を確認する
				復習	本時の内容をもとにオリジナルな遊びを考える
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	レポート課題や小テスト提出の際、コメントを記入して返却する。 発表の際は、講評をする。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（20%）、作品・発表（20%）、実技（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）				
教科書	『運動あそび・表現あそび』（宮下恭子編、大学図書出版）				
参考文献					
注意事項	北洞：15回、笠井：7回 実技の際は、指定のジャージを着用すること。前期の実技は、「裸足」で行うことを基本とする。出席と意欲的な態度を評価の参考とする。 第1回②③の野外環境教育実習（夏・冬）に参加する際に係る各諸費用については、全額学生負担となる。				

科目名	体育実技		単位数	1	授業時間数	45	担当教員	きたはら たかし 北原 隆史
ナバリングコード	DMB11101		授業形態	実技	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	Comfort Zone（居心地のよい空間）の広がりとそのからのさらに一歩踏み出せる勇気と視点の多様性をテーマにして授業を展開する。そのため、その人なりの運動への関わり方を認め、その人なりのレベルで活動することにより、相互に影響しあう経験を共有する。また、運動環境を活かし、様々な視点から活動を考え工夫することから視点の多様性による可能性の広がりを体験的に理解することを目的とする。							
到達目標	1. 運動・スポーツの文化的価値の多様性について理解している。 1) 人と人との運動的な関わりを通してのコミュニケーションの意義を体験的に理解している。 2) 運動・スポーツに対する肯定的な視座を獲得している。 2. 協働的に課題に取り組みながら人と表現工夫することの意義を理解している。 1) 集団での表現活動、発表を通しての身体的表現活動の魅力を理解している。 2) 協働的に取り組むことの教育的な意義を体験的に理解している。 3) 協働的に取り組むことの達成感による帰属意識の高まりと自己肯定感への影響を体験的に理解している。 3. 運動・スポーツ文化を伝承する保育者としての基本的資質を獲得している。 1) 運動・スポーツを通しての人間観、人間関係の変化の要因について体験的に理解している。 2) 運動・スポーツを通して支援することの本質について体験的に理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3,4,7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス アイスブレイク			予習		
						復習		
	第2回	内容	グループコミュニケーション1 課題解決における相互作用の重要性			予習		
						復習		
	第3回	内容	グループコミュニケーション2 課題解決における課題解決の過程の重要性と支援の在り方			予習		
						復習		
	第4回	内容	長縄飛びによるグループワークトレーニング① 代表的な長縄飛び			予習		
						復習		
	第5回	内容	長縄飛びによるグループワークトレーニング② 目標設定と課題解決への取り組み			予習		
						復習		
	第6回	内容	様々な長縄跳びのバリエーションへの挑戦			予習		
						復習		
	第7回	内容	ボールを使つての運動遊び ① 基本的な動作を中心にして			予習		
						復習		
	第8回	内容	ボールを使つての運動遊び ② 様々なボール遊びのバリエーション			予習		
						復習		
第9回	内容	ソフトバレーボール ゲームを楽しむ			予習			
					復習			
第10回	内容	リズムカルに動く「ダンス・幼児体操」① 友達と関わって			予習			
					復習			
第11回	内容	リズムカルに動く「ダンス・幼児体操」② 動きの発見			予習			
					復習			
第12回	内容	リズムカルに動く「ダンス・幼児体操」③ 作品を創る			予習			
					復習			
第13回	内容	リズムカルに動く「ダンス・幼児体操」④ 発表会			予習			
					復習			
第14回	内容	新聞紙での遊びの体験と遊びの創作			予習			
					復習			
第15回	内容	紙飛行機の製作と記録会			予習			
					復習			
第16回	内容	仲間での運動遊び1 いろいろな鬼ごっこ			予習			
					復習			

	第17回	内容	仲間での運動遊び2 いろいろなナワ遊び	予習	
				復習	
	第18回	内容	仲間での運動遊び3 いろいろなナワ遊び	予習	
				復習	
	第19回	内容	卓球① 基本的技術の導入と基礎知識	予習	
				復習	
	第20回	内容	卓球② 技術の練習とゲーム	予習	
				復習	
	第21回	内容	バドミントン① 基本的技術の導入と基礎知識	予習	
				復習	
	第22回	内容	バドミントン② 技術の練習とゲーム	予習	
				復習	
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題等のフィードバックを行う。発表後、講評を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【意欲をもって積極的に取り組む姿勢】（30%）				
教科書	「子どもの運動・表現遊び～動きを通して育む心とからだ～」(宮下恭子編 大学図書出版)				
参考文献	使用しない。				
注意事項	実技の時は、必ず指定の運動着を着用して受講すること。 意欲をもって積極的に取り組む姿勢を評価する。 2) 野外実習、3) スキー実習に係る各諸費用については、全額学生負担となる。				



科目名	体育講義		単位数	1	授業時間数	15	担当教員	きたはら たかし 北原 隆史	
ナンバリングコード	DMB11102		授業形態	講義	実務経験				
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）								
授業の内容	健康や運動に関する情報があふれている現代社会において、それらに対応していく力をつけることが望まれる。よって、本講義では健康・運動・体力について正しい知識及び自らの健康の維持増進の方法を理解し、実践していく力を養うことができることを目的とする。								
到達目標	1. 健康に関する正しい知識を学び、健康的なライフスタイルを実践する力を身に付けている。 2. 食事や休息、運動実践の方法について具体的に理解している。 3. 幼児教育者としての自己の健康管理、子どもたちの健康・運動の援助指導を適切に実践できる基礎的知識を習得している。								
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,4,5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）								
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス 体育講義のねらい	予習	講義ガイダンスの事前確認				
				復習	運動技能の獲得について他の課題への取り組み				
	第2回	内容	健康・体力と生活①：現代社会と健康	予習	現代社会と健康について教科書を確認しておく				
				復習	各自のヘルスプロモーションを考える				
	第3回	内容	健康・体力と生活②：食事と健康	予習	食事と健康について教科書を確認しておく				
				復習	各自の食生活の目標設定をする				
	第4回	内容	健康・体力と生活③：体力と健康	予習	体力について教科書を確認しておく				
				復習	各自の体力を把握して体力維持向上プログラムを考える				
	第5回	内容	健康・体力と生活④：トレーニングの基本理論	予習	トレーニングの基礎理論を教科書で確認しておく				
				復習	学習したトレーニング理論に基づき各自のトレーニングを見直す				
	第6回	内容	スポーツと Quality of Life	予習	スポーツについて教科書を確認すると共に各自のスポーツのイメージを膨らませておく				
				復習	スポーツについての新たな発見を整理し、各自がプログラムした運動実践に取り組む				
	第7回	内容	運動スキルの発達と支援のあり方	予習	運動スキルについて下調べをしておく				
				復習	運動スキル発達について整理し、各自が取り組んでいる運動実践に活かす				
	第8回	内容	スポーツ障害と応急処置	予習	スポーツ障害と応急処置について教科書を確認しておく				
				復習	現在の救急の現状と救急処置のあり方を整理し理解を深める				
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題のフィードバックを行う。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）								
教科書	「大学生のための体育講義 今日つくる未来・今日を生きる知恵」（茗井香保里他、推誠舎）								
参考文献	使用しない。								
注意事項	授業は、11月頃より開始。詳細は、掲示にて連絡する。								

科目名	キャリアデザイン I	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	めい のぶた ほりうち 茗井・信田・堀内
ナンバリングコード	SEM11105	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔(状況により有)・その他( )						
授業の内容	この授業は、広い意味での「教養」を身につけるためのものである。授業を通して女性が直面している諸課題を明らかにし、女性が職場や地域社会で活躍することの意義について学習する。自分らしい生き方や働き方とは何か、主要なデータを読み解きながら、自己実現を図るための方法とキャリアデザインの重要性を理解する。						
到達目標	1. 社会人としてのマナーや礼儀作法を身につけることができる 2. 人生設計への目的意識をもって、自分らしく主体的に大学生活を送る姿勢を身につけている。 3. 成功事例を通して自己のキャリアデザインを描くことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科( 1,3 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、人生を支える健康	予習	自己紹介文を書いておく	復習	人生の4つの要素をノートにまとめる
	第2回	内容	自分らしさを育てる	予習	ライフキャリアとは何か考えておく	復習	ライフキャリア発達をノートにまとめる
	第3回	内容	大学の学びと将来のキャリアのイメージ	予習	シャインの8つのキャリアアンカーを調べておく	復習	自分の体験をキャリアアンカー論の視点からノートにまとめる
	第4回	内容	幸運を引き寄せるスキル	予習	ブランド・ハプスタンス理論について調べておく	復習	自分の体験をハプスタンス理論の視点からノートにまとめる
	第5回	内容	生きることと人生設計	予習	命とは何か考えておく	復習	命の終わりや人生についてノートにまとめる
	第6回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー① 社会の変化と女性の活躍	予習	尊敬する女性有名人とその理由について考える	復習	女性が働くことの意義についてノートにまとめる
	第7回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー② 現代女性のライフコース	予習	性別役割分業の意識と実態について調べる	復習	多様なライフコースについてノートにまとめる
	第8回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー③ ワーク・ライフ・バランス	予習	男女の家事分担と育休取得率について調べる	復習	WLBの実態と課題についてノートにまとめる
	第9回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー④ 自分の未来をデザインする	予習	ありたい姿(将来像)を明確化し自己理解を深める	復習	目標達成のためのアクションプランをノートにまとめる
	第10回	内容	女性の生き方・働き方とジェンダー⑤ 振り返りとまとめ	予習	最も印象に残った授業内容とその理由を考える	復習	授業を振り返り、自分の将来像をノートにまとめる
	第11回	内容	社会人としてのマナー①:言葉づかいと人間関係 のマナー	予習	社会人として大切な事は何か考えてみる	復習	日常生活で活用してみる
	第12回	内容	社会人としてのマナー②:電話のマナー、手紙・ はがきのマナー	予習	コミュニケーションを良くするために気を付ける事を考える	復習	日常生活で活用してみる
	第13回	内容	社会人としてのマナー③:職場のルール、来客応 対・席次のマナー	予習	働くという事を想像し大切な事や疑問を考える	復習	授業で学んだ事への理解を深め身につける
	第14回	内容	社会人としてのマナー④:箸使い・食事のマナー	予習	日本の食事について考え、自分の箸の使い方を振り返る	復習	食事の中でマナーを実践してみる
	第15回	内容	社会人としてのマナー⑤:立ち居振る舞い	予習	礼儀作法が何のために必要か考えてみる	復習	授業で学んだことを繰り返し練習し身につける
	予習に要する学習時間:概ね 30分を目安とする。 復習に要する学習時間:概ね 30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	次回の授業にて、小テストの解答を示し復習・指導する。 演習時に模範解答を示し説明指導する。レポートは赤ラインを引いて返却し、添削指導する。						
成績評価	試験期間における定期試験:実施( )する/( )しない 成績評価の方法:課題・レポート(50%)、実技・授業態度【積極的参加】(50%) ※この二つの評価を合計して最終的な評価を行う。						
教科書	なし						
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 『新生活教養』(近喰晴子他 建帛社) 『保育のマナーと言葉』(長島和代編、わかば社)						
注意事項	1. 卒業および資格取得のための必須科目なので、全員が履修すること。						

科目名	キャリアデザインⅡ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナンバリングコード	SEM11106		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	本授業では、受講者一人ひとりが、自分自身の価値観やこれまでの生き方、長所や短所などを把握し、これからの学生生活や生き方、働き方を考えていくための授業である。このような生き方や働き方を考えていく理論と方法であるキャリアデザインの基本を理解した上で、現在社会人として活躍している多様なキャリアについて聞き、2年次に始まる就職活動に向け、自分自身の職業生活についてイメージしていく。また、就職活動の流れや履歴書の書き方、自己PRなど就職活動の際に必要な技術についても具体的に学んでいく。							
到達目標	1. キャリアデザインの基本と方法について理解している。 2. 授業を通して自分の長所や短所、生活や行動のスタイル、価値観等について自己理解を深めようとする姿勢が身についている。 3. 先輩や卒業生、資格や免許を活かして働いている方の人生やキャリア、働き方等を参考に、自分のキャリアについて考えることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科( 1・3・5・7 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	キャリアデザインとは・これからキャリアを考えていくに当たって	予習	キャリアデザインノートの購入を行う	復習	キャリアデザインノートを読む	
	第2回	内容	職業のもつ多面的な意味	予習	教科書該当ページを読んでくる	復習	自分にとっての職業のもつ意味を考える	
	第3回	内容	キャリアデザインのための自己理解①偏愛マップ・ジョハリの窓～グループワークを行う～	予習	教科書該当ページを読む	復習	自分についてのワークに見直しを行う	
	第4回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格とその資格を生かした多様な職種について①保育士	予習	教科書該当ページを読む	復習	自分の地域の保育所を調べる	
	第5回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格とその資格を生かした多様な職種について②幼稚園	予習	教科書該当ページを読む	復習	自分の地域の幼稚園を調べる	
	第6回	内容	本学、幼児教育学科で取得できる資格とその資格を生かした多様な職種について③施設	予習	教科書該当ページを読む	復習	自分の地域の施設を調べる	
	第7回	内容	キャリアデザインのための自己理解②自己史チェックシート・自己PR～グループワークを行う～	予習	キャリアデザインノートの自己PRを読んでくる	復習	ノートを見返し自己理解を深める	
	第8回	内容	秋草OBからの仕事についての話①～保育所～	予習	教科書の指定ページを読む	復習	感想をまとめる	
	第9回	内容	秋草OBからの仕事についての話②～幼稚園～	予習	教科書の指定ページを読む	復習	感想をまとめる	
	第10回	内容	秋草OBからの仕事についての話③～施設～	予習	教科書の指定ページを読む	復習	感想をまとめる	
	第11回	内容	秋草OBからの仕事についての話④～企業～	予習	教科書の指定ページを読む	復習	感想をまとめる	
	第12回	内容	資格・免許を活かした多様な仕事について話を聞こう	予習	教科書の指定ページを読む	復習	感想をまとめる	
	第13回	内容	現代を取り巻く多様なライフサイクル・キャリアについて	予習	教科書の指定ページを読む	復習	ノートの振り返り・自分の考えをまとめる	
	第14回	内容	公立保育士について知ろう	予習	教科書の指定ページを読む	復習	ノートの振り返り・感想をまとめる	
	第15回	内容	先輩からの就職体験記・自分のキャリアをデザインする	予習	自分のキャリアについて考える	復習	今後のキャリアについて自分の考えをまとめる	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	ノート・レポート返却							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題( 80 %)、作品・発表( )%、実技( )%、授業態度【積極的参加】( 20 %)							
教科書	『保育者になるための初年次教育・キャリア教育』(浅井拓久也編著/北澤第3章担当・萌文書林) 『キャリアデザインノート』(秋草学園短期大学)							
参考文献	『大学生のキャリアデザイントレーニングーキャリア理論/自己理解/社会人基礎力』稲本恵子・晃洋書房							
注意事項	15回のうち、5回(OBからの話等)はオンラインにて実施予定 就職フェアの日程や形式により内容が前後する可能性あり							

科目名	キャリアデザインⅡ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	めい かおり 若井 香保里
ナンバリングコード	SEM11106		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面 ・ <u>遠隔</u> ・ その他 ( )							
授業の内容	自らのライフキャリア（人生生活全般）を形成するための智慧、それをキャリアデザイン（人生設計）することに関する内容を扱う。ライフキャリアに関する基礎知識、キャリア発達理論を学び、自らの課題を発見して実践的に活用できる力の育成をめざす。							
到達目標	1. 自分らしさに気づき、自己表現できる 2. 自己発見、他者理解を深める姿勢が身についている 3. 修得した知識を実践的に活用できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1357 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、キャリアデザインとは 構成的グループエンカウンターの実践	予習	シラバスを熟読する	復習	本時のグループ活動についてノートにまとめる	
	第2回	内容	自己紹介とハンセンの4L理論	予習	自己紹介の内容を考える	復習	授業での学びをノートに書き、4Lと人生をまとめる	
	第3回	内容	自己分析とライフラインチャート	予習	自分の人生の出来事をノートに書いておく	復習	ライフラインチャートから、自分の考える幸福についてノートにまとめる	
	第4回	内容	シャインのキャリアアンカー8分類	予習	教科書や参考資料からキャリアアンカーの言葉の意味を調べておく	復習	シャインについて調べノートにまとめる	
	第5回	内容	キャリア教育の基礎理論 パーソンズ、スーパー、サビカス	予習	代表的なキャリア教育の基礎理論について調べておく	復習	教科書の該当ページを熟読する	
	第6回	内容	キャリアプラン、キャリアパス、ライフキャリア発達	予習	言葉の意味を調べておく	復習	授業を振り返り自分の課題としてノートにまとめる	
	第7回	内容	ライフキャリア発達課題	予習	教科書の該当頁を熟読する	復習	授業を振り返り自分の発達課題についてノートにまとめる	
	第8回	内容	外的キャリア、内的キャリア	予習	job と work の違いについて調べておく	復習	自分の仕事の価値をどこに置くか、ノートにまとめる	
	第9回	内容	クランボルツの計画的偶発性学習理論	予習	クランボルツについて調べておく	復習	自分のブランドハプスタンスをノートにまとめる	
	第10回	内容	トランジションとシュロスバーグの4S理論	予習	一般的な人生の転機の兆候や特徴について調べておく	復習	自分の人生の転機を振り返りノートに書く	
	第11回	内容	リアリティーショックとキャリアショック	予習	リアリティーショックとキャリアショックの言葉の意味を調べておく	復習	これらのショックから立ち直る方法を考える	
	第12回	内容	働く理由 グループディスカッション	予習	自分の働く理由をノートに書いておく	復習	自分の社会での役割は何なのかというテーマから、ディスカッションの内容をまとめる	
	第13回	内容	自己課題とキャリアプランニング	予習	キャリア形成における自己課題をノートに書いておく	復習	大学での学びを活用して自己課題を解決するためのアイデアをノートにまとめる	
	第14回	内容	人生設計のまとめ、 行動し、失敗を重ねて前進する力	予習	これまでのマイ講義ノートを読み返しておく	復習	これまでの授業を振り返り、学びと感想をマイ講義ノートに書きまとめる	
	第15回	内容	健康に生きること、人生、命	予習	教科書とこれまでのマイ講義ノートを読み返しておく	復習	これまでの授業を振り返り、学びと感想をマイ講義ノートに書きまとめ、その考えをを第三者に伝えられるようにする	
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	マイ講義ノートを集め、コメントを書き入れて返却する							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、授業態度【 積極的参加】（50%）							
教科書	『大学生のためのライフキャリアデザイン』（榎本和生他、(株)さんぼう）							
参考文献	『大学生のためのキャリアデザイン入門』（岩上真珠他、有斐閣）							
注意事項	必修科目の為全員が履修すること							

科目名	基礎演習 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸橋 聡美
ナンバリングコード	SEM11102		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	大学での学習に必要な基礎学力である語彙力や文章表現力、保育に関わる基礎用語や敬語等について学ぶ。これらは、社会人として、さらに幼稚園教諭免許や保育士資格取得のための保育の実践（実習）にて、必要な文章力（例えば実習生調査書や実習日誌、指導案作成）が求められる。そのため、授業を通して基礎学力の向上を目指し、グループワークやAL（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら学習する態度を身につける。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育分野の基礎的な用語を理解し、正しく書くことができる。</li> <li>2. 実習日誌や指導案作成など、保育者に必要な基礎的な文章表現力を見つけている。</li> <li>3. 手紙の書き方を正しく理解している。</li> <li>4. 敬語など、言葉での表現の仕方を正しく使うことができる。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1. 2. 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション/短大で学ぶこと/AL補習の説明	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	これから学ぶ内容を理解する			
	第2回	内容	入学前ワークブックの振り返り①1部（グループワーク）	予習	ワークブックを見直す			
				復習	ワークブックの1部を完成させる			
	第3回	内容	入学前ワークブックの振り返り②2部（3）について考える	予習	ワークブック2部（3）を確認する			
				復習	課題を完成させる			
	第4回	内容	4月の漢字/文章表現方法/保育の基礎用語	予習	教科書 p 16-17 を予習する			
				復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える			
	第5回	内容	5・6月の漢字/敬語での表現	予習	教科書 p 18-21 を予習する			
				復習	間違えた漢字を復習し覚える/敬語を覚える			
	第6回	内容	入学前ワークブックの振り返り③2部（1）（2）	予習	ワークブックを見直す			
				復習	間違えた箇所を復習し覚える			
	第7回	内容	敬語（言葉での表現方法・グループワーク）/9月の漢字/保育の基礎用語	予習	敬語のプリントを見直す/教科書 p 26-27 を予習する			
				復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える			
	第8回	内容	10月の漢字/手紙の書き方①構成・季語など	予習	教科書 p 28-29 を予習する			
				復習	間違えた漢字を復習し覚える/季語を調べる			
第9回	内容	手紙の書き方②手紙を書く	予習	手紙の書き方を理解する				
			復習	手紙を完成させる				
第10回	内容	12・2月の漢字/保育の基礎用語	予習	教科書 p 32-33. 36-37 を予習する				
			復習	間違えた漢字や基礎用語を復習し覚える				
第11回	内容	理想とする保育者像（グループワーク/ディスカッション）	予習	保育者の仕事を確認する				
			復習	自分の考えをまとめる				
第12回	内容	3月の漢字/レポートの書き方	予習	教科書 p 38-39 を予習する				
			復習	レポートの書き方について理解する				
第13回	内容	保育者になるために①文章表現/保育の基礎用語	予習	保育者に必要な資質を考える				
			復習	課題を完成させる				
第14回	内容	保育者になるために②作文	予習	保育者に必要な資質を整理する				
			復習	課題を完成させる				
第15回	内容	文章表現の確認・まとめ/保育の基礎用語	予習	文章表現・基礎用語の確認をする				
			復習	文章表現・基礎用語の振り返りをする				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題や確認テストに対し、返却し解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（40%）、小テスト（10%）、発表（30%）、授業態度【積極的な取り組み】（20%）							
教科書	『保育者になりたい人のためのワークブック～秋草学園短期大学・幼児教育学科の歩き方～』（秋草学園短期大学 幼児教育学科編） 『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社）							
参考文献								
注意事項	必修科目のため、全員が履修すること。各自意欲をもって取り組み、基礎学力の向上を図ること。AL（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。							

科目名	基礎演習Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸橋 聡美
ナンバリングコード	SEM11103		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本科目は、保育者に求められる語彙力、読解力、文章表現力を「基礎演習Ⅰ」からの継続として学修する。保育の基礎用語、文章表現力を身につけ、保育の実践記録の記入や読み取り、レポートの書き方など演習を通じて学ぶ。グループワーク等に参加し、A L（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら、学習する意欲・態度を身につける。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門科目を理解するための読解力が身につけている。</li> <li>2. 保育分野の基礎的な用語を説明できる。</li> <li>3. 実習日誌や指導案の作成の基礎となる文章表現力を身につけている。</li> <li>4. レポートの書き方を理解している。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	「基礎演習Ⅰ」の確認テスト/実習に向けてのワーク/A L 補習の説明			予習	「基礎演習Ⅰ」の確認・復習	
					復習	テストを振り返る		
	第2回	内容	保育の実践記録の文章表現方法/保育の基礎用語			予習	幼稚園のディリープログラムを確認する	
					復習	課題を行う。基礎用語の説明を要約する		
	第3回	内容	保育の実践記録（幼稚園①年少・解説）/保育の基礎用語			予習	課題①を読んでおく	
					復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する		
	第4回	内容	保育の実践記録（幼稚園②年中・解説）/保育の基礎用語			予習	課題②を読んでおく	
					復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する		
	第5回	内容	保育の実践記録（幼稚園③年長・解説）			予習	課題③を読んでおく	
					復習	課題③を行う。		
	第6回	内容	保育の実践記録（保育園①乳児・解説）/保育の基礎用語			予習	保育園の乳児クラスのディリープログラムを確認する/課題①を読んでおく	
					復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する		
	第7回	内容	保育の実践記録（保育園②幼児・解説）/保育の基礎用語			予習	保育園の幼児クラスのディリープログラムを確認する/課題②を読んでおく	
					復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する		
	第8回	内容	考察の書き方、エピソード記録の書き方			予習	教科書 p48～読んでおく	
					復習	課題を行う。		
第9回	内容	部分実習指導案①説明・文章表現/保育の基礎用語			予習	教科書 p 10～13 を読んでおく		
				復習	課題を行う/基礎用語の説明を要約する			
第10回	内容	部分実習指導案②絵本の読解/保育の基礎用語			予習	子どもの発達にあった絵本を選ぶ		
				復習	課題プリントを完成させる/基礎用語の説明を要約する			
第11回	内容	部分実習指導案③指導案作成・文章表現/保育の基礎用語			予習	教科書 p 54～57 を読んでおく		
				復習	指導案を完成させる/基礎用語の説明を要約する			
第12回	内容	部分実習指導案④グループワーク/保育の基礎用語			予習	課題プリントを読んでおく		
				復習	グループワークを元に指導案を修正する/基礎用語の説明を要約する			
第13回	内容	手紙の書き方②お礼状			予習	「基礎演習Ⅰ」手紙の書き方を確認する/実習を振り返る		
				復習	お礼状を完成させる			
第14回	内容	レポートの書き方Ⅱ①文献の調べ方			予習	文献を読む		
				復習	調べたことを整理し、まとめる			
第15回	内容	レポートの書き方Ⅱ③構成 /まとめ			予習	構成を考える		
				復習	レポートを清書する（提出）			
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	確認テストを返却し、コメントをする。課題作成後、解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30%）、課題（40%）、授業態度【積極的な課題への取り組み】（30%）							
教科書	『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社） / 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド』（小櫃智子編、わかば社）							
参考文献								
注意事項	必修科目のため、全員が履修すること。各自意欲をもって取り組み、基礎学力の向上を図ること。A L（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。							

科目名	基礎演習Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナンバリングコード	SEM11103		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本科目は、保育者に求められる語彙力、読解力、文章表現力を「基礎演習Ⅰ」からの継続として学修する。保育の基礎用語、文章表現力を身につけ、保育の実践記録の記入や読み取り、レポートの書き方など演習を通じて学ぶ。グループワーク等に参加し、A L（アクティブ・ラーニング）補習を活用しながら、学習する意欲・態度を身につける。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 専門科目を理解するための読解力が身につけている。</li> <li>2. 保育分野の基礎的な用語を説明できる。</li> <li>3. 実習日誌や指導案の作成の基礎となる文章表現力を身につけている。</li> <li>4. レポートの書き方を理解している。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	「基礎演習Ⅰ」の確認テスト/実習に向けてのワーク/A L 補習の説明	予習	「基礎演習Ⅰ」の確認・復習			
				復習	テストを振り返る			
	第2回	内容	保育の実践記録の文章表現方法/保育の基礎用語	予習	幼稚園のディリープログラムを確認する			
				復習	課題を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第3回	内容	保育の実践記録（幼稚園①年少・解説）/保育の基礎用語	予習	課題①を読んでおく			
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第4回	内容	保育の実践記録（幼稚園②年中・解説）/保育の基礎用語	予習	課題②を読んでおく			
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第5回	内容	保育の実践記録（幼稚園③年長・解説）	予習	課題③を読んでおく			
				復習	課題③を行う。			
	第6回	内容	保育の実践記録（保育園①乳児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の乳児クラスのディリープログラムを確認する/課題①を読んでおく			
				復習	課題①を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第7回	内容	保育の実践記録（保育園②幼児・解説）/保育の基礎用語	予習	保育園の幼児クラスのディリープログラムを確認する/課題②を読んでおく			
				復習	課題②を行う。基礎用語の説明を要約する			
	第8回	内容	考察の書き方、エピソード記録の書き方	予習	教科書 p48～読んでおく			
				復習	課題を行う。			
第9回	内容	部分実習指導案①説明・文章表現/保育の基礎用語	予習	教科書 p 10～13 を読んでおく				
			復習	課題を行う/基礎用語の説明を要約する				
第10回	内容	部分実習指導案②絵本の読解/保育の基礎用語	予習	子どもの発達にあった絵本を選ぶ				
			復習	課題プリントを完成させる/基礎用語の説明を要約する				
第11回	内容	部分実習指導案③指導案作成・文章表現/保育の基礎用語	予習	教科書 p 54～57 を読んでおく				
			復習	指導案を完成させる/基礎用語の説明を要約する				
第12回	内容	部分実習指導案④グループワーク/保育の基礎用語	予習	課題プリントを読んでおく				
			復習	グループワークを元に指導案を修正する/基礎用語の説明を要約する				
第13回	内容	手紙の書き方②お礼状	予習	「基礎演習Ⅰ」手紙の書き方を確認する/実習を振り返る				
			復習	お礼状を完成させる				
第14回	内容	レポートの書き方Ⅱ①文献の調べ方	予習	文献を読む				
			復習	調べたことを整理し、まとめる				
第15回	内容	レポートの書き方Ⅱ③構成 /まとめ	予習	構成を考える				
			復習	レポートを清書する（提出）				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	確認テストを返却し、コメントをする。課題作成後、解説をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30%）、課題（40%）、授業態度【課題取組】（30%）							
教科書	『改訂版 わかる・書ける・使える 保育の基本用語』（長島和代編、わかば社） / 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『実習日誌・実習指導案 パーフェクトガイド』（小櫃智子編、わかば社）							
参考文献								
注意事項	必修科目のため、全員が履修すること。各自意欲をもって取組み、基礎学力の向上を図ること。A L（アクティブ・ラーニング）補習を活用すること。							

科目名	基礎演習Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しみず すみこ 清水 澄子
ナンバリングコード	SEM11103		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	基礎演習Ⅰでは基本的な事項を学ぶが、基礎演習Ⅱでは「思考力」と「応用力」を鍛えることを目標とする。 保育に関する様々な問題をよく考え、考えたことを自分の職業生活に活かしていけるようにする。 秋草出身者が働く現場で「評価される人材」になることを目標に諸知識獲得に努力する。							
到達目標	1. 800字程度の文章がスムーズに書ける。 2. 保育に関する書物が最後まで読める。 3. 秋草短大出身者が働く場で評価されるに足る「話す力」を獲得している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2、4、5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス授業⇒レポート作成と提出	予習	基礎演習Ⅰを復習しておく。			
				復習	今後の勉強についての概略を理解する。			
	第2回	内容	子どもへの物語を読みこなす。	予習	好きな児童文学や絵本を読んでおく。			
				復習	子ども向きの物語の「深さ」を知る。			
	第3回	内容	表論文を読み、内容を理解する。	予習	文章を読むくせを付けておく。			
				復習	表論文も難しくはないことを知る。			
	第4回	内容	「子ども」の歴史を学ぶ。	予習	子どもの存在について考える。			
				復習	子どもが大切にされなかった時代を思う。			
	第5回	内容	日本における「昔の子ども」の苦勞を学ぶ。	予習	高齢者から子ども時代のことをきいてみる。			
				復習	昔の子どものたくましさを知る。			
	第6回	内容	子どもへの虐待の具体的事件から学ぶ。	予習	虐待事件を調べてみる。			
				復習	「ひどいね」だけでは解決しないことを知る。			
	第7回	内容	少子化がどのように進んだかを学ぶ。	予習	合計特殊出生率を調べておく。			
				復習	現代の子育ての大変さは何かを理解する。			
	第8回	内容	「お受験問題」を考える。	予習	有名小学校を調べておく。			
				復習	親の学歴志向の問題点を理解する。			
第9回	内容	子育てに係る費用を考えてみる。	予習	子ども一人に2000万円を調べておく。				
			復習	子どもが「贅沢品」になっている日本を理解。				
第10回	内容	今までの復習を行う。その時の話題も提供。	予習	今までの復習を行う。				
			復習	自分が知ったことを思い出しておく。				
第11回	内容	頑張って生きた保育士	予習	保育士の仕事を思い出しておく。				
			復習	苦勞を乗り切った「たくましさ」を理解する。				
第12回	内容	子どもへの話しかたを学ぶ 傷つける話しかたとは	予習	自分が言われて嫌だったことを思い出す。				
			復習	子どもを傷む言葉の恐ろしさを思い出す。				
第13回	内容	私が世話した不良少年・・・けなす大人、伸ばす大人	予習	小さな時の楽しかった思い出を復習する。				
			復習	子ども時代の大人の態度の大切さを自覚する。				
第14回	内容	みんなで討論・・・これからの保育士など	予習	今まで学んだことをまとめておく。				
			復習	話し合うことの大変さと楽しさを思い出す。				
第15回	内容	試験（論文作成）	予習	学んだことすべてをざっくり復習する。				
			復習	半年の勉強から学んだことを嘯みしめる。				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	前回にやったことを次回の最初の5分で必ず思い出してもらうようにする。10回目に一度、それまでのまとめを実施する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（ 50%）、作品・発表（ 20%）、実技（ %）、授業態度【やる気】（ 30%）							
教科書	プリント配布							
参考文献	新聞を適宜読む。							
注意事項	毎回、レポートを提出してもらい、考える力と書く力を身に付けてもらう。筆記具は準備すること。							

科目名	情報機器操作		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナバリンクコード	EDT11101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	Microsoft Office に含まれる事務処理系ソフトウェア群のうち、文書作成用ソフトウェア (Word)、表計算用ソフトウェア (Excel) およびプレゼンテーション用ソフトウェア (PowerPoint) の基本的な取り扱い方を学ぶ。 授業の後半では、各ソフトウェアの同時利用などの応用課題に取り組む。							
到達目標	1. 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法を習得している。 2. パソコン初心者は、「覚えるよりも慣れること」の大切さを理解している。 3. パソコン経験者は、「より賢いパソコン活用の仕方」を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科 ( 1, 3 ) 地域保育学科 ( ) 文化表現学科 ( )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス インターネットでのメール、Windows の基礎知識、日本語の入力、ソフトウェアの起動終了、その他	予習	シラバスを読んでおく。			
				復習	パソコンの基本操作を確実にやる。			
	第2回	内容	Word の学習① やさしい文書の作成、その他	予習	Word の編集画面の内容を理解する。			
				復習	適当な文章を用いて入力練習をする。			
	第3回	内容	Word の学習② 表の取り扱い、文書の修飾(フォント、下線、網かけ、レイアウト、等々)、その他	予習	表の取り扱い(Word の場合)について確認する。			
				復習	指定された課題(表付き文書)を作成する。			
	第4回	内容	Word の学習③ 文章の修飾(クリップアート、ワードアート、図・画像の挿入、ページ罫線)、その他	予習	文書の基本的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題(修飾付き文書)を作成する。			
	第5回	内容	Word の学習④ やや高度な文書加工(ページ番号、ヘッダー・フッター、段落、文字列の検索・置換)、その他	予習	文書の応用的な修飾機能について確認する。			
				復習	指定された課題(応用修飾付き文書)を作成する。			
	第6回	内容	Excel の学習① 基本的な表(数表)の作成、その他	予習	Excel の編集画面の内容を理解する。			
				復習	表作成を通して Word の操作との違いを理解する。			
	第7回	内容	Excel の学習② 表(数表)の作成(関数の取り扱い、文字の装飾、行・列の加工、等々)、その他	予習	資料類にて示された組み込み関数を確認する。			
				復習	指定された課題(計算付き数表)を作成する。			
	第8回	内容	Excel の学習③ より高度なデータ処理(条件判定、セル参照、グラフ)、その他	予習	条件判定の指定方法について確認する。			
				復習	指定された課題(条件付き数表)を作成する。			
第9回	内容	Excel の学習④ より高度なデータ処理(簡単なデータベース、フィルタリング)、その他	予習	入力値の並べ替え方法について確認する。				
			復習	指定された課題(入力値の抽出処理)を作成する。				
第10回	内容	PowerPoint の学習① スライド作成の基本(文字入力、スライドの挿入・削除・置換)、その他	予習	PowerPoint の編集画面の内容を理解する。				
			復習	指定された課題(簡単なスライド)を作成する。				
第11回	内容	PowerPoint の学習② スライド作成の応用(図表・画像の挿入、アニメーション効果)、その他	予習	スライドの応用的な修飾方法について確認する。				
			復習	指定された課題(前回の成果物の改良)を作成する。				
第12回	内容	Word および Excel の応用① 長文レポート(鑑賞文など)の作成、その他	予習	Word および Excel の基本操作を再確認する。				
			復習	指定された課題(両ソフトの同時利用)を作成する。				
第13回	内容	Word および Excel の応用② 各ソフトウェアの同時使用、Excel を利用した数学問題の解答、その他	予習	Word および Excel の応用操作を再確認する。				
			復習	指定された課題(数学問題の求解など)を作成する。				
第14回	内容	PowerPoint の応用 Word および Excel を併用した高度なスライドの作成、その他	予習	PowerPoint の基本操作を再確認する。				
			復習	指定された課題(授業時に指示する)を作成する。				
第15回	内容	全体のまとめ 幼児教育・保育の現場での情報メディア活用法について、各自の見解をまとめる。	予習	これまでに配布済みの全資料類に目を通しておく。				
			復習	授業時に指定された内容のレポートを作成する。				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出されたレポート・課題については、必要に応じて改訂増補された成果物の再提出を求める。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 ( )する / (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題 (50%)、授業態度【積極的参加】(50%)							
教科書	『Windows10 対応 30 時間でマスター Word2016』(実教出版企画開発部、実教出版株式会社) 『Windows10 対応 30 時間でマスター Excel2016』(実教出版企画開発部、実教出版株式会社)							
参考文献	『Windows10 対応 30 時間でマスター プレゼンテーション+PowerPoint2016』(実教出版企画開発部、実教出版株式会社)							
注意事項	1. 幼稚園教諭二種免許を必要とする人は、この科目の単位を修得すること。幼稚園教諭免許を必要としない場合であっても、パソコンの利活用能力は将来の業務分野を問わず、これからの時代にとって重要な本スキルの一つであることに鑑み、履修を推奨する。 2. パソコンの操作はピアノの演奏と同じく、触れる機会が多ければ多いほど早く上達する。							

科目名	英語	単位数	2	授業時間数	60	担当教員	なかじま なおき 中島 尚樹
ナバリンクコード	ENL11101	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	この授業は、実践的な英語力の基礎を身につけるためのものです。日常生活の身近な話題に関して、英語で理解し、表現できるようになることを目指して、基本的な文法と語彙の学習から英作文に至るまで発信型の練習をしていきます。また、英語の歌や月の名前の由来などの文化的な話題にも触れたいと思っています。						
到達目標	1. Be 動詞の構文（現在と過去）を正しく使うことができる。 2. 一般動詞の構文（現在と過去）を正しく使うことができる。 3. 日常生活の出来事を言い表すのに必要な基本的な語彙を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（3、7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	授業説明 (年間の授業の流れ、評価方法、履修上の注意点など)	予習	シラバスを読む。	復習	1年間の授業の流れを確認する。
	第2回	内容	Pre-Unit 品詞と語順 (英語の品詞と基本語順)	予習	Pre-Unit の部分を読んで、問題をやる。	復習	各品詞の例を自分で考えてみる。
	第3回	内容	文法：名詞と代名詞 (名詞と代名詞の種類、主格の代名詞)	予習	代名詞の分類を試みる。	復習	指示に沿って代名詞についてまとめる。
	第4回	内容	文法：Be 動詞の現在形(肯定文) (Be 動詞+名詞句/形容詞句/前置詞句)	予習	プリント1の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	プリント1の練習問題の訳をノートに書く。
	第5回	内容	文法：Be 動詞の現在形(否定文と疑問文) (Be 動詞+名詞句/形容詞句/前置詞句)	予習	プリント2の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	プリント2の練習問題の訳をノートに書く。
	第6回	内容	文法：Be 動詞の過去形 (肯定文、否定文、疑問文)	予習	プリント3の説明部分を読む。	復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。
	第7回	内容	Unit 1 First Day of Class (be 動詞の構文)	予習	テキストU1のGrammar Aidの部分を読む。	復習	U1のConversationのBを聞いて音読する。
	第8回	内容	文法：There 構文 (人やモノの存在を表す表現)	予習	プリント4の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	これまで出てきたBe 動詞の構文をまとめる。
	第9回	内容	文法：一般動詞の現在形(肯定文) (主語によって変わる現在形の動詞の形)	予習	プリント5の説明部分を読む。	復習	プリント5の練習問題の訳をノートに書く。
	第10回	内容	文法：一般動詞の現在形(否定文) (don't/doesn'tの区別と使い方)	予習	プリント6の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	プリント6の練習問題の訳をノートに書く。
	第11回	内容	文法：一般動詞の現在形(疑問文) (Do/Doesの区別と使い方)	予習	プリント7の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。
	第12回	内容	Unit 2 I love Bread (一般動詞の現在形)	予習	テキストU2のGrammar Aidの部分を読む。	復習	U2のConversationのBを聞いて音読する。
	第13回	内容	Unit 3 Pizza Time (可算名詞と不可算名詞)	予習	テキストU3のGrammar Aidの部分を読む。	復習	U3のConversationのBを聞いて音読する。
	第14回	内容	Unit 4 Not Just a Baker (代名詞：所有格、目的格)	予習	テキストU4のGrammar Aidの部分を読む。	復習	U4のConversationのBを聞いて音読する。
	第15回	内容	まとめ：be 動詞と一般動詞の現在形など。 (文法問題の練習と英作文)	予習	これまで学んだ構文を自分で整理する。	復習	これまで出てきた単語を整理し、まとめる。
	第16回	内容	文法：時点を表す副詞的な表現 (基本的な時間表現と前置詞の有無)	予習	これまで出てきた時間表現を書き出してみる。	復習	プリント8の時間表現を自分でまとめる。
	第17回	内容	文法：文型と前置詞 (文型と位置や移動を表す前置詞)	予習	これまでの空間関係の前置詞をまとめる。	復習	学んだ文型の具体例を書き出して整理する。
	第18回	内容	Unit 7 I Feel Healthy Already! (時と場所を表す前置詞)	予習	テキストU7のGrammar Aidの部分を読む。	復習	U7のConversationのBを聞いて音読する。
	第19回	内容	文法：一般動詞の過去形(肯定文) (規則動詞と不規則動詞)	予習	プリント9の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	リストにある不規則動詞の過去形を覚える。
	第20回	内容	文法：一般動詞の過去形(疑問文・否定文) (Did... と didn't の使い方)	予習	プリント10の説明部分を読み、例文を訳す。	復習	プリント10の練習問題の訳をノートに書く。
	第21回	内容	Unit 5 What's Wrong with Hitomi? (一般動詞の過去形)	予習	テキストU5のGrammar Aidの部分を読む。	復習	U5のConversationのBを聞いて音読する。

	第22回	内容	Unit 11 Hitomi wants a New Look (接続詞)	予習	テキストU11のGrammar Aidの部分を読む。
				復習	U11のConversationのBを聞いて音読する。
	第23回	内容	文法：Wh疑問文 (疑問詞が主語の場合とそれ以外の場合のWh疑問文)	予習	知っている疑問詞をまとめる。
				復習	出てきた疑問詞を整理し、例文を作る。
	第24回	内容	Unit 13 I'm Meeting a Friend (疑問詞)	予習	テキストU13のGrammar Aidの部分を読む。
				復習	U13のConversationのBを聞いて音読する。
	第25回	内容	文法：現在進行形 (現在時の動作の進行を表す表現)	予習	プリント11の説明を読む
				復習	プリント11の練習問題の訳をノートに書く。
	第26回	内容	文法：現在進行形と現在形 (現在進行形と現在形の違い)	予習	プリント12の説明部分の例文を訳す。
				復習	現在進行形と現在形の違いについてまとめる。
	第27回	内容	文法：過去進行形 (過去のある時点の動作の進行を表す表現)	予習	プリント13の説明部分を読む。
				復習	これまでの単語をまとめ、単語帳を作る。
	第28回	内容	Unit 6 It Won't Hurt (進行形)	予習	テキストU6のGrammar Aidの部分を読む。
				復習	U6のConversationのBを聞いて音読する。
	第29回	内容	Unit 8 Small Talk (未来形)	予習	テキストU8のGrammar Aidの部分を読む。
				復習	これまでの語彙と構文を整理して総復習する。
	第30回	内容	まとめ：一般動詞の過去形、現在・過去進行形など。 (文法問題の練習と英作文)	予習	これまでの構文を整理し、疑問点をまとめる。
				復習	試験に出る英作文を覚える。
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。					
課題へのフィードバック	試験は、試験後に解答についての解説をし、達成度に関するコメントを加えます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(90%)、授業態度【積極的な参加や真摯な学習態度】(10%)				
教科書	<i>English Aid</i> (Robert Hickling・白倉美里、金星堂)				
参考文献					
注意事項					

科目名	英語		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	ENL11101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（前期のみ遠隔で実施）							
授業の内容	<p>本授業は、英語の基礎学力と、基本的な英語のコミュニケーション能力を身に着けることを目標とします。</p> <p>幼児教育の現場で使う英会話や、英語の絵本の読み聞かせができ、季節のイベントを英語で説明する力等を身に着けます。</p> <p>また、幼児教育者の英語資格である「幼保英語検定（幼児教育・保育英語検定）」の対策を行います。</p>							
到達目標	<p>1. 英語の基礎学力（読む・書く・聞く・話す）を体得している。</p> <p>2. 幼保英語の基礎的な文法を理解したうえで、定型的なフレーズを用いた英語での会話ができる。</p> <p>3. 海外にルーツをもつ園児や保護者に対して、英語でコミュニケーションを取ることができる。</p>							
学位授与方針	幼児教育学科（2, 3, 5, 7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	授業ガイダンス（年間の授業の流れ、評価方法など）	予習	シラバスを読む			
				復習	1年間の授業の流れを確認する			
	第2回	内容	Unit 1: 挨拶・自己紹介	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと			
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える			
	第3回	内容	Unit 2: 園内の案内、道案内	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと			
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える			
	第4回	内容	Unit 3: 登園時の会話、体調を聞く	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと			
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える			
	第5回	内容	幼児教育・保育英語検定①：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する			
				復習	授業で解いた問題を復習する			
	第6回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する①	予習	地域性とシーンの関係性を調べる			
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる			
	第7回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう①：「うさぎとかめ」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく			
				復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする			
	第8回	内容	Unit 4: 工作時間の会話、英語で「かぐや姫」を読む	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと			
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える			
	第9回	内容	Unit 5: 園外散歩での会話、集団で行う園活動	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと			
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える			
	第10回	内容	Unit 6: 園庭での会話、英語で「桃太郎」を読む	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと			
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える			
	第11回	内容	幼児教育・保育英語検定②：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する			
復習				授業で解いた問題を復習する				
第12回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する②	予習	地域性とシーンの関係性を調べる				
			復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる				
第13回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう②：「金の斧銀の斧」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく				
			復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする				
第14回	内容	Unit 7: 保護者からの相談、食材の名前	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと				
			復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える				
第15回	内容	前期授業全体のまとめ	予習	既習項目について、得意・不得意を分析する				
			復習	既習項目について、不得意項目の克服を図る				
第16回	内容	Unit 8: お昼寝時間の会話、英語のジェスチャー	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと				
			復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える				
第17回	内容	Unit 9: 降園時の会話	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと				
			復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える				
第18回	内容	Unit 10: 園行事予定についての会話	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと				
			復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える				
第19回	内容	幼児教育・保育英語検定③：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する				
			復習	授業で解いた問題を復習する				
第20回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する③	予習	地域性とシーンの関係性を調べる				
			復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる				
第21回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう③：「ももたろう」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく				
			復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする				

	第22回	内容	Unit 11: ネイティブとの打ち合わせ	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第23回	内容	Unit 12: 体調不良の園児との会話	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第24回	内容	Unit 13: 保護者との電話、英語で「浦島太郎」を読む	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第25回	内容	幼児教育・保育英語検定④：幼保英語検定の問題に挑戦してみよう	予習	これまで教科書で学んだ語彙や会話を確認する
				復習	授業で解いた問題を復習する
	第26回	内容	幼児向け DVD・音楽を鑑賞する④	予習	地域性とシーンの関係性を調べる
				復習	保育現場で活用できるフレーズなどをまとめる
	第27回	内容	【発表】英語の絵本の読み聞かせをしよう④：「さるかにかっせん」	予習	発表用絵本の英語の発音や意味を確認しておく
				復習	英語での読み聞かせがスムーズに出来るようにする
	第28回	内容	Unit 14: 最後の日の会話、お礼の表現	予習	Unit の Your Vocabulary 問題を解いておくこと
				復習	授業で学んだ Unit の語彙と表現を覚える
	第29回	内容	クリスマスについて学ぶ①「赤鼻のトナカイ～Rudolph, the red nosed reindeer～」を英語で歌ってみよう。	予習	クリスマスについて調べる
				復習	歌を英語で歌えるようにする
	第30回	内容	クリスマスについて学ぶ②サンタクロースについての社説 'The New York Sun, written by Francis P. Church' を読む	予習	社説にでてくる単語を調べる
				復習	サンタクロースについて考える
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	単元の終了ごとに行う小テスト実施後に、解答についての解説を行います。発表に関しても、英語の発音等について講評します。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：作品・発表（40%）、授業態度【積極的参加】（60%）				
教科書	『Happy English for Childcare』（土屋麻衣子、金星堂）				
参考文献	なし（場合によって、プリントなどを配布します。）				
注意事項	辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。				

科目名	生活の科学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 きたの まさる なかむら よういち 北野 大・中村 陽一
ナバリングコード	ECE11101		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	<p>1. 現在の我が国の大気汚染や水質汚濁、廃棄物などのいわゆる公害問題及び地球温暖化、オゾン層破壊、森林破壊、砂漠化などの地球規模の環境問題の現状、原因及び対策について学ぶ。</p> <p>2. 地球温暖化に関連して我が国のエネルギー問題についても学ぶ。</p> <p>3. 食の安全について農薬や食品添加物について学ぶ。</p> <p>4. 地球にやさしい社会とするための新しい価値観及びライフスタイルについて学ぶ。</p> <p>5. 身近な作物の起源について学ぶ。</p>						
到達目標	<p>1. 現在の我が国の環境問題の現状について理解している。</p> <p>2. 地球規模の環境問題について理解している。</p> <p>3. 食の安全に関し、農薬や食品添加物の役割を理解している。</p> <p>4. 上記の理解に基づき、日常生活の中で環境に配慮した生活を送るよう意識している。</p> <p>5. 身近な作物の起源とその来歴を理解している。</p>						
学位授与方針	幼児教育学科(2.3.4.5) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション パート1 「地球と人間」 地球の誕生と生命の誕生 人口増加の現状		予習	教科書の目次の全体に目を通しておき、どのようなことを学ぶのか、あらかじめ理解しておくこと。またパート1, 2について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
			パート2 「地球温暖化」 地球温暖化問題 フロンによるオゾン層の破壊		復習	教科書のパート1, 2についてよく読みなおし、疑問点などのメモに対し、ノートなども参考にして回答を加えること。	
	第2回	内容	パート3 「原子力発電」 我が国の電源構成 原子力発電のプラスとマイナス面 放射性廃棄物問題		予習	教科書のパート3について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
					復習	教科書のパート3についてよく読みなおし、疑問点などのメモに対し、ノートなども参考にして回答を加えること。	
	第3回	内容	パート4 「大気汚染」 大気汚染の現状 PM2.5およびオキシダントの現状 酸性雨 自動車の排ガス対策		予習	教科書のパート4について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
					復習	教科書のパート4についてよく読みなおし、ノートなども参考にして。疑問点などのメモに回答を加えること。	
	第4回	内容	パート5 「水質汚濁」 水の汚れの数値化 川の汚れと生き物 排水処理の方法 トリハロメタンとは		予習	教科書のパート5について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
					復習	教科書のパート5についてよく読みなおし、疑問点などのメモに、ノートなども参考にして回答を加えること。	
	第5回	内容	パート6 「地下水汚染」 地下水の利用 地下水汚染の原因 土壌の役割		予習	教科書のパート6, 7について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
			パート7 「森林破戒」 森の役割 森林破壊の現状 絶滅危惧動物 生物多様性		復習	教科書のパート6, 7についてよく読みなおし、ノートなども参考にして。疑問点などのメモに回答を加えること。	
	第6回	内容	パート8 「資源循環」 資源の枯渇性 廃棄物の種類 ダイオキシン対策		予習	教科書のパート8, 9について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
			パート9 「食の安全性」 食料自給率 食品添加物 残留農薬		復習	教科書のパート8, 9についてよく読みなおし、ノートなども参考にして疑問点などのメモに回答を加えること。	
	第7回	内容	パート10 「食とアレルギー」 アレルギーとは シックスクール		予習	教科書のパート10, 11, 12について事前によく読み、理解しづらい点、不明な点などをメモに残しておくこと。	
			パート11 「戦争と環境問題」 パート12 「環境基本法」		復習	教科書のパート10, 11, 12についてよく読みなおし、ノートなども参考にして疑問点などのメモに、回答を加えること。	
	第8回	内容	「総復習」		予習	教科書のパート1から12について読みなおし、理解しづらかった点、不明な点などを改めてメモに残しておき、質問事項としてまとめておくこと。	
					復習	これまで学んだことがきちんと理解できているか、友人に説明することで自らの理解の程度を把握すること。	
	第9回	内容	身近な野菜の起源と伝播①アブラナ科の作物 突然変異と人為選択について		予習	事前に配布する資料を読む。	
					復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。	
	第10回	内容	身近な野菜の起源と伝播②ナス科の作物 作物の多様性について		予習	事前に配布する資料を読む。	
					復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。	

	第 11 回	内容	身近な野菜の起源と伝播③ウリ科の作物 メンデルの遺伝の法則について	予習	事前に配布する資料を読む。
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。
	第 12 回	内容	身近な野菜の起源と伝播④根菜類 農業の歴史について	予習	事前に配布する資料を読む。
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。
	第 13 回	内容	身近な穀物の起源と伝播①イネ科の作物 稲作の起源と伝播について	予習	事前に配布する資料を読む。
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。
	第 14 回	内容	身近な穀物の起源と伝播②マメ科の作物 農業と文明の起源について	予習	事前に配布する資料を読む。
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。
	第 15 回	内容	チャヤコーヒーなど嗜好作物の起源 嗜好作物の起源と歴史	予習	事前に配布する資料を読む。
				復習	授業で理解したことについてレポートを作成する。
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	アクティブラーニングとするために、授業中に質問を行う、また意見を求める。授業中に行う質問についてはその都度、正解を学生に与え、正解ごとにレポートの点数に 1 点加点する。意見は論理だったものであれば 1 点加点する。(北野) 授業終了 10 分前に、本日の講義について感想や質問のレポートを提出し、翌週にそれらについて回答する。(北野) Google Classroom を用いてレポート課題に対するフィードバックを行う。(中村) 必要に応じて、レポートに対する個人指導を行う。(中村)				
成績評価	試験期間における定期試験：実施 ( ) する / ( ○ ) しない 成績評価の方法：筆記試験 ( % )、レポート・課題 ( 90% )、作品・発表 ( % )、実技 ( % )、授業態度 ( 10% )				
教科書	「地球環境問題がよくわかる本」浦野紘平 オーム社 (平成 29 年)				
参考文献	必要に応じてその都度プリントを配布し、教科書の記述内容の補完をする。				
注意事項	第 1 回から 8 回の講義は北野が担当します。9 回から 15 回は中村が担当します。 この授業で学んだことを、ぜひ日常生活の中で実践してほしい。				

科目名	表現とアート	単位数	2	授業時間数	30	担当教員 しおぎき おぐち はせがわ 塩崎・小口・長谷川
ナバリンコート*	ARE11101	授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他( )					
授業の内容	領域「表現」に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや音環境、造形表現の効果的な使い方について学ぶ。また、総合的な表現をグループで検討・実践することで、保育者として必要な知識・技能やコミュニケーション力を高め、豊かな感性と表現力を身に付ける。さらに、ICTの生かし方について、実践的に学ぶ。					
到達目標	1. 見る・聴く・動く・作るなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができている。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができている。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができている。					
学位授与方針	幼児教育学科( 3, 7 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )					
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：総合的な表現について理解する。	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる	
				復習	本時の内容についてノートにまとめる	
	第2回	内容	発表の方法を理解し、グループの意見を集約してテーマとする童謡を選択する。	予習	テーマとする童謡を調べてくる	
				復習	テーマとした童謡の旋律や歌詞を確認する	
	第3回	内容	テーマとする童謡の歌詞が示す表現をもとにグループごとに発表内容の構成用紙をiPadで入力する。	予習	テーマとした童謡の旋律を理解し、歌詞を読み込む	
				復習	iPadで入力した授業内の話し合いを確認しながら、発表内容の概要をノートにまとめる	
	第4回	内容	舞台の使い方や照明効果について理解し、グループで計画する。	予習	生活の中での身体表現の題材について考えてくる	
				復習	本時の内容をノートにまとめる	
	第5回	内容	音や音楽の表現の効果について理解し、グループごとに計画をする。	予習	第1回の授業を確認しておく	
				復習	本時の内容についてノートにまとめ、遊びと音楽の関わり的重要性を理解する	
	第6回	内容	大道具、小道具などについての視覚的表現効果について理解し、グループごとに計画をする。	予習	身の回りの音に耳を傾けて音集めをしたり、音の質感について考えたりしてくる	
				復習	保育において音の質感を聞き取ることや音を創作して表現することの意義をノートにまとめる	
	第7回	内容	発表内容に合わせ、身体表現や音楽表現、造形表現を工夫し、全体の流れを動画や画像で記録する（ICTの活用）。	予習	発表内容の概要をふまえ、身体表現や音楽、造形表現の案を考えたり、関連する楽曲を調べたりする	
				復習	動画を確認し、身体表現や音楽表現の方法をノートにまとめ、動画を活用しながら練習する（ICTの活用）	
	第8回	内容	リハーサル（第1回）	予習	発表の内容を確認し、練習する	
			復習	各自で振り返り、修正箇所を考える		
第9回	内容	リハーサル（第1回）をふまえ、表現内容の修正点などについて検討する。	予習	発表の修正箇所をまとめる		
			復習	検討した内容をノートにまとめる		
第10回	内容	表現の再検討をふまえ、発表内容をブラッシュアップして最終案を検討する。	予習	練習のスケジュールを考える		
			復習	本時の動画等を活用しながら練習する（ICTの活用）		
第11回	内容	リハーサル（第2回）	予習	前時までの内容を確認し、発表の進行について理解を深める		
			復習	表現内容の修正点とその理由をノートにまとめる		
第12回	内容	発表会の準備：発表会の運営について理解し、計画する。	予習	前時までの授業内容を確認し、表現内容の修正案を考える		
			復習	本時の動画等を活用しながら練習する（ICTの活用）		
第13回	内容	発表会	予習	最終案を確認し、自分の役割を覚える		
			復習	発表の振り返りをふまえ、総合的な表現の要点をノートにまとめる		
第14回	内容	振り返り：発表会を振り返り、グループディスカッションをする。	予習	前時までのノートを確認し、総合的な表現についてまとめておく		
			復習	グループ討議をふまえ、総合的な表現の意義について、ノートにまとめる		
第15回	内容	まとめ：発表会をふまえ、総合表現とは何かを理解する。	予習	前時までのノートを確認し、音楽および身体表現、総合的な表現についてまとめておく		
			復習	総合的な表現の意義について、ノートにまとめる		
	予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。					
課題へのフィードバック	ノートや課題提出の際は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題 (30%)、作品・発表 (20%)、実技 (20%)、授業態度【積極的参加】(30%)					
教科書	後日連絡する					

参考文献	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版
注意事項	音楽表現の授業では、動きやすさや作業しやすさを考慮した服装で出席すること。身体表現の授業の際は、指定のジャージを着用すること。授業内容はノートに記録し、配布資料を貼るなどしてまとめること。 受講者数は、50名までとする。希望者が多い場合は抽選とする。 塩崎：15回、小口：15回、長谷川：15回

科目名	データサイエンス		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	ほしの おさむ 星野 治
ナンバリングコード	STS21101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面 ・ <u>遠隔</u> ・ その他 ( )							
授業の内容	本授業では、パソコンの表計算ソフトウェアを併用した統計処理の基本を学ぶ。 また、実際の集計データ（学外事業体が公開提供しているものなど）を用いて、データ処理業務の一端を模擬的に体験する。							
到達目標	1. データ処理演習を通して、データが内包する様々な情報の意味を理解できる。 2. パソコンを積極的に活用する作業について、その利便性や問題点を理解できる。 3. 今後の社会に必要とされる基本的な数理的思考や、データの分析・活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3,4,5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 統計学の基本①：統計学の成り立ちと意義	予習	シラバスを読んで、授業の流れを把握する。			
				復習	配布プリントを再読し、疑問点を整理する。			
	第2回	内容	統計学の基本②：いろいろな統計値の意味	予習	第1回授業時の配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第3回	内容	統計学の基本③：可視化を通して分かるデータの性質	予習	第2回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第4回	内容	統計学の基本④：様々な検定手法	予習	第3回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	追加配布プリントを再読する。			
	第5回	内容	第1回～第4回の授業の総括	予習	第4回授業までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出題された課題Ⅴの準備を始める。			
	第6回	内容	統計学演習①：平均値、中央値、標準偏差、分散、順位、偏差値、etc.	予習	第5回授業時の配布プリントを再読する。			
				復習	授業時に出題された演習問題Ⅰを手掛ける。			
	第7回	内容	統計学演習②：ABC分析、相関分析、回帰分析、etc.	予習	第5回・第6回の配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出題された演習問題Ⅱを手掛ける。			
	第8回	内容	統計学演習③：時系列分析、平均値の差の検定、分散の差の検定、etc.	予習	第5～7回までの全配布プリントを再々読する。			
				復習	授業時に出題された演習問題Ⅲを手掛ける。			
第9回	内容	統計学演習④：独立性の検定、相関の検定、重回帰分析、etc.	予習	第5～8回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	授業時に出題された演習問題Ⅳを手掛ける。				
第10回	内容	第6回～第9回の授業の総括	予習	第5～9回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	演習問題Ⅰ～Ⅳおよび既出の課題Ⅴを完成する。				
第11回	内容	実際の集計データの処理①：身近なデータ（身長と体重、etc.）の特徴を探る	予習	第10回授業時の配布プリントを再読する。				
			復習	追加配布プリントを再読する。				
第12回	内容	実際の集計データの処理②：自然科学系データ（地震情報、etc.）の数値処理を学ぶ	予習	第10～11回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	追加配布プリントを再読する。				
第13回	内容	実際の集計データの処理③：大規模データ（公共事業関連など）の分析を試みる	予習	第10～12回までの全配布プリントを再々読する。				
			復習	追加配布プリントを再読する。				
第14回	内容	第11回～第13回の授業の総括：実際の集計データに係る処理結果の発表と考察	予習	第11～13回までの処理結果をまとめておく。				
			復習	発表内容に対する各自のコメントを整理する。				
第15回	内容	全授業の総括	予習	これまでの全配布プリントを再度熟読する。				
			復習	授業時に出題された課題Ⅵを仕上げて提出する。				
	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業開講期間の後半において、実際の集計データに対する数値分析を履修者が分担して行い、その結果および解釈を互いに論評し合う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、作品・発表（25%）、授業態度【積極的参加】（25%）							
教科書	『やさしく学ぶ データ分析に必要な統計の教科書』（羽山 博著、株式会社インプレス刊）							
参考文献	プリントを随時配布するほか、必要に応じて紹介する。							
注意事項	1. 本授業で取り上げる統計処理は、いずれもMicrosoft Excelの標準搭載機能を利用している。そのため、本授業を受講することによって“統計学の基本知識の習得”および“Microsoft Excelの操作全般に係る総復習”の機会を得ることができる。 2. 上記「授業計画」の内容は、授業の実際の進行具合などに応じて、適宜変更されることがある。 3. 担当教員の業務都合などの理由により授業の開講日時が変更される場合は、教務課掲示板にて通知する。							

科目名	保育原理 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	あさい たくや 浅井 拓久也
ナンバリングコード	EDU12101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（遠隔授業を複数回実施する）							
授業の内容	保育学や幼児教育学に関する基本的な知識、理論、思想を学ぶことを目的とする。また、保育所実習につながるように、考える、話し合う、作る、演じる、発表するという、受講生の能動的な取り組みを取り入れた授業を行う。							
到達目標	1. 保育学や幼児教育学の基本的な知識、理論、思想を説明できる。 2. 保育所実習に生かせる自分の得意分野を身につけている。 3. 他者と対話を重ねながら主体的に学ぶ方法を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	保育原理を学ぶ理由とは	予習	シラバス及び教科書の目次を読む			
				復習	保育原理を学ぶ理由を3つ書く			
	第2回	内容	子ども・子育て支援新制度（1）	予習	地域型保育について調べる			
				復習	3施設の違いを理解する			
	第3回	内容	子ども・子育て支援新制度（2）	予習	利用者支援事業について調べる			
				復習	13事業の要点をまとめる			
	第4回	内容	保育士・保育所の専門性とは	予習	保育士に関する新聞記事を読む			
				復習	保育士の専門性を身につける方法を考える			
	第5回	内容	子どもの発達過程の即した保育（1）	予習	発達とは何か調べる			
				復習	月齢別の発達の特徴を理解する			
	第6回	内容	子どもの発達過程に即した保育（2）	予習	発達理論には何があるか調べておく			
				復習	発達に即した保育の事例を調べる			
	第7回	内容	保育の目標と方法	予習	保育所保育指針の第1章（1）を読む			
				復習	自分なりの保育の目標を3つ書く			
	第8回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育（1）	予習	倉橋惣三について調べる			
				復習	子どもにとっての生活の意味を考える			
第9回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育（2）	予習	環境を通した学びとは何かを考える				
			復習	環境構成のあり方についてまとめる				
第10回	内容	生活と遊びを通して総合的に行う保育（3）	予習	保育所保育指針の第2章を読む				
			復習	5領域とは何かまとめる				
第11回	内容	保育の計画（全体的な計画・指導計画）	予習	保育所保育指針の第1章（3）を読む				
			復習	保育の計画の役割についてまとめる				
第12回	内容	保育の計画（保育の記録）	予習	保育の記録には何があるか調べる				
			復習	保育の記録の役割についてまとめる				
第13回	内容	保育の思想と歴史の変遷（1）	予習	フレーベルについて調べる				
			復習	保育の思想と理論をまとめる				
第14回	内容	保育の思想と歴史の変遷（2）	予習	レジオエミアリアについて調べる				
			復習	プロジェクト活動とは何かまとめる				
第15回	内容	保育原理での学びを振り返る	予習	第1回から第14回までのノートを見直す				
			復習	保育原理から学んだことを書く				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（80%）、レポート・課題（10%）、授業態度【積極的参加】（10%）							
教科書	『マンガでわかる！保育所保育指針 2017年告示対応版』（浅井拓久也、中央法規出版）							
参考文献	『保育所保育指針（平成29年告示）』（厚生労働省、フレーベル館）							
注意事項	現役保育士によるゲスト講義や、あきくさ保育園園長によるゲスト講義を行う。（予定）							

科目名	保育原理Ⅱ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 あさい たくや 浅井 拓久也
ナンバリングコード	EDU12102		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（遠隔授業を複数回実施する）						
授業の内容	保育所保育指針や子ども子育て支援新制度等の成立過程や実際の運営状況を通じて、保育の原理や制度、現在の課題を深く理解する。また、保育学の論文を読むことで、保育の理論や研究方法を学ぶ。						
到達目標	1. 保育所保育指針や子ども子育て支援新制度の背景と課題を説明できる。 2. 保育学の論文の読み方や作り方を身につけている。 3. 量的調査および質的調査の基本的な設計ができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	あなた自身の問いを立てる	予習	シラバス及び教科書の目次を読む		
				復習	保育原理Ⅱを学ぶ理由を3つ書く		
	第2回	内容	保育所保育指針の概要：第1章	予習	保育所保育指針の第1章を読む		
				復習	保育所保育の特徴をまとめる		
	第3回	内容	保育所保育指針の概要：第2章	予習	保育所保育指針の第2章を読む		
				復習	養護の重要性についてまとめる		
	第4回	内容	保育所保育指針の概要：第3～5章	予習	保育所保育指針の第3～5章を読む		
				復習	事故防止・対策の原則についてまとめる		
	第5回	内容	保育所児童保育要録の概要と書き方	予習	保育所児童保育要録とは何か調べる		
				復習	幼稚園の要録との違いを調べる		
	第6回	内容	ドキュメンテーションの概要	予習	レジャージェミリアについて調べる		
				復習	レジャージェミリアについてまとめる		
	第7回	内容	ドキュメンテーションの活用方法	予習	保育所で活用している事例を調べる		
				復習	授業を踏まえて実際に自分で作る		
	第8回	内容	保育学における量的調査：方法論	予習	量的調査とは何か調べる		
				復習	多変量解析についてまとめる		
第9回	内容	保育学における量的調査：事例分析	予習	量的調査を行った論文を調べる			
			復習	自分なりの量的調査を設計する			
第10回	内容	保育学における質的調査：方法論	予習	質的調査とは何か調べる			
			復習	エスノメソドロジーについてまとめる			
第11回	内容	保育学における質的調査：事例分析	予習	質的調査を行った論文を調べる			
			復習	自分なりの質的調査を設計する			
第12回	内容	地域子育て支援拠点事業の概要	予習	地域子育て支援拠点事業とは何か調べる			
			復習	あなたが住んでいる地域の拠点施設を調べる			
第13回	内容	利用者支援事業の概要	予習	利用者支援事業とは何か調べる			
			復習	利用者支援専門員に関する新聞記事を読む			
第14回	内容	技術的熟達者と省察的实践者	予習	省察とは何か調べる			
			復習	自分なりの省察方法を考える			
第15回	内容	保育学の今後の展望と課題	予習	第1回から第14回までのノートを見直す			
			復習	保育原理Ⅱから学んだことを書く			
	予習に要する学習時間：概ね120分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（90%）、授業態度【積極的参加】（10%）						
教科書	『活動の見える化で保育力アップ！ドキュメンテーションの作り方&活用術』（浅井拓久也、明治図書）						
参考文献	『保育所保育指針（平成29年告示）』（厚生労働省、フレール館）						
注意事項	大学や大学院に進学を希望する等、保育学をより深く学びたい学生を対象とする。						

科目名	教育原理	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナンバリングコード	EDU12103	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	教育を受けることや学校に通えることはあたりまえのことなのか、という問題意識から「教育」や「学校」について考え直してみることを通して、単純に事象的そして経験的のみとらえることなく、本質的に理解するために必要な基礎的知識や考え方を習得することをねらいとし、未来を展望する教育のあり方や教育改革の方向性について、主体的に考えていくきっかけを提供していく。						
到達目標	1. 人間にとっての「教育」の必要性を理解することができる。 2. 歴史的に女性や子どもがどのように考えられていたかを理解している。 3. 学校制度の成立やその限界について理解でき、未来を展望した教育のあり方を模索することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 4・5・6 ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：履修上の注意や説明	予習	自分の教育上の経験について整理しておく。		
				復習	自分の教育経験についてまとめておく。		
	第2回	内容	「教育」を受けられることや「学校」に通うことについて考える	予習	教科書の指定箇所を熟読しておく。		
				復習	疑問に思ったことを整理しておく。		
	第3回	内容	教育の意義を考える	予習	野生児についての事例について調べておく。		
				復習	人間にとっての教育についてまとめる。		
	第4回	内容	教育や学校の語義について考える	予習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				復習	語義について詳細にまとめておく。		
	第5回	内容	教育の可能性と限界について考える	予習	教科書の該当箇所を熟読しておく。		
				復習	ルソーについて調べまとめておく。		
	第6回	内容	学校の誕生とその歩みについて考える	予習	学校について調べておく。		
				復習	教科書の該当箇所を熟読しまとめておく。		
	第7回	内容	近代学校制度について考える	予習	近代学校の成立と性質について調べておく。		
				復習	義務教育制度についてまとめておく。		
	第8回	内容	少年兵や児童労働について考える	予習	少年兵や児童労働について調べておく。		
				復習	他国の子どもの状況についてまとめておく。		
	第9回	内容	子どもについての幸せについて考える	予習	幸せとは何かについて調べておく。		
				復習	自分の考えを詳細にまとめておく。		
	第10回	内容	教育と戦争について考える	予習	日本の戦前・戦中について調べておく。		
				復習	資料を通して詳しくまとめておく。		
	第11回	内容	戦争と子どもについて考える	予習	世界の戦争や紛争について調べておく。		
				復習	戦時下の子どもについて詳しく調べておく。		
	第12回	内容	幼稚園と保育所の誕生	予習	就学前教育の歴史について調べておく。		
				復習	幼稚園や保育所の歴史についてまとめておく。		
	第13回	内容	幼稚園と保育所の歩み	予習	幼稚園や保育所の現状について調べておく。		
				復習	未来の幼児教育についてまとめておく。		
	第14回	内容	今後の教育のあり方について考える	予習	教育改革や方法について調べておく。		
				復習	興味をもった教育方法についてまとめておく。		
	第15回	内容	まとめ	予習	これまでの重要事項について確認しておく。		
				復習	自分自身の弱点についてまとめておく。		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業中に小エッセイや小レポートならびに課題を実施し、どのように該当の事柄について調べ記載すべきか指導する。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（25%）、授業態度【 積極的参加 】（25%）						
教科書	『教育原理』（林邦雄・谷田貝公昭 [監修]、大沢 裕 [編集]、一藝社）						
参考文献	授業中に適宜、プリントを配布し、紹介する。						
注意事項	主体的に文章を読み、書くことに慣れ親しむことや、積極的に調べる習慣を身に付けてほしい。						

科目名	子ども家庭福祉	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しのはら あみ 志濃原 亜美
ナバリンクコード	SWS12101	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	子ども家庭福祉の歴史の変遷と現代社会における子ども家庭福祉の意義を理解する。そのうえで、子どもと家庭に関する福祉の制度や実施体系など具体的なことを学ぶ。また、少子化・母子保健・児童虐待・社会的養護・障がいのある児童の対応などをはじめとする子ども家庭福祉の現状と課題について理解し、特に子ども家庭福祉と保育の関連性や子どもの権利擁護などについて理解を深める。						
到達目標	1. 子どもや家庭に関する法や施設など基本的なことが理解できる。 2. 子どもをとりまく問題についての理解を深めたうえで、それらの早期発見の方法や解決への道筋を知ることができる。 3. 子どもの権利擁護について理解できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する		
	第2回	内容	子ども家庭福祉に関する法律①（児童福祉法の概要）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉法についてのおおまかな理解をする。		
	第3回	内容	子ども家庭福祉に関する法律②（児童福祉法の具体的内容）	予習	児童福祉法のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉法の具体的な内容を理解する		
	第4回	内容	子どもに関する権利思想の流れ	予習	子どもの権利についてのプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	子どもの権利思想の流れを理解する		
	第5回	内容	子ども家庭福祉の歴史①（明治期）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	明治期における子ども家庭福祉の歴史を理解する		
	第6回	内容	子ども家庭福祉の歴史②（明治期から戦前）	予習	子ども家庭福祉の歴史のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	明治期から戦前にかけての子ども家庭福祉の歴史を理解する		
	第7回	内容	VTR（澤田美喜物語・・・福祉施設創設者の物語）課題感想文	予習	今まで習った子ども家庭福祉に関する法や歴史を概観する		
				復習	課題・感想文を書く		
	第8回	内容	福祉専門職としての保育士	予習	福祉専門職としての保育士のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉法等に明記されている保育士について理解する		
	第9回	内容	児童福祉施設及び里親の概要①（施設の種類）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉施設の種類を覚える		
	第10回	内容	児童福祉施設及び里親の概要②（施設の目的）	予習	児童福祉施設のプリントの穴埋めを完成させる		
				復習	児童福祉施設や里親の目的を理解する		
	第11回	内容	子ども家庭福祉の行政機関（児童相談所を中心に）	予習	児童相談所の業務や相談内容についての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童相談所の業務や相談内容について理解する		
	第12回	内容	児童虐待①（児童虐待の種類、法制度）	予習	児童虐待の種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童虐待の種類や法制度を理解する		
	第13回	内容	児童虐待②（児童虐待の実際）	予習	児童虐待の実際についての穴埋めプリントを完成させる		
				復習	児童虐待の実際についてまとめる		
	第14回	内容	小テスト、VTR（子どもの貧困）	予習	小テストに向けての学習		
				復習	小テストで出題された個所の確認		
	第15回	内容	小テスト返却、解説、まとめ	予習	VTRの感想文を書く		
				復習	子ども家庭福祉とはなにかをまとめる		
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（55%）、レポート・課題（35%）、作品・発表（%）、実技（%）、授業態度【積極的参加】（10%）						
教科書	『新保育ライブラリ 子ども家庭福祉』（植木信一編著、北大路書房）						

参考文献	『最新保育資料集 2021』（ミネルヴァ書房）
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して子ども家庭福祉の問題や課題について関心をもつこと。教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと

科目名	社会福祉		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しのはら あみ 志濃原 亜美
ナンバリングコード	SWS12102		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	この授業では、福祉専門職である保育士が学ぶべき社会福祉の基礎的な知識を習得することをねらいとする。子どもの福祉のみならず、現代社会のニーズに即したあらゆる人々のウェルビーイング（福祉）をいかに実現させるかという視点に立ち広い視野で社会福祉について学ぶ。							
到達目標	1. 保育と社会福祉の関係がわかる。 2. わが国の社会福祉の制度がわかる 3. 現代の社会問題がわかる							
学位授与方針	幼児教育学科（1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する			
	第2回	内容	保育と社会福祉（私たちが暮らす社会と保育をめぐる社会問題）	予習	社会問題、社会構造のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会問題、社会構造について理解をする。			
	第3回	内容	社会福祉の概念①（社会福祉の意味、定義）	予習	社会福祉の意味、定義のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会福祉意味や定義を理解する			
	第4回	内容	社会福祉の概念②（社会福祉の理念、社会福祉の構造等）	予習	社会福祉の理念、構造のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会福祉の理念等についての理解を深める			
	第5回	内容	社会保障の概念と体系（我が国における社会保障の概念）	予習	社会保障のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会保障の概念をしっかりと理解する			
	第6回	内容	社会保険①（社会保険制度の概要）	予習	社会保険制度のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会保険制度についての全体像を理解する			
	第7回	内容	社会保険②（医療保険、年金保険、介護保険、労働保険）	予習	社会保険のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	具体的な社会保険の種類や性格を理解する			
	第8回	内容	公的扶助①（公的扶助の概要、公的扶助と社会保険の違い）	予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	公的扶助の概要の理解及び前回の社会保険との違いを明確にする			
	第9回	内容	公的扶助②（生活保護の原理と原則、保護施設、その他の低所得者施策）	予習	公的扶助のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	公的扶助について具体的に理解する			
	第10回	内容	高齢者福祉	予習	高齢者福祉のプリントの穴埋めを完成させる 中間レポート提出準備			
				復習	高齢者福祉施策を理解する			
第11回	内容	障がい者福祉	予習	障がい者福祉のプリントの穴埋めを完成させる				
			復習	障がい者福祉施策を理解する				
第12回	内容	相談援助の意味と方法①（保育士に求められるソーシャルワーク、ソーシャルワークの意味と原則、）	予習	相談の意味と方法についての穴埋めプリントを完成させる				
			復習	相談援助を理解する				
第13回	内容	相談援助の意味と方法②（ソーシャルワークの視点、ソーシャルワークに貢献した人）	予習	ソーシャルワークに関する穴埋めプリントを完成させる				
			復習	ソーシャルワークについて理解する				
第14回	内容	小テスト、VTR（諸外国の福祉）、感想文	予習	小テストに向けての学習				
			復習	小テストで出題された個所の確認				
第15回	内容	小テスト返却、まとめ	予習	VTRの感想文を書く				
			復習	社会福祉とはなにかをまとめる				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	小テストの返却と解説、レポートの返却を行います							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（55%）、レポート・課題（35%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（10%）
教科書	『みらい×子ども福祉ボックス 社会福祉』（志濃原亜美編著、(株)みらい）
参考文献	『最新保育資料集 2020』（ミネルヴァ書房）
注意事項	普段から新聞・ニュースその他のメディアを通して福祉の問題や課題について関心をもつこと。教員が作成したプリントを整理するためのファイルを用意しておくこと

科目名	子ども家庭支援論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナンバリングコード	SWS12201	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	本講義では、保育士による子ども家庭支援の基本について学ぶ。子育て家庭の状況やニーズを理解し、その状況やニーズに応じた支援の展開や保育士の行う相談や支援の意義、役割について学んでいく。						
到達目標	1. 子育て家庭の現状やニーズについて理解している。 2. 保育士による子ども家庭支援の基本や支援の意義について理解している。 3. 子育て家庭のニーズに応じた多様な支援の展開について理解し、支援の方法について考えることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション～子ども家庭支援論とは～	予習	シラバスを読む	復習	配布資料を見返す
	第2回	内容	家族・家庭の意義と機能	予習	自分にとっての家族・家庭についてまとめる	復習	配布資料を読み返す
	第3回	内容	家族・家庭の歴史と変化① ～家族形態・家庭モデルの変遷～	予習	教科書 p 3～4 を読む	復習	授業内容の振り返りを行う
	第4回	内容	家族・家庭の歴史と変化② ～家族昨日の変化・個人化～	予習	教科書 p 5～7 を読む	復習	授業内容の振り返りを行う
	第5回	内容	現代社会における家族・家庭	予習	教科書 p 1～2 を読む	復習	教科書 p 8～14 を読む
	第6回	内容	子育て家庭をめぐる社会的状況① ～図の取見取り～	予習	教科書 p 19 を読む	復習	図の読み取りを行う
	第7回	内容	子育て家庭をめぐる社会的状況② ～図の取見取りの答え合わせ～	予習	前回の読みよりの復習を行う	復習	授業の振り返りとしてのレポートを書く
	第8回	内容	子ども家庭支援の意義と必要性	予習	教科書 p 20～23 を読む	復習	授業内容の振り返りを行う
	第9回	内容	子ども家庭支援の目的と機能～歴史・専門機関との連携～	予習	教科書 p 24～25 を読む	復習	専門機関の調べ学習を行う
	第10回	内容	多様な連携機関について	予習	教科書 p 27～31 を読む	復習	配布資料を読み返す
	第11回	内容	保育所における子ども家庭支援の意義と基本	予習	教科書 p 41～44 を読む	復習	教科書 45～58 を読む
	第12回	内容	幼保連携型認定こども園・幼稚園における子ども家庭支援	予習	教科書 63～69 を読む	復習	授業内容の振り返りを行う
	第13回	内容	地域の子育て家庭への支援	予習	教科書 92～96 を読む	復習	教科書 p 103 を読む
	第14回	内容	特別な配慮を要する過程への支援	予習	教科書 p 107～114 を読む	復習	課題として出た事例について考える
	第15回	内容	多様な支援展開と関係機関との連携～事例討議～	予習	教科書 p 119 を読む	復習	授業の振り返りとしてのレポート書く
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや課題、コメントの返却を行い、フィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 80 %）、授業態度【積極的参加・課題への取り組み】（ 20 %）						
教科書	『子ども家庭支援論』（橋本祐子・西本望他、2019）						
参考文献	『ちょっとした言葉かけで変わる 保護者支援の新ルール10の原則』（大豆生田啓友他、メイト）						
注意事項	配布資料はファイルングして持参すること。5回ほどオンライン授業の予定のため、オリエンテーションにて予定を配布する。						

科目名	子ども家庭支援論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まんどろ あきお 萬燈 章雄
ナンバリングコード	SWS12201	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・ <u>遠隔</u> ・その他( )						
授業の内容	かつては支援する側(社会資源)だった「家庭」だが、現在は脆弱化した家庭・家族を包括して子どもを支援していくという考え方に変化してきた。その家庭観の変遷や支援のあり方について学習する。特に子どもにとって最も身近な存在である保育士としては、養育される権利を有する子どもの目線で家庭を思考していく必要がある。そのようなスタンスで家庭へのアプローチを図っていききたい。						
到達目標	1. これまでの社会状況と家庭支援のあり方の変遷について理解している。 2. 地域における関係機関の役割を含め、家庭を支援するプロセスや様々な手段、方法について理解している。 3. 家庭支援に関する「相談」について理解し対応することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科(3・5) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 考えてみよう! 家族のカタチ	予習	シラバスを読んでくこと	復習	家庭の定義についてまとめてみる
	第2回	内容	地域社会の変容と家庭支援について 家庭機能の弱まりと家庭支援の必要性	予習	日本の高度成長期について調べる	復習	「家庭機能」の変遷についてまとめてみる
	第3回	内容	少子高齢化のもたらす影響について	予習	「失われた20年」について調べてみる	復習	少子化のもたらす問題についてまとめる
	第4回	内容	少子化対策を契機とした子育て支援施策・次世代育成支援 施策の経緯	予習	地域が行う育児相談資源について調べる	復習	子育て支援施策の変遷についてまとめる
	第5回	内容	児童虐待問題と家庭支援 認識のない保護者とSOSの出せない子ども	予習	最近の虐待事件について調べてみる	復習	虐待相談の構造についてまとめる
	第6回	内容	子どもと子育て支援策① 保育園と幼稚園・保育士の基本的スタンス	予習	「待機児童」について調べてみる	復習	保育の変遷についてまとめてみる
	第7回	内容	子どもと子育て支援策② 子育て支援センター・ショートステイなど	予習	子育て支援センターについて調べてみる	復習	子ども子育て支援メニューをまとめてみる
	第8回	内容	子どもと子育て支援策③ 母子保健について・地域資源の活用について	予習	母子保健サービスについて調べてみる	復習	保健センターの業務についてまとめてみる
	第9回	内容	中間まとめチェック	予習	これまでの授業内容について振り返る	復習	家庭支援の変遷について今一度まとめる
	第10回	内容	保育所と家庭支援① 保育所入所家庭への支援	予習	保育所運営指針を調べる	復習	保育所の機能についてまとめる
	第11回	内容	保育所と家庭支援② 保育所での地域の家庭支援	予習	相談の対処方法について考えてみる	復習	相談のアプローチ方法についてまとめる
	第12回	内容	地域での家庭支援① 不適切養育と地域サービス	予習	養育支援訪問事業について調べる	復習	機関連携についてまとめる
	第13回	内容	地域での家庭支援② マルトリートメントケース	予習	虐待について今一度復習する	復習	今回の事例についてまとめる
	第14回	内容	誰のための家庭支援か 保護者対応と虐待について	予習	今一度「相談」の特性について考えてみる	復習	子ども目線での対応についてまとめる
	第15回	内容	最終まとめチェック 今後の家庭支援のあり方について	予習	これまでの内容を今一度振り返る	復習	今後の家庭支援のあり方についてまとめる
	予習に要する学習時間: 概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間: 概ね120分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポート提出と理解度チェックテストを実施します。それぞれ個々にコメントをつけて返却します。						
成績評価	試験期間における定期試験: 実施( )する/(○)しない 成績評価の方法: 筆記試験( %)、レポート・課題(60%)、作品・発表( %)、実技( %)、授業態度【積極性】(40%)						
教科書							
参考文献	家庭支援論(伊藤嘉余子/野口啓示 編著 ミネルヴァ書房) 他適宜必要に応じて紹介します。						
注意事項							

科目名	社会的養護 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しのはら あみ 志濃原 亜美
ナンバリングコード	SWS12103		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	社会福祉、児童家庭福祉の中の社会的養護の位置を理解し、特に施設における日常生活援助、施設における専門職について学びを深める。また、施設保育士の専門性と特別な配慮を要する子どもや家庭への援助について学び、さらに施設の中で行われるリビングケア、アフターケアなどの現状についても学習する。							
到達目標	1. 施設養護の体系や援助過程について理解できる 2. レジデンシャル・ソーシャルワークの視点から施設保育士の専門性、特別な配慮を要する子どもへの援助や保護者への相談の在り方など理解できる 3. 子どもの権利擁護について理解し、実践で役立てることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション（授業の概要の説明、持ち物確認、履修上の注意、自己紹介、授業を受けるに当たっての心構えについての確認等）	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解し、持ち物を確認する			
	第2回	内容	社会的養護の理念と意義	予習	社会的養護の理念のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会的養護の理念や意義についてのおおまかな理解をする。			
	第3回	内容	子どもの権利と社会的養護	予習	子どもの権利のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	子どもの権利の具体的な内容を理解する			
	第4回	内容	保育士の倫理・責務	予習	倫理・責務についてのプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	保育士の職務上の意倫理や責務について理解する			
	第5回	内容	社会的養護の制度と実施体系①（施設養護の制度）	予習	社会的養護の制度のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	施設養護の制度を理解する			
	第6回	内容	社会的養護の制度と実施体系②（移設養護の実施体系）	予習	社会的養護の実施体系のプリントの穴埋めを完成させる			
				復習	社会的養護の実施体系を理解する			
	第7回	内容	VTR（ぶどうの木・・・里親に関する内容）課題感想文	予習	今まで習った社会的養護の学びを概観する			
復習				課題：感想文を書く				
第8回	内容	施設養護にかかわる専門職士	予習	施設養護の専門職のプリントの穴埋めを完成させる				
			復習	施設養護の専門職について理解する				
第9回	内容	施設養護の実際①（アドミッションケアとインケア）	予習	施設養護の実際①のプリントの穴埋めを完成させる				
			復習	それぞれの用語について理解を深める				
第10回	内容	施設養護の実際②（リビングケアとアフターインケア）	予習	施設養護の実際②のプリントの穴埋めを完成させる				
			復習	それぞれの用語について理解を深める				
第11回	内容	子育て困難家庭の実際と支援	予習	子育て困難家庭と支援についての穴埋めプリントを完成させる				
			復習	子育て困難家庭について知り、その支援を理解する				
第12回	内容	DVケースと児童虐待へのソーシャルワークについて視点①（DVケース）	予習	DVの種類。法制度の穴埋めプリントを完成させる				
			復習	DVの種類や法制度を理解する				
第13回	内容	DVケースと児童虐待へのソーシャルワークについて視点①（児童虐待ケース）	予習	児童虐待ケースについての穴埋めプリントを完成させる				

			復習	児童虐待へのソーシャルワークについてまとめる
	第14回	内容	予習	小テストに向けての学習
			復習	小テストで出題された個所の確認
	第15回	内容	予習	VTRの感想文を書く
			復習	社会的養護の枠組みをまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。			
課題へのフィードバック	小テストの解説と返却、レポートの返却を行います			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 55%）、レポート・課題（ 35%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（ 10%）			
教科書	『よりそい支える社会的養護』（監修中山正雄/編著浦雅夫、教育情報出版）			
参考文献	適宜紹介する			
注意事項	特別なケアを要する子どもについての書籍等を積極的に読むこと			

科目名	社会的養護Ⅱ		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	しのはら あみ 志濃原 亜美
ナンバリングコード	SWS12103		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	施設養護や里親など社会的養護の実際について学び、社会的養護における児童の権利擁護や保育士等社会福祉施設従事者の倫理について、また、ソーシャルワークの技術など専門的技術などを体系的に理解する。 さらに、個々に応じた支援計画の作成、記録の書き方、自己評価についても具体的に学ぶ。							
到達目標	1. 今まで学んできた社会福祉関連の知識や施設実習で学んだ施設の実態などを話し合いや発表等の方法で表現できる。 2. 自ら考え、発表し、問題意識を持つことで、社会的養護に関わる人や施設利用者について総合的に考える力を身につけている。 3. 施設養護の体系や援助過程について説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスの確認			
				復習	講義概要を理解する			
	第2回	内容	施設実習を振り返って	予習	施設実習の振り返りをする			
				復習	実習と授業を結びつける			
	第3回	内容	障がいを持つ人の生活実態（VTR）	予習	各種別の施設についての復習をする			
				復習	感想文を書く			
	第4回	内容	障がいを持つ人のせいかつ実態のビデオな内容について グループ討議	予習	感想文を振り返る			
				復習	グループ討議を振り返る			
	第5回	内容	グループ決め、およびディスカッション	予習	施設の種別を振り返る			
				復習	ディスカッションの内容をまとめる			
	第6回	内容	テーマ設定	予習	テーマ設定の材料の準備をする			
				復習	テーマの吟味をする			
	第7回	内容	グループレポート作成	予習	レポートの下書きをする			
				復習	レポートの清書をする			
	第8回	内容	グループ活動①（調査）	予習	テーマに応じた調査を開始する			
				復習	テーマに応じた調査を継続する			
	第9回	内容	グループ活動②（調査・制作）	予習	テーマに応じた調査の継続と制作の準備をする			
				復習	制作の準備をする			
	第10回	内容	中間報告	予習	中間報告の準備をする			
				復習	中間報告を踏まえた最終制作に取り掛かる			
	第11回	内容	グループ発表③（制作）	予習	制作の準備を進める			
				復習	最終確認			
	第12回	内容	発表レジメ提出	予習	発表レジメの下書きをする			
				復習	発表レジメの清書をする			
	第13回	内容	発表準備、確認、動画作成	予習	発表準備、及び動画の作成準備をする			
				復習	最終確認をする			
	第14回	内容	グループ発表①	予習	発表準備をする			
				復習	まとめをする			
	第15回	内容	グループ発表②、まとめ	予習	発表準備をする			
				復習	まとめをする			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	提出物の返却、発表の講評などによるフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（50%）、授業態度（積極的参加）（20%）							
教科書	『社会的養護Ⅰ・Ⅱ』（谷口純世他編、光生館）							
参考文献	『保育福祉小六法2021年版』（保育福祉小六法編集委員会著、みらい）							
注意事項	特別なケアを要する子どもについての書籍等を積極的に読むこと							

科目名	社会的養護Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まんどろ あきお 萬燈 章雄
ナバリングコード	SWS12202		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	社会的養護を必要としている子どもたちの現状と支援について学ぶ。実践力を学習できるよう事例研究を通して支援の方法を考えていきたい。また、支援するスタッフとしてどのような姿勢で望むことが必要なのか、倫理や責務についても学ぶ。処遇の結論よりもそれを導き出していくプロセスに重点を置いて学習する。							
到達目標	1. アセスメントから支援方法まで事例を通してそのプロセスを理解している。 2. 様々なケースに応じてどのように対応していくのかを理解している。 3. より困難な場面でも、社会的養護に携わる保育士の職務と倫理に従い行動できることを身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（4・5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション～ 演習1 ある施設に就職した友人の愚痴	予習	シラバスに目を通しておくこと	復習	事例検討の方法についてまとめる	
	第2回	内容	演習2 障害児入所施設の事例 「障害受容」と母親の気持ちを理解する	予習	障害児者施設体系について調べる	復習	障害受容についてまとめる	
	第3回	内容	演習3 障害児の失敗をする権利について（学校・施設） 本人のこだわりと周囲のストレス。折り合いの付け方など	予習	障害者の権利条約について調べる	復習	障害児の自立支援についてまとめる	
	第4回	内容	演習4 発達障害児への対応事例（学童保育所） 集団での対応と個別処遇	予習	発達障害について調べる	復習	障害児者の権利についてまとめる	
	第5回	内容	演習5 被虐待児への支援について（保育所・幼稚園） 愛着に問題がある子への処遇について	予習	虐待のサインについて調べる	復習	愛着障害についてまとめる	
	第6回	内容	演習6 乳児院から養護施設へ 「愛着の移行」について	予習	社会的養護に必要な施設について調べる	復習	「措置変更」についてまとめる	
	第7回	内容	演習7 日常生活支援（児童養護施設） 入所支援。アドミッションケアについて	予習	「親子分離」について調べる	復習	施設入所時の子ども支援についてまとめる	
	第8回	内容	演習8 日常生活支援（児童養護施設） インケアについて（ルールと日課）	予習	様々な施設の日課について調べてみる	復習	ルールと日課のあり方についてまとめてみる	
	第9回	内容	演習9 日常生活支援（児童養護施設） インケアについて（愛着に課題のある子の処遇）	予習	養護施設の入所事由について調べてみる	復習	処遇困難に子への対処方法についてまとめる	
	第10回	内容	演習10 乳児院から里親へ 委託のプロセスや、施設のスタッフとしての支援のあり方など	予習	里親委託時の子の年齢構成について調べてみる	復習	里親委託の留意点についてまとめる	
	第11回	内容	演習11 家族関係調整事例（児童養護施設）FSWの仕事 なかなか約束通りに面会に来ない保護者事例	予習	ファミリーソーシャルワーカーについて調べる	復習	関係諸機関との連携についてまとめてみる	
	第12回	内容	演習12 子どもの巣立ちについて（児童養護施設） 施設から巣立つ子どもの自立支援について	予習	養護施設から巣立つ子どもの数を調べてみる	復習	リービングケアについてまとめる	
	第13回	内容	演習13 児童の権利擁護 被措置児童虐待 援助者としての倫理と責務について	予習	施設内虐待について調べる	復習	援助者としての倫理と責務についてまとめる	
	第14回	内容	演習14① 自立支援計画について（児童養護施設） 事例に基づくアセスメント	予習	自立支援計画について調べる	復習	事例についてアセスメントしてみる	
	第15回	内容	演習14② 自立支援計画について（児童養護施設） 自立支援計画案を作成する	予習	指導方針を立ててみる	復習	施設処遇についてまとめてみる	
	予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	原則、事例ごとに全員課題についての意見など記載してレポートとして提出。簡単ですがコメントと評価をつけてできるだけ返却していくつもりです。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）％、レポート・課題（50％）、作品・発表（20％）、実技（ ）％、授業態度【積極性】（30％）							
教科書	なし							
参考文献	「社会的養護Ⅱ」 相澤 仁・村井美紀・大竹 智編 中央法規 その他授業中に紹介します。							
注意事項	基本事例も含めプリント資料配布で授業を進めます。この授業は考える課程に授業の目的がありますので、授業マナーを守り意見発表や質問など積極的な参加を評価します。なお、回答の正誤についてあまり問いません。							

科目名	保育者論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつき ひさこ 松木 久子
ナバリンクコード	EDU12104		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼稚園教諭や保育士を目指す学生が実習前に最低限知っておくべき、幼稚園や保育所の役割や違い、また年齢による子どもたちの特徴や違いなどについて学ぶことを目的とする。また、保育者を目指すにあたっての態度形成や、保育者が担っている役割の範囲や負っている限界、そしてその克服という問題について考えながら、自分なりの保育観や教育観を形成していくことを目的とする。							
到達目標	1. 幼稚園と保育所の役割や違いについて理解できる。 2. 保育者という仕事に対して要求される態度等について理解できる。 3. 「教師」という言葉につきまとう価値観について理解できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1・2・4 ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：履修上の注意や説明	予習	保育者を目指す目的についてまとめておく。			
				復習	もう一度、自分の資質についてまとめる。			
	第2回	内容	幼稚園実習とは何かについて学ぶ	予習	実習に向けての心構えについてまとめておく。			
				復習	自分の弱点についてまとめる。			
	第3回	内容	幼稚園と保育所の違いについて学ぶ	予習	幼稚園や保育所の違いについて調べておく。			
				復習	理解したことを詳細にまとめる。			
	第4回	内容	幼稚園教諭の役割と仕事について学ぶ	予習	幼稚園教諭の仕事について調べておく。			
				復習	学んで理解した内容をまとめる。			
	第5回	内容	保育所の役割と仕事について学ぶ	予習	保育士の仕事について調べておく。			
				復習	学んで理解した内容をまとめる。			
	第6回	内容	保育者という仕事の実態について学ぶ	予習	保育者の役割について調べておく。			
				復習	理解したことを詳細にまとめる。			
	第7回	内容	日本の教職の特質について学ぶ	予習	「教師」についてのイメージについて調べる。			
				復習	学んだことをまとめる。			
	第8回	内容	3歳児の特徴について学ぶ	予習	3歳児の特徴をいろいろな面から調べておく。			
				復習	理解した内容をまとめる。			
第9回	内容	4歳児の特徴について学ぶ	予習	4歳児の特徴をいろいろな面から調べておく。				
			復習	理解した内容をまとめる。				
第10回	内容	5歳児の特徴について学ぶ	予習	5歳児の特徴をいろいろな面から調べておく。				
			復習	理解した内容をまとめる。				
第11回	内容	保育の安全について学ぶ	予習	保育上の安全について調べておく。				
			復習	新たに発見したことを中心にまとめる。				
第12回	内容	保育の事故防止について学ぶ	予習	保育上の事故防止について調べておく。				
			復習	新たに理解した内容を中心にまとめる。				
第13回	内容	子どものしつけをめぐる問題を学ぶ	予習	しつけについて調べておく。				
			復習	学んで理解した内容についてまとめる。				
第14回	内容	保育者や子どもをめぐる問題を学ぶ	予習	子どもをめぐる事件等について調べておく。				
			復習	理解した内容を詳細にまとめる。				
第15回	内容	まとめ	予習	学んだことや理解したことをまとめる。				
			復習	自分の見解を発展させる。				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業中に小エッセイや小レポートそして課題を課すことによって、理解度を把握しながら指導をしていく。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（25%）、授業態度【積極的な参加】（25%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『小学校教員の常識67』（村越 晃【編】、一藝社）							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業中に適宜、プリントを配布し、紹介する。							
注意事項	主体的に興味関心をもっていろいろなことを調べ、積極的に授業に臨み、文章の読み書きに慣れてほしい。							

科目名	保育の心理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おおくま みかこ 大熊 美佳子
ナバリンクコード	EDP12101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	子どもの心身の発達について、代表的な理論を踏まえ、発達概念を理解し、具体的な発達や学習の過程に関する基礎知識を習得し、教育や保育、子育て支援に生かしていけるように、学びを深めていくことを目的とします。							
到達目標	1. 保育に関わる心理学の基本用語を正確に理解している 2. 子どもの発達や行動を理解するために必要な心理学的視点の基礎を身につけている 3. 子どもの主体的な活動を支えるための基礎となる考え方を理解している							
学位授与方針	幼児教育学科( 2, 5 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	子どもの発達の理解	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	子どもの発達の理解についてまとめる			
	第2回	内容	子どもの発達と環境	予習	遺伝と環境の影響について考えてくる			
				復習	発達に関わる遺伝と環境の考え方をまとめる			
	第3回	内容	発達観・子ども観と保育観	予習	自分自身の子ども観、保育観をまとめてくる			
				復習	発達に関する考え方の変遷をまとめる			
	第4回	内容	身体的機能と運動機能の発達	予習	乳幼児の身体・運動機能の発達について調べてくる			
				復習	乳幼児の身体・運動機能の発達について学んだことをまとめる			
	第5回	内容	社会情動的発達① (感情・情動の発達)	予習	感情・情動の発達について調べる			
				復習	感情・情動の発達を年齢ごとに整理する			
	第6回	内容	社会情動的発達② (アタッチメント理論)	予習	アタッチメント理論について調べる			
				復習	アタッチメント理論について整理する			
	第7回	内容	社会情動的発達② (他者理解の発達)	予習	乳幼児の他者理解について調べる			
				復習	人間関係の発達を年齢ごとに整理する			
	第8回	内容	パーソナリティの発達	予習	フロイト・エリクソンについて調べる			
				復習	両者の理論を年齢ごとに整理する			
第9回	内容	認知発達① (ピアジェの認知発達理論)	予習	ピアジェについて調べる				
			復習	ピアジェの認知発達理論を整理する				
第10回	内容	認知発達② (ヴィゴツキーの認知発達理論)	予習	ヴィゴツキーについて調べる				
			復習	ヴィゴツキーの認知発達理論を整理する				
第11回	内容	学習理論① (学習とは何か)	予習	心理学における学習の意味について調べる				
			復習	学習・条件づけについてまとめる				
第12回	内容	学習理論② (社会的学習理論について)	予習	社会的学習理論とは何かについて調べる				
			復習	現場への応用の仕方について考える				
第13回	内容	子どものやる気① (動機づけ理論について)	予習	子どものやる気について考える				
			復習	動機づけ理論についてまとめる				
第14回	内容	子どものやる気② (褒めること・叱ること)	予習	子どもの褒め方・叱り方について考える				
			復習	よりよい褒め方・叱り方をまとめる				
第15回	内容	子どもの個性を理解する	予習	個性とは何かを考える				
			復習	保育現場で必要な心理学的視点をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内で小テストを実施し、テスト後、解説を行います。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験(60%)、レポート・課題(20%)、授業態度【積極的参加】(20%)							
教科書	特になし							
参考文献	講義の中で適宜紹介します							
注意事項								

科目名	保育の心理学	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	よしだ えり 吉田 恵理
ナンバリングコード	EDP12101	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	子どもの心身の発達について代表的な理論を踏まえ、発達概念を理解するとともに具体的な発達や学習の過程に関する基礎知識を習得し、教育や保育、子育て支援に生かしていけるように学びを深めていくことを目的とします。						
到達目標	1. 保育に関わる心理学の基本用語を正確に理解している。 2. 子どもの発達や行動を理解するために必要な心理学的視点の基礎を身につけている。 3. 子どもの主体的な活動を支えるための基礎となる考え方を理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 4, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス・発達とは何か（遺伝と環境）	予習	シラバスを読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	発達の過程①（胎児期・新生児期）	予習	胎児期・新生児期の発達について調べる	復習	この時期の発達の特徴についてまとめる
	第3回	内容	発達の過程②（乳児期・タドラー期）	予習	乳児期・タドラー期の発達について調べる	復習	この時期の発達の特徴についてまとめる
	第4回	内容	発達の過程③（幼児期）	予習	幼児期の発達について調べる	復習	この時期の発達の特徴についてまとめる
	第5回	内容	発達の過程④（児童期・思春期）	予習	児童期・思春期の発達について調べる	復習	この時期の発達の特徴についてまとめる
	第6回	内容	発達の過程⑤（青年期・成人期・老年期）	予習	青年期から老年期までの発達について調べる	復習	生涯発達について理解したことをまとめる
	第7回	内容	認知発達（ピアジェ・ヴィゴツキーの認知発達理論）	予習	ピアジェ・ヴィゴツキーについて調べる	復習	認知発達を年齢ごとに整理する
	第8回	内容	人間関係の発達（アタッチメント理論と対人関係）	予習	アタッチメント理論について調べる	復習	人間関係の発達を年齢ごとに整理する
	第9回	内容	感情・情動の発達	予習	感情・情動の発達について調べる	復習	感情・情動の発達を年齢ごとに整理する
	第10回	内容	パーソナリティの発達（フロイト・エリクソンの発達理論）	予習	フロイト・エリクソンについて調べる	復習	両者の理論を年齢ごとに整理する
	第11回	内容	学習理論①（学習とは何か）	予習	心理学における学習の意味について調べる	復習	学習・条件づけについてまとめる
	第12回	内容	学習理論②（社会的学習理論について）	予習	社会的学習理論とは何かについて調べる	復習	現場への応用の仕方について考える
	第13回	内容	子どものやる気①（動機づけ理論について）	予習	子どものやる気について考える	復習	動機づけ理論についてまとめる
	第14回	内容	子どものやる気②（褒めること・叱ること）	予習	子どもの褒め方・叱り方について考える	復習	よりよい褒め方・叱り方をまとめる
	第15回	内容	子どもの個性を理解する	予習	個性とは何かを考える	復習	保育現場で必要な心理学的視点をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。						
課題へのフィードバック	リアクションペーパーは次回授業時にフィードバックを行います。試験前後は解答を示し、解説と総まとめを行います。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度【積極的参加、課題提出】（20%）						
教科書	なし						
参考文献	講義の中で適宜紹介します。						
注意事項	毎回授業中および授業終了後にリアクションペーパーの記入・提出を求め、評価に含めるものとします。						

科目名	子ども家庭支援の心理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナンバリングコード	EDP12102		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	生涯発達心理学をベースにして、保育士が必要とする人間の各成長段階における発達課題や発達障害、社会状況に基づく家庭支援の在り方などを学んでいく。							
到達目標	1. 生涯発達に関する心理学の基礎的知識を習得し初期経験の重要性、発達課題について理解している。 2. 家族・家庭の意義や機能を理解するとともに、親子関係や家族関係等について発達の観点から理解し、子どもとその家庭を包括的に捉える視点を習得している。 3. 子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解している。 4. 子どもの精神保健とその課題について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ② ⑤ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	発達心理学の概要をつかむ	予習	教科書の相当箇所を事前に読むこと			
				復習	授業の内容を整理する			
	第2回	内容	生涯発達とは何か	予習	教科書の生涯発達の箇所を事前に読むこと			
				復習	ライフサイクルとライフコースを整理する			
	第3回	内容	主要な発達理論の紹介	予習	教科書の発達理論の箇所を事前に読むこと			
				復習	発達理論について整理してまとめる			
	第4回	内容	乳幼児期の発達	予習	教科書の幼児期の箇所を事前に読むこと			
				復習	未就学児の特徴をまとめる			
	第5回	内容	学童期前期にかけての発達	予習	教科書の学童期の箇所を事前に読むこと			
				復習	学童期の子どもの特徴をまとめる			
	第6回	内容	学童期後期から青年期にかけての発達	予習	教科書の青年期の箇所を事前に読むこと			
				復習	青年期の特徴をまとめる			
	第7回	内容	小テスト（1～6） 青年期の精神世界を見る	予習	1～6 回目の復習。			
				復習	テストの間違ったところを再学習する			
	第8回	内容	成人期における発達	予習	教科書の成人期の箇所を事前に読むこと			
				復習	成人期の特徴をまとめる			
第9回	内容	老年期における発達	予習	教科書の老年期の箇所を事前に読むこと				
			復習	老年期の特徴をまとめる				
第10回	内容	子育てを取り巻く社会的状況	予習	教科書の子育て環境の箇所を事前に読むこと				
			復習	現代の子育て環境について考える				
第11回	内容	家族・家庭の意義、機能と親子関係・家族関係の理解	予習	教科書の家族の箇所を事前に読むこと				
			復習	家族機能について考える				
第12回	内容	子育ての経験と親としての育ち、ライフコースと仕事・子育て	予習	教科書の子育ての箇所を事前に読むこと				
			復習	親の成長を考える				
第13回	内容	多様な家庭形態とその理解 特別な配慮を要する家庭	予習	教科書の多様な家庭の箇所を事前に読むこと				
			復習	多様性について考える				
第14回	内容	子どもの精神保健	予習	教科書の精神保健の箇所を事前に読むこと				
			復習	子どもの精神保健について整理する				
第15回	内容	小テスト（7～14） 振り返り	予習	7～11 回目の復習。テスト勉強をする				
			復習	テストの間違ったところを再学習する				
	予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	小テストの後に、答え合わせと解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（100%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書	『子ども家庭支援の心理学』（青木喜久代編、みらい）							
参考文献								
注意事項								

科目名	子どもの理解と援助	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナンバリングコード	EDP12201	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	幼児期の子どもの発達、遊び、生活の特徴と幼稚園教諭、保育者としての対応方法、保護者に対する支援・指導について事例を通して既習の知識や実習を通して得た経験を元に考える。						
到達目標	1. 子どもの心身の発達と保育実践について理解を深め、現場で応用することができる。 2. 生活と遊びを通して学ぶ子どもの経験や学習の過程を理解し、その過程で生じるつまずきなどに対応することができる。 3. 保育における観察力や評価方法を身につけて発達支援について自ら考えることができる。 4. 保護者や他の保育者とコミュニケーションをとりながら発達援助を行うことができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（①②③④⑤）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	イントロダクション：幼児理解の意義	予習	既習の保育学・発達心理学の内容について確認		
				復習	振り返りの記録をつける		
	第2回	内容	子ども理解における発達の把握 集団討論	予習	事例1のプリントを読んで考えておく。		
				復習	振り返りの記録をつける。		
	第3回	内容	環境としての保育者と子どもの発達 子供に対するかかわりと共感的理解 集団討論	予習	事例2のプリントを読んで考えておく。		
				復習	共感的理解について整理する。		
	第4回	内容	子ども相互の関わりと関係作り 集団討論	予習	事例3のプリントを読んで考えておく。		
				復習	子どもの人間関係について整理しておく。		
	第5回	内容	アクティビティⅠ (様々なコミュニケーションと保育者の態度)	予習	コミュニケーションとは何かを考えておく。		
				復習	非言語コミュニケーションについて整理しておく		
	第6回	内容	自己主張と自己統制 葛藤やつまずき 集団討論	予習	事例4のプリントを読んで考えておく。		
				復習	子どもの葛藤場面をあげて対応を整理する。		
	第7回	内容	集団における経験と育ち：社会性の情緒発達 集団討論	予習	事例5のプリントを読んで考えておく。		
				復習	情緒発達と社会性との関係を整理しておく。		
	第8回	内容	子どもの生活や遊び そこからの学び 集団討論	予習	事例6のプリントを読んで考えておく。		
				復習	遊びと学びの関係を整理しておく。		
第9回	内容	アクティビティⅡ（性格を把握する手法：実習）	予習	配付する資料を事前に確認しておく。			
			復習	振り返りの記録をつける			
第10回	内容	子ども理解のための観察・記録と省察・評価	予習	アセスメントについて調べる。			
			復習	実習での事例をふまえて省察しておく。			
第11回	内容	子ども理解のための職員間の対話 集団討論	予習	事例7のプリントを読んで考えておく。			
			復習	職員間のコミュニケーションについて考えておく。			
第12回	内容	発達の課題に応じた援助や関わり：子どもの個人差に配慮した保育 集団討論	予習	事例8のプリントを読んで考えておく。			
			復習	個人差の配慮について整理しておく。			
第13回	内容	アクティビティⅢ（知能を把握する手法：実習）	予習	配付する資料を事前に確認しておく。			
			復習	協働することについて振り返りの記録をつける。			
第14回	内容	現代社会における子どもの発達と保育の課題：家族支援 保護者との情報共有	予習	事例9のプリントを読んで考えておく。			
			復習	家族支援について整理しておく。			
第15回	内容	特別な配慮を要する子供の理解と援助 集団討論	予習	事例10のプリントを読んで考えておく。			
			復習	特別な配慮をする場面を整理しておく。			
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業のなかで、その都度講評を行っていく。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（80%）、作品・発表（20%）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）						
教科書	使用しない						
参考文献	保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領						
注意事項	その他、特別教材(2回分)として別途600円を授業中に集金します。 授業中の私語、携帯電話、飲食は禁止。好ましくない者は注意の上で授業態度を減点し、場合によっては退出、授業出席を停止させることもありますので注意してください。						

科目名	子どもの理解と援助	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおくま みかこ 大熊 美佳子	
ナンバリングコード	EDP12201	授業形態	演習	実務経験				
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育の心理学，子ども家庭支援の心理学の学習を踏まえ，保育現場で要求される適切な発達援助を行う実践力を養うために，実践的な演習を行います。具体的な保育場面を想定し，子どもの心身の発達に即した保育者の関わり方や配慮について解説し，学びを深めるために事例検討，グループワーク等を行います。							
到達目標	1. 子どもの心身の発達に即した保育実践のあり方について理解している 2. 保育現場での子ども理解や保育者の対応について自ら考えることができる 3. 保育における発達援助を行う実践力を身につける							
学位授与方針	幼児教育学科（ 4, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	子ども理解における発達の把握	予習	発達心理学で学んだ理論を見直してくる			
				復習	子ども理解に必要な発達の視点をまとめる			
	第3回	内容	個人差や発達過程に応じた発達の把握	予習	個人差に関わる保育事例を収集する			
				復習	事例研究から見えた発達差についてまとめる			
	第4回	内容	身体感覚を伴う多様な経験と環境の相互作用	予習	身体感覚を伴う活動について調べる			
				復習	多様な活動を支える保育環境をまとめる			
	第5回	内容	環境としての保育者と子どもの感覚	予習	保育環境整備に必要な視点を考える			
				復習	子どもの感覚を育む環境についてまとめる			
	第6回	内容	子ども相互の関わりと関係づくり	予習	子ども相互の関わり事例を収集する			
				復習	子ども人間関係を育む視点をまとめる			
	第7回	内容	子ども集団と保育の環境	予習	集団生活で経験できることを考える			
				復習	集団活動を支える環境整備についてまとめる			
	第8回	内容	子どもの生活・遊びと学び	予習	年齢ごとの遊びと活動について調べる			
				復習	発達に応じた遊びと学びについてまとめる			
	第9回	内容	自己主張と自己抑制	予習	自己主張と自己抑制の事例を収集する			
				復習	事例に応じた対応の仕方を確認する			
	第10回	内容	基本的生活習慣の獲得と発達援助	予習	基本的生活習慣の獲得過程を確認する			
				復習	発達援助の具体例についてまとめる			
	第11回	内容	自己の主体性の形成と発達援助	予習	幼児の主体性について考える			
				復習	幼児の主体性発達の促す要因をまとめる			
	第12回	内容	発達の課題に応じた援助や関わり	予習	発達の課題の事例を収集する			
				復習	課題に応じた援助や関わり方をまとめる			
	第13回	内容	発達の連続性と就学への援助	予習	実習で学んだ就学に向けての課題を考える			
				復習	就学に向けての援助の仕方をまとめる			
	第14回	内容	現代社会における子どもの発達と保育の課題	予習	現代社会の保育の課題を考えてくる			
				復習	保育課題解決に必要な視点をまとめる			
	第15回	内容	課題の発表とまとめ	予習	課題を完成し発表の準備をする			
				復習	課題の発表を聞いて学んだことをまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	提出した課題についてコメントを行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（50%）、発表（20%）、授業態度【積極的参加】（30%）							
教科書	なし							
参考文献	授業の中で適宜紹介します							
注意事項	授業に積極的に取り組み、日頃から乳幼児に関心を持ち、実習等での経験を授業の内容と照らし合わせて心理学的な視点を養うように意識してください。							

科目名	子どもの保健		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 とりうみ ひろこ 鳥海 弘子
カンパリングコード	AHS12101		授業形態	講義	実務経験	有	
授業方式	対面・遠隔・その他（状況に応じて対面と遠隔の授業を実施する）						
授業の内容	子どもの心身の健康、身体発育・発達を理解する。 子どもの病気と対応、感染予防、慢性疾患、病児保育、母子保健、虐待、他職種との連携など組織としての健康支援を学び、保育者として必要な基礎知識を習得する。 様々なケースをDVD・動画・写真・スライドなどで紹介する。						
到達目標	1.子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解している。 2.子どもの身体発育・発達と保健について理解している。 3.子どもの心身の健康状態とその把握の方法について理解している。 4.子どもの疾病とその予防及び他職種間の連携・協働の下での適切な対応について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（2.4.5.6）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 子どもの健康と保健	予習	教科書 P1～27 を読む		
				復習	今後の授業の進め方を確認し、自分自身の学習計画を立てる		
	第2回	内容	子どもの発育と保健① 子どもの身体発育と運動機能の発達	予習	教科書 P28～41 を読む		
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる		
	第3回	内容	子どもの発育と保健② 生理機能の発達と生活習慣	予習	教科書 P42～49 を読む		
				復習	次回、小テスト1～3回の内容を再確認し理解を深める		
	第4回	内容	地域における保健活動と子どもの虐待防止 小テスト（1～3回の内容 15分間）	予習	虐待についての新聞記事等を1事例をレポートし提出（500字以内）		
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる		
	第5回	内容	子どもの健康状態の観察と 体調不良時の把握	予習	教科書 P60～64 を読む		
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる		
	第6回	内容	子どもの病気① 子どもの免疫の発達と感染症の特徴	予習	教科書 P65～73 を読む		
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる		
	第7回	内容	子どもの病気② 感染症の予防及び適切な対応	予習	教科書 P74～80 を読む		
				復習	次回、小テスト5～7回の内容を再確認し理解を深める		
	第8回	内容	子どもの病気③ 救急疾患の特徴と適切な対応 小テスト（5～7回の内容 15分間）	予習	教科書 P81～90 を読む		
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる		
第9回	内容	子どもの病気④ 新生児の病気、先天性の病気の特徴と対応	予習	教科書 P91～97 を読む			
			復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
第10回	内容	子どもの病気⑤ アレルギー疾患の特徴と適切な対応	予習	教科書 P98～105 を読む			
			復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
第11回	内容	子どもの病気⑥ 慢性疾患の特徴と適切な対応	予習	教科書 P106～118 を読む			
			復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
第12回	内容	保護者との情報共有と家族の支援 小テスト（8～11回の内容 15分間）	予習	次回、小テスト8～11回の内容を再度確認し理解を深める			
			復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
第13回	内容	子どもの健康診断と関連機関との連携	予習	教科書 P129～136 を読む			
			復習	授業の学びを振り返る			
第14回	内容	子どもの保健 試験 第1回～13授業内容	予習	1～13回の授業内容を再確認し理解を深める			
			復習	試験問題を持ち帰り自己採点と評価			
第15回	内容	子どもの保健 総合理解	予習	「保育者としての子どもの保健とは」を考察する（800字）提出			
			復習	子どもの保健を総合的に理解する			
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（30%）、授業態度【積極的参加】（10%）						
教科書	『授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト』小林美由紀 診断と治療社						
参考文献	『乳幼児 教育・保育シリーズ 子どもの保健』岩田 力 光生館 『保育所保育指針平成29年告示』厚生労働省 フレーバル館						
注意事項	配布プリントは1冊にファイリングする。（毎回の授業に持参すること）						

科目名	子どもの保健		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	くまさか たかゆき 熊坂 隆行
ナンバリングコード	AHS12101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・ <u>遠隔</u> ・その他（ ）							
授業の内容	子どもの成長過程を安全に、より健康的に手助けするために、子どもの発育や身体的特徴を理解し、子どもとの接し方について総合的に学ぶ。保育者として必要な保健の知識を習得し、子どもの事故や安全対策について基本的な対応、実践力を身につける。小児保健の意義、小児の生理的機能、運動機能の発達と保健、先天異常の理解と保健のほか、子どもの事故や安全対策について基本的な対応についても学習する。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解している。</li> <li>2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能の発達と保健について理解している。</li> <li>3. 子どもの心身の疾病等と適切な対応について理解している。</li> <li>4. 保育における環境及び衛生管理並びに安全管理について理解している。</li> <li>5. 救急時の対応や事故防止、安全管理について理解している。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	保育における子どもの保健	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	保育における子どもの保健を理解する			
	第2回	内容	子どもの健康と保健の意義	予習	健康と保健の意義を整理しておく			
				復習	健康と保健の意義をまとめる			
	第3回	内容	子どもの発育と保健	予習	発育と保健を理解する			
				復習	発育と保健をまとめる			
	第4回	内容	子どもの生理機能の発達と保健	予習	生理機能の発達と保健を理解する			
				復習	生理機能の発達と保健をまとめる			
	第5回	内容	子どもの運動機能の発達と保健	予習	運動機能の発達と保健を理解する			
				復習	運動機能の発達と保健をまとめる			
	第6回	内容	子どもの感染症の予防と対策	予習	感染症の予防と対策を理解する			
				復習	感染症の予防と対策をまとめる			
	第7回	内容	アレルギー疾病	予習	アレルギー疾病を理解する			
				復習	アレルギー疾病をまとめる			
	第8回	内容	子どもの健康状態の把握について	予習	健康状態の把握について理解する			
				復習	健康状態の把握についてまとめる			
第9回	内容	先天異常の理解と保健	予習	先天異常の理解と保健を理解する				
			復習	先天異常の理解と保健をまとめる				
第10回	内容	家庭看護と保健	予習	家庭看護と保健を理解する				
			復習	家庭看護と保健をまとめる				
第11回	内容	予防接種の種類と効果	予習	予防接種の種類と効果を理解する				
			復習	予防接種の種類と効果をまとめる				
第12回	内容	保育現場における事故防止と安全対策・救急処置	予習	事故防止と安全対策・救急処置を理解する				
			復習	事故防止と安全対策・救急処置をまとめる				
第13回	内容	保育現場における安全対策並びに危機管理	予習	安全対策並びに危機管理を理解する				
			復習	安全対策並びに危機管理をまとめる				
第14回	内容	保育所保育指針・幼稚園教育要領における小児の保健	予習	指針・要領における小児の保健を理解する				
			復習	指針・要領における小児の保健をまとめる				
第15回	内容	授業の振り返り、まとめ	予習	子どもの保健を理解する				
			復習	子どもの保健をまとめる				
	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。							
課題へのフィードバック	講義前後は、教科書、参考文献を用いて予習・復習をしてください。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、 <b>授業態度【 】（20%）</b>							
教科書	『保育者・養護教諭を目指す人の子どもの保健Ⅰ・Ⅱ』（大澤真木子、日本小児医事出版社）							
参考文献	適宜、紹介いたします。							
注意事項	自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義に参加してください。							

科目名	子どもの食と栄養		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	ひらやま もとこ 平山 素子
ナバリンクコード	EAH12101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	子どもを取り巻く食環境を把握し、胎児期から学齢期の発育発達と栄養・食事との関係を理解する。子ども一人ひとりの心理状態や食事の摂取状況を観察し、適切な食事の提供と介助、さらには食生活のあり方について援助できる力を身につけることを目的とする。							
到達目標	1. 子どもの発育・発達と食生活・栄養について理解している 2. 月年齢に見合った適切な食事提供と介助を行う力を身につけている 3. 自分自身の望ましい食生活の構築に取り組んでいる							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2、3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、調理室の使い方			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	子どもの発育・発達と栄養			予習	発育と発達の違いを調べる	
					復習	発育発達と栄養の関わりについてまとめる		
	第3回	内容	授乳期の栄養① 母乳栄養			予習	母乳栄養について調べる	
					復習	母乳栄養の利点と注意点をまとめる		
	第4回	内容	授乳期の栄養② 人工栄養			予習	人工栄養について調べる	
					復習	人工栄養の利点と注意点についてまとめる		
	第5回	内容	調理実習・・・授乳期①（デモンストレーション）			予習	レシピ（プリント）を読んでおく	
					復習	調理手順を理解する		
	第6回	内容	調理実習・・・授乳期②（調理実習）			予習	調理手順を整理しておく	
					復習	人工栄養と母乳についてレポートを作成する		
	第7回	内容	離乳の必要性について			予習	どうして離乳が必要なのかを考える	
					復習	離乳食導入方法とサポート方法をまとめる		
	第8回	内容	離乳期の栄養①（5,6か月頃）			予習	教科書の「5,6か月頃の離乳食」部分を読む	
					復習	「5,6か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第9回	内容	離乳期の栄養②（7,8か月頃）			予習	教科書の「7,8か月頃の離乳食」部分を読む	
					復習	「7,8か月頃の離乳食」の特徴をまとめる		
	第10回	内容	食物アレルギーについて			予習	食物アレルギーの原因となる食物を調べる	
					復習	事故防止、サポート方法をまとめる		
	第11回	内容	調理実習・・・離乳期①（デモンストレーション）			予習	レシピ（プリント）を読んでおく	
				復習	調理手順を理解する			
第12回	内容	調理実習・・・離乳期②（調理実習）			予習	調理手順を整理しておく		
				復習	離乳食（5,6/7,8か月）についてレポート作成			
第13回	内容	離乳期の栄養③（9~11か月頃）			予習	教科書の「9~11か月頃の離乳食」を読む		
				復習	「9~11か月頃の離乳食」の特徴をまとめる			
第14回	内容	離乳期の栄養④（12~18か月頃）			予習	教科書の「12~18か月頃の離乳食」を読む		
				復習	「12~18か月頃の離乳食」の特徴をまとめる			
第15回	内容	調理実習・・・離乳期③（デモンストレーション）			予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する			
第16回	内容	調理実習・・・離乳期④（調理実習）			予習	調理手順を整理しておく		
				復習	離乳食（9~11/12~18か月）のレポート作成			
第17回	内容	保育現場における食事を考える			予習	保育現場で食事等を提供する機会を考える		
				復習	食事等の提供時の課題と解決方法をまとめる			
第18回	内容	幼児期の栄養①成長と食事・栄養について			予習	幼児期の食事について具体的に考えてみる		
				復習	幼児期の食事の特徴をまとめる			
第19回	内容	幼児期の栄養②保育士・保護者の悩みを通して考える			予習	幼児期の食の問題について調べる		
				復習	幼児期の食の課題と解決方法をまとめる			
第20回	内容	児童福祉施設の食事と栄養			予習	教科書の「児童福祉施設の食事」を読む		
				復習	児童福祉施設毎の食の特徴をまとめる			
第21回	内容	調理実習・・・幼児食（弁当）①（デモンストレーション）			予習	レシピ（プリント）を読んでおく		
				復習	調理手順を理解する			

	第 22 回	内容	調理実習・・・幼児食（弁当）②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく
				復習	幼児食、お弁当についてレポートを作成する
	第 23 回	内容	障がい児の食事と栄養	予習	教科書の「障害のある子どもの食事」を読む
				復習	障がいのある子どもの食の課題をまとめる
	第 24 回	内容	体調不良時の食事と栄養	予習	子どもの体調不良について調べる
				復習	体調に合わせた食事の摂り方をまとめる
	第 25 回	内容	調理実習・・・幼児食（行事食）①（デモンストレーション）	予習	レシピ（プリント）を読んでおく
				復習	調理手順を理解する
	第 26 回	内容	調理実習・・・幼児食（行事食）②（調理実習）	予習	調理手順を整理しておく
				復習	行事と調理保育についてレポートを作成する
	第 27 回	内容	学童期の食事と栄養	予習	幼保卒園後の食の問題について考える
				復習	学童期の食とサポート方法をまとめる
	第 28 回	内容	妊娠・授乳期の食事と栄養	予習	妊娠・授乳期に生じる食の問題を考える
				復習	妊娠・授乳期の食とサポート方法をまとめる
	第 29 回	内容	食事のマナー・箸の使い方等について	予習	幼児期に習得すべきマナーについて調べる
				復習	箸使いの習得方法とサポート方法をまとめる
	第 30 回	内容	食べることの意義と栄養・食品の知識	予習	子どもの食で大切なことは何かを考える
				復習	自分の食生活を振り返り、改善方法をまとめる
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（60%）、授業態度（40%）				
教科書	『新版 子どもの食と栄養』（岩田、寺嶋 編、みらい）				
参考文献	『改訂 子どもの食と栄養』（岡崎光子 編、光生館）				
注意事項	調理実習ができない場合には、内容を変更することがあります。				

科目名	子どもの食と栄養		単位数	2	授業時間数	60	担当教員	ほり みち 堀 美稚
ナンバリングコード	EAH12101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	子どもの発育・発達と栄養・食品の基本知識を理解し、子ども一人ひとりの心身の発育状態や子どもを取り巻く食の現状を把握し、適切な食事の提供と介助、さらには保育者への支援する力を身につけ、自分自身の食生活の見直しにも取り組むことを目的とする。							
到達目標	1. 子どもの発育・発達の特徴と食生活の関係や栄養・食品の基本知識を理解し、実践に役立てることができる 2. 月年齢に見合った適切な食事の提供と介助を行うことができる 3. 自分自身の望ましい食生活の見直しに取り組むことができる							
学位授与方針	幼児教育学科（2・3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、調理室の使い方 食べることの意義と栄養・食品の基本知識①			予習	シラバスを読んでおく	
					復習	この科目で習得すべき内容を理解する		
	第2回	内容	子どもの発育・発達と栄養			予習	発育と発達の違いを調べる	
					復習	発育発達と栄養の関わりについてまとめる		
	第3回	内容	授乳期の栄養① 母乳・人工栄養			予習	母乳・人工栄養について調べる	
					復習	乳汁栄養の利点と注意点をまとめる		
	第4回	内容	授乳期の栄養②調乳調理実習の説明			予習	調乳実習の手順について調べる	
					復習	プリントを読んでおく		
	第5回	内容	調理実習・・・授乳期（調乳調理実習）			予習	調理手順を整理しておく	
					復習	調理実習のレポートを作成する		
	第6回	内容	離乳の必要性について			予習	離乳が必要な理由を考える	
					復習	離乳食導入方法とサポート方法をまとめる		
	第7回	内容	離乳期の栄養①（5,6,7,8か月頃）			予習	5,6,7,8か月頃の離乳食について調べる	
					復習	5,6,7,8か月頃離乳食の特徴をまとめる		
	第8回	内容	離乳期の栄養②（9,11,12,18か月頃）			予習	9,11,12,18か月頃の離乳食について調べる	
					復習	9,11,12,18か月頃離乳食の特徴をまとめる		
	第9回	内容	乳児期の咀嚼機能の発達と嚥下訓練の実習			予習	歯の萌出と咀嚼の関係について調べる	
					復習	実習で感じ学んだ事をまとめておく		
	第10回	内容	離乳食づくりの留意点と安全管理について			予習	月齢にあった離乳食づくりについて調べる	
					復習	安全な調理作業についてまとめる		
	第11回	内容	献立作成と調理の基本			予習	昨日の夕食の献立について記入しておく	
				復習	夕食の献立を作成する			
第12回	内容	幼児期の発育・発達・栄養の特徴①			予習	幼児期の食事について具体的に考えてみる		
				復習	幼児期の食事の特徴をまとめる			
第13回	内容	幼児期の食の問題点と気になる食行動			予習	食の問題点について調べる		
				復習	問題点の改善をまとめる			
第14回	内容	食物アレルギーについて			予習	食物アレルギーの原因となる食物を調べる		
				復習	事故防止、サポート方法をまとめる			
第15回	内容	保育現場における食について考える			予習	保育所における食事の提供ガイドラインを読む		
				復習	食事提供の意義についてまとめる			
第16回	内容	栄養・食品の基本的知識②			予習	栄養と食品の基礎の復習する		
				復習	自分の1日の食事の摂取量を調査する			
第17回	内容	幼児期の栄養②保育士・保護者の悩みを通して考える			予習	食の悩みの問題点について調べる		
				復習	食の問題等の改善について考察する			
第18回	内容	間食の意義、調理実習の説明			予習	幼児期の間食の種類について調べておく		
				復習	調理の手順・レポート作成方法を理解する			
第19回	内容	間食の実習			予習	調理手順を確認する		
				復習	調理実習のレポートを作成する			
第20回	内容	児童福祉施設の食事と栄養			予習	児童福祉施設の種類について調べる		
				復習	児童福祉施設毎の食の特徴をまとめる			
第21回	内容	障がい児の食事と栄養			予習	「障がい」とは何かを調べる		
				復習	障がいのある子どもの食の課題をまとめる			

	第 22 回	内容	体調不良時の食事と栄養	予習	子どもの体調不良について調べる
				復習	体調に合わせた食事の摂り方をまとめる
	第 23 回	内容	食育と行事食	予習	我が家の行事食について調べる
				復習	食育基本法についてまとめる
	第 24 回	内容	地域や家庭と連携した食育の実践	予習	食育と地域のつながりについて考える
				復習	食育の実践について考察する
	第 25 回	内容	学童期の食事と栄養	予習	学童期の食の問題点について調べる
				復習	学童期の食のサポート方法をまとめる
	第 26 回	内容	思春期の食事と栄養	予習	思春期の食の問題点について調べる
				復習	食生活の改善についてまとめる
	第 27 回	内容	妊娠・授乳期の食事と栄養	予習	妊娠・授乳期に生じる食の問題を考える
				復習	妊娠・授乳期の食とサポート方法をまとめる
	第 28 回	内容	食事のマナー・箸の使い方等について	予習	幼児期に習得すべきマナーについて調べる
				復習	箸使いの習得方法とサポート方法をまとめる
	第 29 回	内容	日本人の食生活の目標について	予習	日本人の食生活の問題について調べる
				復習	自分の食生活の改善につなげる
	第 30 回	内容	食べることの意義とバランスの良い食事とは	予習	食事バランスガイドについて調べる
				復習	保育者として健康的な食生活の配信方法を考察
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60 %）、授業態度【積極的参加】（40 %）				
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 新版子どもの食と栄養（株）ひかり 2,300 円				
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『新版 子どもの食生活-栄養・食育・保育-』（上田玲子 編、ななみ書房）				
注意事項	授業を通して、自分自身の望ましい食生活の見直しにも取り組んで欲しい。				

科目名	臨床心理学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナンバリングコード	CLP12201		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	臨床心理学は応用心理学の一つである。心の悩みを解決し、人間を幸せにする学問ともいわれている。現代社会にはさまざまな心の問題が存在する。私たちが、人の心を理解しようと試みたり、心の問題に向き合おうとするとき、臨床心理学はそれらの試みをサポートしてくれる。本講義では、臨床心理学の基礎的知識の習得と現場で生きる臨床心理学の実践的能力の育成を図る。さらに、保育者自身の心の安定と成長にもアプローチしたいと考えている。							
到達目標	1. 臨床心理学の基礎的知識を習得できる。 2. 学んだ知識を活用して、心の問題について、自分なりに考えられる力を身につける。 3. 学んだ知識を使って、子どもや保護者の心の問題理解と支援に役立てられる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ ①⑤⑦ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	臨床心理学についての概要 現代社会のこころの問題を考えてみる			予習	現代社会のこころの問題を考えてみる	
						復習	現代社会のこころの問題を振り返る	
	第2回	内容	精神障害① 抑うつ障害			予習	抑うつ障害について調べる	
						復習	抑うつ障害について確認する	
	第3回	内容	精神障害② 不安障害			予習	不安障害について調べる	
						復習	不安障害について確認する	
	第4回	内容	精神障害③ 統合失調症			予習	統合失調症について調べる	
						復習	統合失調症について確認する	
	第5回	内容	精神障害④ 心的外傷後ストレス障害			予習	PTSDについて調べる	
						復習	PTSDについて確認する	
	第6回	内容	発達臨床心理学について 発達初期のこころの問題について考えてみる			予習	既習の発達心理学の内容を確認する	
						復習	既習の発達心理学の内容について確認する	
	第7回	内容	発達障害① 知的障害・自閉症スペクトラム			予習	知的障害について調べる	
						復習	知的障害について確認する	
	第8回	内容	発達障害② ADHD・LD			予習	ADHD, LD について調べる	
					復習	ADHD, LD について確認する		
第9回	内容	確認小テスト フィードバック			予習	ここまでの内容について試験勉強する		
					復習	テストで出た内容を照らし合わせ確認する		
第10回	内容	臨床心理学の理論と方法① 精神分析			予習	精神分析について調べる		
					復習	精神分析について確認する		
第11回	内容	臨床心理学の理論と方法② 人間性心理学			予習	ロジャースについて調べる		
					復習	ロジャースの理論について確認する		
第12回	内容	心理アセスメント 知能テスト、パーソナリティテスト、質問紙法と投影法について			予習	心理テストについて調べる		
					復習	心理アセスメントについて確認する		
第13回	内容	身近なこころの問題			予習	身近な心の問題について考える		
					復習	授業で学んだことと照らし合わせ確認する		
第14回	内容	確認小テスト フィードバック			予習	ここまでの内容について試験勉強する		
					復習	テストで出た内容を照らし合わせ確認する		
第15回	内容	現代社会と臨床心理学：サブカルチャーの中にみられる臨床心理学的問題から考えてみる			予習	サブカルチャーと精神性について調べる		
					復習	自分の考えをまとめてみる		
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	2回の小テストを実施し、その後に行う。 レポートについては意見レポートなのでずれていない限りは合格とし、不合格のものには個別に対応する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（100%）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書								
参考文献								
注意事項	授業中の私語、携帯電話、飲食は禁止。好ましくない者は注意の上で授業態度を減点し、場合によっては退出、授業出席を停止させることもありますので注意してください。							

科目名	心理学特講	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	おおくま みかこ 大熊 美佳子
ナンバリングコード	EDP12202	授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	心理学は、人間の心のメカニズムや行動を科学的に研究していく学問です。本講義では、自分自身の心の仕組みを探り、自己理解を深めるとともに、人間理解の観点から、人間の心と行動について理解を深めるために必要な心理学の基礎知識を学び、日常生活にその知見を生かすことを目的とします。						
到達目標	1. 心理学の基礎知識を身につけている 2. 人の心のメカニズムと行動について理解している 3. 自分自身の望ましいライフコース構築に取り組んでいる						
学位授与方針	幼児教育学科（ 3, 5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	ガイダンス：心理学を学ぶということ	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	心理学を学ぶ意義をまとめる		
	第2回	内容	自分自身を知る	予習	自分自身の性格について考える		
				復習	自分自身について理解を深める		
	第3回	内容	女性のライフコースの心理学	予習	女性のライフコースをテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	自分自身のライフコースを考える		
	第4回	内容	親子関係の心理学	予習	親子関係をテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	親子関係について自分の考えをまとめる		
	第5回	内容	子育ての心理学	予習	子育てに関連する情報を調べる		
				復習	子育てについて自分の考えをまとめる		
	第6回	内容	自己決定理論から考える動機づけ	予習	動機づけについて調べる		
				復習	自己決定理論について学んだことをまとめる		
	第7回	内容	実行機能の発達	予習	実行機能について調べる		
				復習	実行機能の発達についてまとめる		
	第8回	内容	対人関係の心理学	予習	対人関係をテーマにした映画・小説などについて調べる		
				復習	対人関係についてまとめる		
第9回	内容	社会的ジレンマ	予習	社会的ジレンマの事例を調べる			
			復習	社会的ジレンマについて学んだことをまとめる			
第10回	内容	記憶の発達	予習	記憶について調べる			
			復習	記憶の発達について学んだことをまとめる			
第11回	内容	感情・情動の発達	予習	感情・情動の発達について調べる			
			復習	感情・情動の発達について学んだことをまとめる			
第12回	内容	道徳性の発達	予習	道徳性をテーマにした映画・小説などについて調べる			
			復習	道徳性の発達について学んだことをまとめる			
第13回	内容	色彩と心理学	予習	自分に似合う色について考える			
			復習	色彩が及ぼす影響についてまとめる			
第14回	内容	レジリエンスとマインドフルネス	予習	自分自身がストレスを感じる状況について考える			
			復習	心の健康を保つ方法についてまとめる			
第15回	内容	課題の発表とまとめ 日常に生かす心理学	予習	授業を通して学んだことを整理する			
			復習	学んだ知見の活用についてまとめる			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度【積極的参加】（40%）						
教科書	特になし						
参考文献	講義の中で適宜紹介します						
注意事項							

科目名	保育・教育課程論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
ナンバリングコード	EDU12201		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼稚園教育要領及び保育所保育指針 及び幼保連携型認定こども園教育保育要領に基づき保育・教育課程の基本的な知識として理解を深める。 保育・教育課程、保育計画の意義及び編成の方法について知る。幼稚園や保育所(園)の保育内容などの保育の基本を理解した上で、保育実践における指導日案、細案などの立案の仕方を身につける。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育・保育課程の全体の計画、指導計画の意義について学び、教育課程・保育課程の編成及び指導計画の作成について目的などを理解している。</li> <li>2. 保育の基本及び子どもの発達の過程・特徴について理解し、指導計画の作成を通して作成のポイント、方法について理解している。</li> <li>3. 実際の保育方法や保育の形態と内容、保育記録・評価反省・改善の意義・目的について理解している。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科(2・3・4・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	第1講：保育課程とは オリエンテーション	予習	幼稚園教育要領 保育所保育指針を読む			
				復習	配布のレジュメをもとにポイントを確認する			
	第2回	内容	第1講・第2講 保育所保育指針と幼稚園教育要領・認定こども園教育・保育要領について	予習	要領・指針を読む			
				復習	共通している内容と違いを確認する。			
	第3回	内容	第2講：保育所保育指針と保育課程	予習	保育所保育指針総則を読む			
				復習	保育課程とは、ポイントを復習しておく			
	第4回	内容	第2講：幼稚園教育要領と教育課程	予習	幼稚園教育要領を読んでおく。			
				復習	教育課程のポイントを復習しておく			
	第5回	内容	第3/4講：教育・保育課程の編成方法と編成のポイント (発達過程の理解を確認し編成について学ぶ)	予習	子どもの発達を予習しておく			
				復習	編成のポイントを復習しておく			
	第6回	内容	第5講：教育・保育課程の編成方法と編成のポイント (保育内容領域を理解し総合的な実践について学ぶ)	予習	保育内容5領域を読んでおく			
				復習	編成のポイントを復習しておく			
	第7回	内容	第8講：認定こども園 教育・保育要領と全体的な計画	予習	認定こども園教育・保育要領を読んでおく			
				復習	全体的な計画について復習しておく			
	第8回	内容	<b>4クラス合同講義： 認定こども園の保育の実際を学ぶ</b>	予習	第8講を読んでおく			
			復習	保育の実際で学んだことをミニレポートに書く。				
第9回	内容	第6講：教育・保育課程から保育指導計画、作成とそのポイント	予習	3歳未満児の発達を予習しておく				
			復習	作成のポイントを復習する				
第10回	内容	<b>実習に向けて指導計画の立案・作成(部分案)</b>	予習	<b>参考書から主活動をきめる(図書館に行く)</b>				
			復習	<b>指導案の原案を書いてみる(箇条書きで書く)</b>				
第11回	内容	<b>実習に向けて指導計画の立案・作成(部分案)</b>	予習	考えた活動で指導案の流れを考えておく				
			復習	<b>指導案を完成させる(次週提出)</b>				
第12回	内容	計画と評価(PDCA サイクル) ※指導案提出・期限厳守 保育実践の省察と評価(記録の方法)	予習	保育評価について調べる				
			復習	省察と評価のポイントを復習する				
第13回	内容	多様な指導計画の実際(3歳未満児・個別の指導計画)	予習	多様な計画について調べておく				
			復習	それぞれの特徴を復習する				
第14回	内容	保育指導計画の実際(小学校との接続カリキュラム他)	予習	幼小連携とは 調べておく。				
			復習	接続期カリキュラムを復習する。				
第15回	内容	授業のまとめ(授業内レポート)教科書のみ持ち込み可	予習	全体を復習し、授業内レポートの資料を読む				
			復習	この授業全体の復習				
	予習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	保育計画の立案を学ぶため 予習を行い、準備をして授業に臨む。							
成績評価	試験期間における定期試験(指導案)：実施( )する/ (○)しない ただし授業内レポート実施、指導案提出により評価する。 成績評価の方法：試験(指導案を期限までに提出 授業内レポート 併せて70%)、ミニレポート(10%)、授業態度【リアクションペーパー】(20%) ※第10回の授業に参考書などを持参必須。必ず事前に図書館などで調べて必要な参考書を用意すること							

教科書	新しい保育講座6「保育方法・指導法」 大豆生田啓友著 ミネルバ書房
参考文献	
注意事項	

科目名	保育・教育課程論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	きたの さだと 喜多濃 定人
ナバリンクコード	EDU12201		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（その時期の社会の状況に応じて）							
授業の内容	各園において展開される保育は、様々な専門知識・技術、さらに豊かな感性と誠実な人間性を備えた専門家によって行われる専門的な営みである。その専門性の1つである保育の計画について学び、自ら保育の計画を立て実践できるようになる事を目指し、将来保育者になった時に身に着けておいて欲しい基本的な事柄を学びます。							
到達目標	1. 教育課程、保育の全体的な計画、指導計画の意義について学び、作成について目的を理解している。 2. 保育の基本及び計画に必要な子ども理解について学び、指導計画の作成を通して作成のポイント、方法について理解している。 3. 実際の保育方法や保育の形態と内容、保育記録・評価反省・改善の意義・目的について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（4.5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション・光輪会の紹介	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	紹介された園の取り組みを理解する			
	第2回	内容	幼児期の子どもが育つ社会背景の現状理解	予習	社旗背景がどの様に变化していったか考える			
				復習	プリントを読み直し現状を理解する			
	第3回	内容	教育課程・保育課程、指導計画とは	予習	実習等で作成した計画・指導案を見なおす			
				復習	教育・保育課程、指導案の仕組みを理解する			
	第4回	内容	計画に必要な子ども理解	予習	自身の子ども間について考えをまとめる			
				復習	プリントを見直し子ども観に関して理解を深める			
	第5回	内容	幼稚園における教育課程と指導計画	予習	教育課程、指導計画について調べる			
				復習	プリントを見直し理解を深める			
	第6回	内容	保育所の全体的な計画と指導計画	予習	保育所の全体的な計画について調べる			
				復習	プリントを見直し理解を深める			
	第7回	内容	認定こども園における教育・保育課程と指導計画	予習	教育・保育課程と指導計画について調べる			
				復習	プリントを見直し理解を深める			
	第8回	内容	愛着形成（アタッチメント）	予習	自分なりにアタッチメントについて考える			
				復習	愛着形成についてのレポートを作成し提出する			
第9回	内容	0歳児の指導計画	予習	0歳児の指導計画について調べる				
			復習	プリントを見直し理解を深める				
第10回	内容	1～2歳児の指導計画	予習	1～2歳児の指導計画について調べる				
			復習	プリントを見直し理解を深める				
第11回	内容	3～5歳児の指導計画	予習	3～5歳児の指導計画について調べる				
			復習	この時期の3～5歳児の指導案を作成する				
第12回	内容	小学校へのつながり	予習	接続期について調べる				
			復習	プリントを見直し理解を深める				
第13回	内容	行事・様々な保育方針と教育・保育課程	予習	様々な保育とはどのような保育があるのか調べる				
			復習	プリントを見直し理解を深める				
第14回	内容	保育の質を高める計画と評価	予習	評価とは何なのか調べる				
			復習	自己・関係者・第三者評価の違いを理解する				
第15回	内容	まとめ	予習	今までのプリントを見直す				
			復習	自分なりの保育観を持ち指導案を立てる				
予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね40分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成したレポートにコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（40%）、リアクションペーパー（30%）、授業への積極的な参加（30%）							
教科書	『新版 教育・保育課程論』（谷田貝・石橋 監 高橋・大沢 編、一藝社）							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育課程・教育課程総論』（柴崎・戸田・増田 編 ミネルバ書房） その他授業内で紹介していきます。							
注意事項	授業を通して、望ましい保育内容を考える機会として行ってください。							

科目名	保育内容総論		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永修
ナバリングコード	EDU12202		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼児教育は総合的な指導をするという考え方から、5領域、幼児期に育みたい資質・能力、幼児期までに育ってほしい姿それぞれを理解し、またそれらの関係性を理解した上で保育を構築できるようにする。そのために具体的な子どもの姿を考えながら保育内容と指導法についてグループディスカッションし、理解を深める。							
到達目標	1. 「育みたい資質・能力」「幼児期に育ってほしい」と保育内容の関係性を理解している 2. 子どもを取り巻く社会や環境の実態に即した具体的な保育課程を構築できる 3. 保育の多様な展開について具体的に理解している							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	乳幼児期の保育の基本について	予習	これまでの学びを通して保育の基本についてまとめておく			
				復習	授業の内容を受けて改めて保育の基本及び保育内容についての振り返りを行う			
	第2回	内容	要領及び指針における教育と保育の考え方及び遊びを通した総合的な学びについて	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内容を踏まえ改めて要領や指針の該当部分を読み理解を深める			
	第3回	内容	幼児教育と小学校教育の違いと接続について	予習	これまでの学びを通して幼児教育と小学校教育の違いについてまとめておく			
				復習	授業内容を踏まえて事前にまとめた内容の修正を行い理解を深める			
	第4回	内容	社会的背景から変化してきた保育内容の変遷について	予習	過去の要領や指針を調べ保育内容の違いを確認しておく			
				復習	時代のニーズと保育内容の変遷から今後の変化について自分なりの考えをまとめる			
	第5回	内容	幼児期に育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿について	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	幼児期に育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿のまともに行い理解を深める			
	第6回	内容	5領域のねらい及び内容と保育内容（1） 各領域を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第7回	内容	5領域のねらい及び内容と保育内容（2） 各領域を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第8回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容（1） 10の姿を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第9回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容（2） 10の姿を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第10回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿と保育内容（3） 10の姿を念頭に入れた保育内容を考えるグループディスカッション及び発表	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内で考えた保育内容について指導案を作成する			
	第11回	内容	保育の計画の考え方と指導計画について	予習	要領や指針の該当部分を読み返しておく			
				復習	授業内容から保育の計画の必要性や指導計画の評価・改善についてまとめを行う			
	第12回	内容	視聴覚教材を活用して映像から子どもの育ちと気持ちを読み取る（1） グループディスカッション及び発表	予習	子どもの発達過程について確認しておく			
				復習	映像視聴及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方についてまとめる			
	第13回	内容	視聴覚教材を活用して映像から子どもの育ちと気持ちを読み取る（2） グループディスカッション及び発表	予習	子どもの発達過程について確認しておく			
				復習	映像視聴及びグループディスカッションをもとに子どもの育ちと気持ちの読み取り方についてまとめる			
	第14回	内容	子どもを取り巻く社会の中での成長・発達と生活について	予習	現在の子どもを取り巻く環境について自分なりにまとめておく			
				復習	子どもを取り巻く社会が子どもに与える影響について実生活の中で確認する			
	第15回	内容	現代社会における保育ニーズの多様化について及び総まとめ	予習	現代社会においてどのような保育ニーズがあるかまとめておく			
				復習	授業内容を受けて様々な保育ニーズにこたえるための保育についてまとめる			

	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。
課題へのフィードバック	提出物に関する評価を行い、返却時に解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【参加度合】（30%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて授業内で指示する
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館
注意事項	

科目名	保育内容総論		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	いがらし じゅんこ 五十嵐 淳子
ナンバリングコード	EDU12202		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育内容総論は、各論としてとらえられる保育内容を総合的に把握して理解するものである。子どもの育ちを支える保育者として求められる知識と保育技術、その他保育内容にかかわることを総合的に学び身につけることを目的とする。							
到達目標	1. 乳幼児の発達の特徴を踏まえた、子ども一人ひとりに寄り添う保育者の役割と援助について習得している。 2. 保育内容 5 領域について構造的にとらえた上で、保育内容をいかに構成・展開していくか理解し保育実践力を身に付けている。							
学位授与方針	幼児教育学科（1,2,3,4,5,7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス：保育内容総論について	予習	保育内容についてのイメージを膨らませる			
				復習	保育内容の5領域について整理する			
	第2回	内容	保育の基本と保育内容	予習	保育の基本についてテキストで確認する			
				復習	保育基本と保育内容について整理する			
	第3回	内容	保育の特質：保育教材から考える、教材制作	予習	保育教材について下調べしておく			
				復習	保育教材についての理解を整理する			
	第4回	内容	遊びによる総合的な保育	予習	子どもの遊びに繋がる保育教材を確認			
				復習	遊びと保育について理解し整理する			
	第5回	内容	幼児の発達と生活	予習	子どもの発達段階について調べておく			
				復習	子どもの発達段階を整理しておく			
	第6回	内容	環境と保育内容	予習	子どもを取り巻く環境について下調べしておく			
				復習	保育内容のテキストを読み返し整理しておく			
	第7回	内容	幼児理解と保育内容	予習	幼児理解の箇所のテキストを読む			
				復習	幼児理解についての自分の考えをまとめる			
	第8回	内容	保育内容と保育・教育課程	予習	保育課程・教育課程について下調べしておく			
				復習	保育課程・教育課程について整理する			
	第9回	内容	指導計画の実際	予習	指導計画とは何かを調べる			
				復習	指導計画と実践について整理する			
	第10回	内容	保育内容と保育の展開	予習	保育内容と保育の展開の箇所のテキストを読む			
				復習	保育内容と保育の展開について整理する			
	第11回	内容	保育の評価と記録	予習	評価と記録の箇所のテキストを読み込んでおく			
				復習	評価や記録について整理する			
	第12回	内容	保育者の役割	予習	保育者の役割について考えておく			
				復習	保育者の役割について整理しておく			
	第13回	内容	保育の実践的理解①：保育教材を通した保育実践の発表	予習	保育実践の発表に向けて準備する			
				復習	実践発表の振り返りをする			
	第14回	内容	保育の実践的理解②：保育教材を使用した実技発表	予習	振り返りを踏まえて保育実践をまとめておく			
				復習	各自が発表した内容をまとめておく			
	第15回	内容	まとめ 保育内容における現状と課題	予習	今までの授業の学びを整理する			
				復習	保育内容での学びをまとめておく			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	実技や発表については、個々にコメントを通してフィードバックするようにする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）%、レポート・課題（ ）%、作品・発表（40%）、実技（40%）、授業態度【リアクションペーパー】（20%）							
教科書	浅見均、田中正浩編著『保育内容総論』大学図書出版							
参考文献	厚生労働省『保育所保育指針解説書』フレーベル館 文部科学省『幼稚園教育要領』フレーベル館							
注意事項	保育教材の作成の際は必要な物を各自準備すること							

科目名	乳児保育 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥海 弘子
ナバリンクコード	CHS12101		授業形態	講義	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（状況に応じて遠隔授業を実施する）							
授業の内容	乳児の発育・発達を踏まえ、個性を見極めながら、どのように保育者として関わることが必要であるかを考え、乳児保育を学ぶことである。 子どもの気持ちに寄り添い、育ちや学びを支えるチームとしての保育や安全な保育環境の在り方などを理解する。 乳児保育の専門性の理解を深めることを目的とする。							
到達目標	1. 乳児保育の意義や目的について理解している。 2. 乳児保育の現状と課題を理解している。 3. 3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育内容を理解している。 4. 乳児保育における職員間の連携・協働および保護者や地域の関係機関との連携について理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.4.7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	乳児保育の意義と目的と歴史の変遷	予習	シラバスを読む	復習	今後の授業の進め方を確認し自分自身の学習計画を立てる	
	第2回	内容	乳児保育および子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	予習	教科書 P20～28 を読む	復習	子育て世代を取り巻く社会状況をまとめる	
	第3回	内容	保育所における乳児保育	予習	教科書 P32～40 を読む	復習	保育所における乳児保育の現状をまとめる	
	第4回	内容	保育所以外の児童福祉施設における乳児保育	予習	教科書 P44～56 を読む	復習	乳児院の現状と課題をまとめる	
	第5回	内容	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育	予習	教科書 P 58～68 を読む	復習	家庭的保育と小規模保育の課題をまとめる	
	第6回	内容	3歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	予習	教科書 P 70～80 を読む	復習	子育て支援の現状をまとめる	
	第7回	内容	3歳未満児と生活と環境	予習	教科書 P 82～90 を読む	復習	0歳児の遊びの環境の整え方をまとめる	
	第8回	内容	3歳未満児の遊びと環境	予習	教科書 P92～102 を読む	復習	1歳以上3歳未満の遊ぶの環境の整え方をまとめる	
	第9回	内容	3歳以上児の保育に移行する時期の保育	予習	教科書 P106～115 を読む	復習	3歳以上児の保育の移行する時期への保育の配慮をまとめる	
	第10回	内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育者による援助やかかわり	予習	教科書 P120～130 を読む	復習	0歳児保育の配慮事項をまとめる	
	第11回	内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮	予習	教科書 P132～140 を読む	復習	3歳未満児に共通する配慮事項をまとめる	
	第12回	内容	乳児保育における計画・記録・評価とその意義	予習	教科書 P144～152 を読む	復習	「保育の質とは」まとめる	
	第13回	内容	職員間の連携・協働 グループディスカッションを行う	予習	教科書 P154～164 を読む	復習	「チームで進める保育とは」まとめる	
	第14回	内容	保護者との連携・協働 グループディスカッションを行う	予習	教科書 P166～176 を読む	復習	「保護者支援とは」まとめる	
	第15回	内容	自治体や地域の関係機関等との連携・協働	予習	教科書 P178～188 を読む	復習	「地域の子育て支援とは」まとめる	
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（70%）、レポート・課題（20%）、授業態度【積極的な参加】（10%）							
教科書	『乳児保育Ⅰ・Ⅱ 新・基本保育シリーズ⑤』寺田清美・大方美香・塩谷香 中央法規							
参考文献	『保育所保育指針』厚生労働省 フレーベル館							
注意事項	レポート・課題など提出期限は必ず守ること。							

科目名	乳児保育 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	はぎわら やすこ 萩原 康子
ナンバリングコード	CHS12101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	3歳未満児の発育・発達の特徴、生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。 講義、ビデオ視聴や保育現場での事例等を通して理解を深め、乳児保育に必要な知識を身につける。 乳児保育の指導計画作成について、グループワーク等を通して具体的に学ぶ。							
到達目標	1. 3歳未満児の保育における養護と教育の一体性について理解している。 2. 3歳未満児の発達支援と家庭支援について説明できる。 3. 3歳未満児の生活の連続性、発達の連続性、遊びの連続性について説明できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,4,5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 乳児保育の意義・目的と歴史的返還	予習	シラバスを読み本科目で修得する内容を知る	復習	養護と教育を一体的に行う理由を理解する	
	第2回	内容	乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	予習	家庭や地域の子育て機能の低下について調べる	復習	乳児保育の重要性、子育て支援のあり方を理解する	
	第3回	内容	保育所における乳児保育	予習	長時間保育における課題について調べる	復習	保育所の機能と役割を理解する	
	第4回	内容	保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育	予習	保育所以外の児童福祉施設について調べる	復習	乳児院の役割と生活を理解する	
	第5回	内容	家庭的保育・小規模保育等における乳児保育	予習	家庭的保育、小規模保育について調べる	復習	家庭的保育、小規模保育、地域型保育の特徴を理解する	
	第6回	内容	3歳未満児の家庭を取り巻く環境と子育ての支援	予習	子どもの最善の利益について調べる	復習	事例から学んだ内容をレポートにまとめる	
	第7回	内容	3歳未満児の生活と環境	予習	保育の人的環境、物的環境について調べる	復習	乳児保育室の環境構成のあり方を理解する	
	第8回	内容	3歳未満児の遊びと環境	予習	視覚、四肢、手指、言葉の発達について調べる	復習	発達に応じた遊びの環境と配慮を理解する	
	第9回	内容	3歳以上児の保育に移行する時期の保育	予習	0歳から1歳、1歳から2歳、2歳から3歳に移行する際の留意点について調べる	復習	乳児保育における総合的な育ちについてレポートにまとめる	
	第10回	内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育者による援助やかかわり	予習	運動発達、微細発達、認知発達、関係性の発達について調べる	復習	乳児の発達の特徴と援助のあり方を理解する	
	第11回	内容	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮	予習	健康、安全、情緒に関する配慮事項を調べる	復習	保育中の健康把握、安全管理についてレポートにまとめる	
	第12回	内容	乳児保育の計画・記録・評価とその意味 グループワーク	予習	保育の長期的計画、短期的計画について調べる	復習	計画、実践、記録、評価の関連性を理解する	
	第13回	内容	職員間の連携と協働	予習	保育士の役割と業務について調べる	復習	保育士に求められる専門性、人間性を理解する	
	第14回	内容	保護者との連携と協働	予習	子育て支援の必要性について調べる	復習	保護者と連携して子どもの育ちを支える視点を理解する	
	第15回	内容	自治体や地域の関係機関との連携と協働	予習	児童虐待について調べる	復習	保育所と地域との連携の意味を理解する	
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	作成したレポートについては全体に説明を行う。 授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（60%）、レポート・課題（20%）、授業態度【リアクションペーパーの記載内容含む】（20%）							
教科書	『乳児保育Ⅰ・Ⅱ』（寺田清美・大方美香・塩谷香編集、中央法規出版株式会社）							
参考文献	『保育所保育指針解説』（フレーベル館） 『幼保連携認定子ども園教育・保育要領』（チャイルド社）							
注意事項	リアクションペーパーには、毎回学んだことや感想等を記入して提出すること。配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。							

科目名	乳児保育 I		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
カンパリコード*	CHS12101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を学ぶ 乳児が家庭と保育園を24時間行き来している生活をとらえ、保育者としてどのような援助やかかわりが必要であるかを考え、乳児の保育を学ぶ 乳児が主体的に遊び、生活する保育とはどういうことであるのか、その意味を考え学ぶ。							
到達目標	1. 乳児の育つみちすじを理解し、保育としてのかかわりや援助の具体的な方法・内容を理解している。 2. 乳児が主体的に遊び生活する意味を考え、保育ではどのようなことを大切にすることを理解している。 3. 乳児の育ちを保育者と保護者が連携して支えていくためにどのような保護者へのはたらきかけはあるかを理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	授業ガイダンス 乳児保育とは？ 乳児保育の変遷	予習	シラバスを読んでおく	復習	今日のまとめをする	
	第2回	内容	家庭での乳児の生活を知る・子育て支援の現状と課題	予習	自分を育てた養育者に聞いてみる	復習	子育て支援に関する記事を探してみる。	
	第3回	内容	乳児保育の様々な場と保育園の一日を知る	予習	地域にある乳児保育の施設を探してみる	復習	今日のまとめをする	
	第4回	内容	発達と保育 0歳前半の発達の特徴	予習	発達段階を調べておく	復習	自分ノートにまとめておく	
	第5回	内容	発達と保育 0歳前半の生活と遊び1	予習	生活の援助の実践を調べていく。	復習	自分ノートにまとめておく	
	第6回	内容	発達と保育 0歳前半の生活と遊び2	予習	遊びの実践を調べておく。	復習	自分ノートにまとめておく	
	第7回	内容	発達と保育 0歳後半の発達の特徴	予習	発達段階を調べる	復習	自分ノートにまとめておく	
	第8回	内容	発達と保育 0歳後半の生活と遊び1	予習	生活の援助を調べておく	復習	自分ノートにまとめておく	
	第9回	内容	発達と保育 0歳後半の生活と遊び2	予習	遊びの実践について調べておく	復習	自分ノートにまとめておく	
	第10回	内容	<u>0歳児の復習・ミニテスト</u>	予習	0歳児前半後半で学んだことを振り返る。	復習	テストでできなかったことを復讐する。	
	第11回	内容	発達と保育 1歳前半の発達の特徴	予習	発達段階を調べる	復習	自分ノートにまとめる	
	第12回	内容	発達と保育 1歳後半の生活と遊び1	予習	生活の援助を調べておく	復習	自分ノートにまとめる	
	第13回	内容	発達と保育 1歳後半の生活と遊び2	予習	遊びの実践について調べておく	復習	自分ノートにまとめる	
	第14回	内容	発達と保育 1歳後半の生活と遊び3	予習	遊びの実践について調べておく	復習	自分ノートにまとめる	
	第15回	内容	<u>1歳児の復習・ミニテスト</u>	予習	1歳児前半後半で学んだことを振り返る	復習	テストでできなかったことを復讐する	
予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回アクションペーパーの学びの振り返りに適時コメントをする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない ※授業内で適時試験をする。 成績評価の方法：筆記試験（ 50 %）、レポート・課題（ 20 %）、作品・発表（ 10 %）、実技（ %）、授業態度【リアクションペーパーによる】（ 10 %）							
教科書	初回配布するテキストを使用する。「保育所の子どもの「学び」まるごとガイド」 学陽書房							
参考文献								
注意事項								

科目名	乳児保育Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥海 弘子
ナンバリングコード	CHS12201		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（状況に応じて遠隔授業を実施する）							
授業の内容	乳児保育Ⅰの学びを踏まえて、3歳児未満の発育・発達過程や特性を理解し、援助や関わり方を理解する。 保育現場での現状を知り、集団生活における具体的な援助方法を身につける。 指導計画の評価・記録について学ぶ理解する。							
到達目標	1. 乳児保育の基本を理解している。 2. 乳児保育における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際を理解している。 3. 乳児保育における計画の実際を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（2.3.4.7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	乳児保育の基本 オリエンテーション	予習	シラバスを読む			
				復習	自分自身の学習計画を立てる			
	第2回	内容	指導計画とは	予習	教科書 P326～346 を読む			
				復習	教科書 P332 図表 14-3、図表 14-4 をまとめる			
	第3回	内容	子どもの生活の流れ（0歳児クラス）	予習	教科書 P202～210 を読む			
				復習	教科書 P372～373 を理解しよう			
	第4回	内容	子どもの保育環境（0歳児クラス）	予習	教科書 P212～220 を読む			
				復習	教科書 図表 3-1 をまとめる			
	第5回	内容	子どもの援助の実際（0歳児クラス）	予習	教科書 P222～230 を読む			
				復習	心地よさを感じる空間を考えよう			
	第6回	内容	第2～5回授業について テスト 手作り玩具について	予習	手作り玩具を調べよう			
				復習	手作り玩具を作ってみよう			
	第7回	内容	子どもの生活の流れ（1歳児クラス）	予習	教科書 P232～239 を読む			
				復習	1歳児クラスのデイリープログラムを考えよう			
	第8回	内容	子どもの保育環境（1歳児クラス）	予習	教科書 P242～250 を読む			
				復習	教科書 P246 演習1をまとめる			
第9回	内容	子どもの援助の実際（1歳児クラス）	予習	教科書 P252～260 を読む				
			復習	かみつき・ひっかきとは 考えよう				
第10回	内容	第7～9回授業について テスト 絵本について	予習	乳児の絵本を1冊 図書館で借りて読む				
			復習	絵本を子どもに読む練習をしよう				
第11回	内容	子どもの生活の流れ（2歳児クラス）	予習	教科書 P262～269 を読む				
			復習	教科書 P266 図表 8-2 をまとめる				
第12回	内容	子どもの保育環境（2歳児クラス）	予習	教科書 P272～280 を読む				
			復習	教科書 P 図表 9-1 をまとめる				
第13回	内容	子どもの援助の実際（2歳児クラス）	予習	教科書 P284～290 を読む				
			復習	教科書 P286 演習2を考えよう				
第14回	内容	第11～13回授業について テスト 保護者支援について	予習	2歳児とは をまとめる				
			復習	保護者支援を考えよう				
第15回	内容	乳児保育の総合理解	予習	乳児保育とは 考える				
			復習	乳児保育の実践者になるには 考える				
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない ※授業内にてテストを実施する 成績評価の方法：筆記試験（60%）、作品（20%）、授業態度【積極的な授業の参加】（20%）							
教科書	『乳児保育Ⅰ・Ⅱ 新・基本保育シリーズ⑩』寺田清美・大方美香・塩谷香 中央法規（乳児保育Ⅰと同じ）							
参考文献	『保育所保育指針』厚生労働省 フレーベル館							
注意事項	グループでの演習を行います。積極的に参加をするようにしましょう。							

科目名	乳児保育Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	はぎわら やすこ 萩原 康子
カンパリングコード	CHS12201		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	乳児保育Ⅰの学習をもとに愛着関係の必要性を理解し、3歳未満児の発育・発達の特徴や生活・遊びの実際と援助、配慮について学ぶ。ビデオ視聴や保育現場での事例、演習を通して理解を深め、乳児保育に必要な知識と技術を身につける。指導計画の作成について、グループワーク等で具体的に学ぶ。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 3歳未満児の発育・発達の過程や特性を踏まえた援助や関わりについて、基本的な考え方を理解している。</li> <li>2. 3歳未満児の子どもの生活や遊びと保育の方法及び環境構成について、具体的方法を身につけている。</li> <li>3. 乳児保育における配慮について、具体的に説明できる。</li> <li>4. 乳児保育における計画の作成について、具体的に理解している。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（2,4,5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス 乳児保育の基本① 子どもと保育士等との関係の重要性	予習	乳児保育のイメージをもちシラバスを確認する			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する 心の土台としての愛着形成の重要性を理解する			
	第2回	内容	乳児保育の基本② 個々の子どもに応じた援助や受容的・応答的関わり	予習	対人関係の発達について調べる			
				復習	個別対応の大切さを理解する			
	第3回	内容	乳児保育の基本③ 子どもの主体性の尊重と自己の育ち	予習	身体機能の発達について調べる			
				復習	主体性を尊重することの意味を理解する			
	第4回	内容	乳児保育の基本④ 子どもの体験と学びの芽生え	予習	乳児保育の現状と課題について調べる			
				復習	乳児保育の基本についてレポートをまとめる			
	第5回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際①【演習】 子どもの一日の生活の流れと保育の環境	予習	保育所、乳児院、家庭の保育の違いについて調べる			
				復習	子どもの24時間と集団保育における一日の流れとの関連性を理解する			
	第6回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際②【演習】 子どもの生活や遊びを支える環境の構成	予習	3歳未満児の発育発達の特徴について調べる			
				復習	演習を通して体験したことを振り返る			
	第7回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際③【演習】 3歳未満児の発育・発達を踏まえた遊び	予習	落ち着いて過ごせる環境とはどのようなものか調べる			
				復習	演習を通して体験したことを振り返る			
	第8回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際④【演習】 3歳未満児の発育・発達を踏まえた生活	予習	基本的な生活習慣とはどのような場合か調べる			
				復習	演習を通して体験したことを振り返る			
	第9回	内容	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びの実際⑤【演習】 子ども同士の関わりと援助	予習	3歳未満児の子ども同士の関わりについて調べる			
				復習	乳児期における子どもの発育・発達を踏まえた生活と遊びについてレポートをまとめる			
	第10回	内容	乳児保育における配慮の実際①【演習】 子どもの心身の健康・安全と情緒の安定を図るための配慮	予習	安全・安心のために必要な配慮について調べる			
				復習	演習を通して体験したことを振り返る			
	第11回	内容	乳児保育における配慮の実際②【演習】 集団での生活における配慮	予習	発達をふまえた援助とはどのようなものか調べる			
				復習	演習を通して体験したことを振り返る			
	第12回	内容	乳児保育における配慮の実際③【演習】 環境の変化や移行に関する配慮	予習	3歳以上児の保育に移行する時期の配慮について調べる			
				復習	乳児保育における配慮についてレポートをまとめる			
	第13回	内容	乳児保育における計画の実際①【演習】 長期的な指導計画と短期的な指導計画	予習	全体的な計画と指導計画の関連性について調べる			
				復習	指導計画作成の意味・必要性を理解する			
	第14回	内容	乳児保育における計画の実際②【演習】 個別的な指導計画と短期的な指導計画	予習	指導計画の評価・反省の方法について調べる			
				復習	乳児保育における計画についてレポートをまとめる			
	第15回	内容	まとめ 乳児保育の総理解	予習	年間配布資料を読み込む			
				復習	乳児保育の意義と重要性を理解する			
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成したレポートについては全体に説明を行う。 演習後の実技を通して修得状況を確認する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（30%）、実技（40%）、授業態度【向上心、意欲的な参加】（30%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名）							

	『乳児保育Ⅰ・Ⅱ』（寺田清美共著、中央法規出版）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『0歳児支援・保育革命2 「ビデオで学ぶ人育ち唄」での愛着形成』（永田陽子、ななみ書房）
注意事項	リアクションペーパーには、毎回学んだことや感想等を書いて提出すること。 配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。

科目名	乳児保育Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まつなが しずこ 松永 静子
ナンバリングコード	CHS12201		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	乳児の発達を理解し、人としてひとり立ちできる過程を実践的に学ぶ 乳児の生活をとらえ、実際に個々に応じた適切な援助やかかわりを実践的に学ぶ 乳児が主体的に遊び、生活する保育、そのための環境の工夫について学ぶ 乳児保育における計画と評価・記録について学ぶ							
到達目標	1. 乳児の育つみちすじをふまえ、個別のかかわりや援助の方法を理解し具体的に説明できる 2. 乳児が主体的に遊び生活するためには、保育でどのようなことを大切にするか実践的に理解している 3. 乳児の育ちを保育者・保護者が連携して支えていくために保育者同士の連携・保育者と保護者の連携について実践的に理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（2・3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	9/18 /19	授業ガイダンス 授業内容の説明 授業の評価について	予習	シラバスを読んでおく			
		復習	今日のまとめをする					
	第2回	9/25 /26	手指の機能の発達と保育	予習	身体の発達について調べてみる			
		復習	今日のまとめをする					
	第3回	10/2 /3	手指の機能の発達と玩具・手作り玩具	予習	<b>手作り玩具の本を図書館で探してみる</b>			
		復習	今日のまとめをする					
	第4回	10/9 /11	言葉の発達と保育	予習	精神的な発達について調べてみる			
		復習	今日のまとめをする					
	第5回	10/1 6/17	<b>乳児の絵本について学ぶ（絵本を読む）</b>	予習	<b>乳児の絵本を図書館で借りておく</b>			
		復習	自分ノートにまとめておく					
	第6回	10/2 3/24	保育の計画と評価（記録）	予習	教育・保育課程論の計画を読んでおく。			
		復習	今日のまとめをする。					
	第7回	10/3 0/31	乳児保育と連携	予習	保育者間の連携について調べておく			
		復習	今日のまとめをする					
	第8回	同日 ②限	<b>乳児保育の実践について学ぶ（外部講師） 合同授業</b>	予習	乳児の発達を復習しておく			
		復習	自分ノートにまとめておく					
第9回	11/6 /7	最低基準・乳児保育室と環境	予習	児童福祉法の最低基準を読んでおく				
	復習	自分ノートにまとめておく						
第10回	11/2 7/28	2歳児の発達と保育・前半のまとめ（復習）	予習	乳児の発達と保育を復習しておく				
	復習	テストに備えて復習する						
第11回	12/4 /5	<b>復習テスト（持ち込み不可）</b>	予習	テストに備えて復習する				
	復習	テストでできなかったところを復習する						
第12回	12/1 1/12	乳児の遊び（手作り玩具制作について）	予習	<b>玩具と遊び（手作り玩具の準備をする）</b>				
	復習	<b>手作り玩具を制作する</b>						
第13回	1/8/ 9	<b>乳児の遊び（感触遊びの体験） 手作り玩具提出</b>	予習	遊びの実践について調べておく				
	復習	自分ノートにまとめる						
第14回	1/15 /16	乳児保育と保護者支援	予習	保護者支援について調べておく				
	復習	自分ノートにまとめる						
第15回	1/22 /23	これからの乳児保育・まとめ	予習	全体の復習				
	復習	なし						
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	毎回リアクションペーパーの学びの振り返りに適時コメントをする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない ※授業内で適時試験をする。 成績評価の方法：筆記試験（ 50 %）、作品提出（ 20 %）ミニレポート・リアクションペーパー（20%）、出欠・授業態度【リアクションペーパーによる】（10 %）							
教科書	初回配布のテキストを使用する							
参考文献	『0 1 2 歳児担任のお仕事まるわかり 新保育指针对応』 学陽書房 2018 汐見稔幸・松永静子編著							
注意事項								

科目名	子どもの健康と安全		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥海 弘子
ナンバリングコード	AHS12201		授業形態	演習	実務経験	有		
授業方式	対面・遠隔・その他（状況に応じて遠隔と併用する）							
授業の内容	保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解する。「保育所における感染症対策ガイドライン」、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドライン」について具体的な対応方法を身につけることを目的とする。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について理解している。</li> <li>2. 子どもの体調不良等に対する適切な対応について、具体的に理解している。</li> <li>3. 関連するガイドライン等を踏まえた保育における具体的な対応方法を身につけている。</li> <li>4. 子どもの健康及び安全の管理に関わる組織的取組や保健活動の計画・評価について理解している。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2.4.5.6 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 保健的観点を踏まえた保育環境と援助	予習	教科書 P104～113 を読む			
				復習	今後の授業の進め方を確認し自分自身の学習計画を立てる			
	第2回	内容	保育における健康及び安全の管理① 衛生管理	予習	教科書 P114～122 を読む			
				復習	保育所における感染症対策ガイドラインを読む			
	第3回	内容	保育における健康及び安全の管理② 事故防止及び安全対策	予習	教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドラインを読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第4回	内容	保育における健康及び安全の管理③ 危機管理と災害の備え	予習	教科書 P133～138 を読む			
				復習	教科書 P138 の演習問題を考えてみよう。			
	第5回	内容	子どもの体調不良などに対する適切な対応	予習	子どもの症状のポイントをノートにまとめる			
				復習	演習を振り返り具体的な対応方法を練習する			
	第6回	内容	傷害の時の対応	予習	教科書 P140～146 を読む			
				復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる			
	第7回	内容	救命処置及び心肺蘇生法	予習	教科書 P150～154 を読む			
				復習	演習を振り返り再度練習をする			
	第8回	内容	感染症対策 ① 集団発生の予防	予習	教科書 P155～を読む			
				復習	授業内容を「保育所における感染症対策ガイドライン」で再確認する			
第9回	内容	感染症対策 ② 感染症発生時と罹患後の対応	予習	教科書 P162～166 を読む				
			復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる				
第10回	内容	保育における保健的対応の基本的な考え方	予習	「保健的対応とは」を考えてみよう				
			復習	保育活動における保健的視点をまとめる				
第11回	内容	3歳未満児への対応 グループディスカッションを行う	予習	「生活習慣とは」を考えてみよう				
			復習	3歳未満児の発育・発達をまとめる				
第12回	内容	個別的な配慮を要する子どもへの対応	予習	教科書 P175～180 を読む				
			復習	「個別的配慮とは」をまとめる				
第13回	内容	障害をもつ子どもへの対応 グループディスカッションを行う	予習	「障害とは」を考えてみよう				
			復習	授業で学んだ内容をノートにまとめる				
第14回	内容	保育における保健活動の計画及び評価	予習	教科書 P191～195 を読む				
			復習	「8月の保健だより」を書いてみよう				
第15回	内容	健康と安全の管理の実施体制	予習	「職員間の連携とは」をまとめる				
			復習	「子どもの健康と安全とは」を考えてみよう				
予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（20%）、授業態度【演習への積極的な取り組み】（30%）							
教科書	『子どもの保健 健康と安全』岩田 力 細井 香 光生館（昨年度 子どもの保健で使用したテキストを使用します）							
参考文献	『保育所保育指針』厚生労働省 フレーベル館 保育所における感染症対策ガイドライン・「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」、「教育・保育施設等における事故防止及び事故発生時の対応ガイドライン」厚生労働省							

注意事項	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 演習時はエプロンを着用し、爪・髪などの身だしなみを整えること。</li><li>2. 演習の準備から片付けまで、積極的に行うこと。</li><li>3. 配布資料はファイリングし、毎回の授業に持参すること。</li></ol>
------	--

科目名	子どもの健康と安全		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 くまさか たかゆき 熊坂 隆行
ナンバリングコード	AHS12201		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・ <u>遠隔</u> ・その他（ ）						
授業の内容	乳幼児期の特徴と観察、身体計測技術、生理機能計測技術の学習や演習を行う。また、日常に必要な看護技術、日常に多い疾病と予防及び対処法、救急時の対応と事故防止、安全管理立案の方法なども学習する。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子どもの健康及び安全に関する保健活動の計画及び評価を理解している。</li> <li>2. 子どもの健康増進及び心身の発育・発達を促す保健活動や環境調整を理解している。</li> <li>3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応を身につけている。</li> <li>4. 救急時の対応や事故防止、安全管理の具体策が立案できる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	身体計測と評価 講義	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	計測方法と評価を理解する		
	第2回	内容	身体計測と評価 演習	予習	計測方法と評価を整理しておく		
				復習	計測方法と評価をまとめる		
	第3回	内容	観察項目「バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸、意識）の測定の仕方と評価	予習	観察項目を理解する		
				復習	観察項目をまとめる		
	第4回	内容	観察項目「バイタルサイン（体温、脈拍、血圧、呼吸、意識）の測定の仕方と評価	予習	観察項目を理解する		
				復習	観察項目をまとめる		
	第5回	内容	日常の保育に必要な技術（抱っこ、おんが、食事、口腔内の清拭）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第6回	内容	日常の保育に必要な技術（排泄の援助とトレーニング）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第7回	内容	日常の保育に必要な技術（沐浴、おむつの当て方、衣服の着脱）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
	第8回	内容	日常の保育に必要な技術（沐浴、おむつの当て方、衣服の着脱）	予習	日常の保育に必要な技術を理解する		
				復習	日常の保育に必要な技術をまとめる		
第9回	内容	あらゆる症状に対する看護（発熱、泣き方、咳等）	予習	あらゆる症状に対する看護を理解する			
			復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる			
第10回	内容	あらゆる症状に対する看護（頭痛、腹痛等）	予習	あらゆる症状に対する看護を理解する			
			復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる			
第11回	内容	あらゆる症状に対する看護（嘔吐、便秘、下痢等）	予習	あらゆる症状に対する看護を理解する			
			復習	あらゆる症状に対する看護をまとめる			
第12回	内容	疾病の対応と予防（感染症、食中毒）	予習	疾病の対応と予防を理解する			
			復習	疾病の対応と予防をまとめる			
第13回	内容	疾病の対応と予防（手洗い）	予習	疾病の対応と予防を理解する			
			復習	疾病の対応と予防をまとめる			
第14回	内容	応急処置（心肺蘇生法等）	予習	応急処置を理解する			
			復習	応急処置をまとめる			
第15回	内容	子どもの保育環境と衛生管理	予習	子どもの保育環境と衛生管理を理解する			
			復習	子どもの保育環境と衛生管理をまとめる			
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。							
課題へのフィードバック	講義・演習後は、講義・演習で配布される資料、参考文献を用いて復習をしてください。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（10%）、実技（50%）、授業態度【主体的参加】（40%）						
教科書	プリントを配布いたします。						
参考文献	適宜、紹介いたします。						
注意事項	自ら学ぶ姿勢をもち、主体的に講義に参加してください。						

科目名	特別支援教育論	単位数	2	授業時間数	30	担当教員	せき ゆいこ 関 維子
ナバリンクコード	SNE12201	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	障害者の権利条約と国内法の整備、教育制度の転換を踏まえて、インクルーシブ教育の理念と特別支援教育について体系的に学ぶ。また、障害のある子どもや特別な支援を要する子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じた指導と支援の実践について学び、自立と社会参加に向けた教育的支援と合理的配慮について理解する。						
到達目標	1. インクルーシブ教育システムの理念と取り組みについて説明できる。 2. 障害や特別なニーズのある子どもの評価の視点と、障害や困難さに応じた指導内容や指導方法について理解している。 3. 「個別的教育指導計画」「個別の支援計画」作成の意義と目的について説明できる。 4. 学校間や保護者、関係機関における連携について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 3・5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 特別支援教育の理念とインクルーシブ教育システム	予習	シラバスを読む。	復習	特別支援教育のキーワードについてまとめる。
	第2回	内容	特殊教育から特別支援教育への転換 特別支援教育の現状と教育制度	予習	特殊教育の特徴について調べる。	復習	就学制度の改正についてまとめる。
	第3回	内容	障害とは：ICFの理解 障害のある子どもの教育を保障する法律・制度	予習	障害とは何かについて自分の考えをまとめる。	復習	ICIDHからICFへの改訂についてまとめる。
	第4回	内容	保育や教育における合理的配慮と基礎的環境整備	予習	障害者差別解消法について調べる。	復習	合理的配慮の具体例についてまとめる。
	第5回	内容	障害の理解と教育① 視覚障害児・聴覚障害児の理解	予習	身の回りにおける合理的配慮について調べる。	復習	視覚障害、聴覚障害への配慮事項をまとめる。
	第6回	内容	障害の理解と教育② 知的障害児・肢体不自由児・病弱児・医療的ケア児の理解	予習	身の回りにおける合理的配慮について調べる。	復習	安全な保育のための配慮についてまとめる。
	第7回	内容	障害の理解と教育③ 発達障害児の理解	予習	身の回りにおける視覚的支援について調べる。	復習	障害特性に合わせた環境構成をまとめる。
	第8回	内容	多文化の子どもの理解 養育環境による配慮の必要な子どもの理解	予習	興味のある国の文化や挨拶について調べる。	復習	模擬事例に関するチェックリストを作成する。
	第9回	内容	保育における遊びと活動、園内環境の工夫 障害特性に合わせた遊びについてグループで発表し合う。	予習	障害特性に配慮した遊びを考える。	復習	行事における工夫と配慮についてまとめる。
	第10回	内容	障害のある子どものアセスメント：意義と目的、方法	予習	発達検査と知能検査について調べる。	復習	模擬事例のアセスメントシートを作成する。
	第11回	内容	クラスの指導日案の作成、個別と集団への配慮 日案についてグループディスカッションをする。	予習	指導日案を作成するための事例を決める。	復習	指導日案の振り返りとまとめをする。
	第12回	内容	「個別の指導計画」と「個別的教育支援計画」 目標についてグループディスカッションをする。	予習	特別支援教育における計画の種類を調べる。	復習	目標設定のポイントについてまとめる。
	第13回	内容	特別支援学校・特別支援学級の特徴 就学相談と就学に向けた移行支援	予習	居住地の特別支援学級の設置状況を調べる。	復習	就学相談の流れについてまとめる。
	第14回	内容	障害のある子どもの保護者に対する理解と支援 保護者の思いについてグループディスカッションをする。	予習	障害児の親に関する記事を読む。	復習	ディスカッションの内容をまとめる。
	第15回	内容	障害児・者の意思決定支援	予習	障害者の権利条約 第12条を読む。	復習	15回の授業を振り返り、レポートにまとめる。
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	レポートや製作物については、コメントを付して返却する。 発表やディスカッションについては、発表後に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：レポート・課題（ 40 %）、作品・発表（ 30 %）、授業態度【 積極的参加 】（ 30 %）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『子どもの育ち合いを支えるインクルーシブ保育 新しい時代の障がい児保育』（小林保子他、大学図書出版）						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業内で随時紹介する。						
注意事項	授業における協働的な学びを通じて、障がいのある子どもの保育・教育・福祉に関する知識と技術を身につけましょう。						

科目名	子育て支援	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	せき けいこ 関 維子
ナバリングコード	SWS12203	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	地域における「子育て支援」の基幹施設としての保育施設（保育所・幼稚園・認定こども園）の機能と役割について理解し、保育者が行う子育て支援のあり方について検討する。併せて、ロールプレイや事例検討を通じて、相談支援における保護者との相互理解や職員間の連携・機関連携の方法について、具体的に理解することを目的とする。						
到達目標	1. 子育て支援に関する子ども及び保護者のニーズと社会資源について理解している。 2. 保育相談支援における保護者との相互理解に向けた基本姿勢を身につけている。 3. 実践事例を通して、保育士が行う子育て支援の内容と方法を具体的に理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3・5 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 保育士が行う子育て支援とは	予習	シラバスを読む。	復習	保育所保育指針の「子育て支援」を読む。
	第2回	内容	子どもと保護者、家庭が抱える子育て支援のニーズ 保育士が行う子育て支援の展開	予習	居住地の子育て支援策について調べる。	復習	保育士が行う子育て支援の特徴をまとめる。
	第3回	内容	保育における相談支援の位置づけと基本理念	予習	居住地の子育て支援拠点について調べる。	復習	保育士が行う相談支援の特徴をまとめる。
	第4回	内容	保育士による相談支援の実際 保護者との相互理解と信頼関係の形成	予習	「ラポール」について調べる。	復習	相談の環境構成を考え、図を作成する。
	第5回	内容	相談支援における記録・評価・計画	予習	保育に関する計画の種類について調べる。	復習	模擬事例に関する支援計画の作成
	第6回	内容	保育における相談支援の事例①発達に気になる子ども	予習	模擬事例に関するジェノグラムを作成する。	復習	模擬事例に関するエコマップを作成する。
	第7回	内容	保育における相談支援の事例②養育環境に気になる子ども	予習	模擬事例に関するジェノグラムを作成する。	復習	模擬事例に関するエコマップを作成する。
	第8回	内容	保育における相談支援の事例③養育態度に気になる保護者	予習	模擬事例に関するジェノグラムを作成する。	復習	模擬事例に関するエコマップを作成する。
	第9回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防① 親プログラムのエッセンスを学ぶ。	予習	どのような親プログラムがあるか調べる。	復習	親プログラムの目的についてまとめる。
	第10回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防② 親プログラムのエッセンスをロールプレイで体験する。	予習	親子それぞれの困難さについてまとめる。	復習	ロールプレイの内容をまとめる。
	第11回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防②リスク評価 リスク評価に関するグループディスカッションを行う。	予習	模擬事例のリスク評価をする。	復習	グループディスカッション内容をまとめる。
	第12回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防③職員間の連携 グループディスカッションにより、事例検討を行う。	予習	模擬事例を読み、ケース会議資料を作成する。	復習	グループディスカッション内容をまとめる。
	第13回	内容	子育て支援を通じた児童虐待の予防③関係機関との連携 グループディスカッションにより、事例検討を行う。	予習	要対協構成機関の種類と役割について調べる。	復習	グループディスカッションの振り返りをする。
	第14回	内容	要保護・要支援児童等の家庭への支援	予習	要保護と要支援の違いについてまとめる。	復習	保育施設の「見守り」についてまとめる。
	第15回	内容	保育専門職の価値と倫理	予習	保育に係る倫理綱領を調べる。	復習	倫理綱領と保育の理念についてまとめる。
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業の中で提出課題の解説及び講評をする。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【 積極的参加 】（30%）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 授業内において随時紹介する。						
注意事項	子どもと家庭の問題は、すぐには解決しないものや正解が分からないものもあります。粘り強く取り組む姿勢を期待しています。						

科目名	子育て支援		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 いまい やすはる 今井 康晴
ナンバリングコード	SWS12203		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・ <u>遠隔</u> ・その他( )						
授業の内容	子育てを取り巻く社会的背景をふまえ、子育て支援を担う保育者として、その歴史や行政などについて理解する。また具体的事例を通して、保育相談支援における保育者の専門性を活かした子育て支援について認識を深める。保育における相談支援、援助技術などをロールプレイ等の演習を通して獲得することを目的とする。						
到達目標	1. 子育てを取り巻く社会的背景、現状と課題について理解している 2. 子育て支援の歴史、行政について理解している 3. 保育相談支援における専門的知識・技術を獲得している						
学位授与方針	幼児教育学科(1・2・3・5) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	子育て支援とは何か	予習	シラバスを読んでおく		
				復習	子育て支援の基本的基盤についてまとめる		
	第2回	内容	子育て支援の歴史①－明治、大正期を中心に－	予習	明治、大正期について調べておく		
				復習	時代背景をまとめる		
	第3回	内容	子育て支援の歴史②－戦後を中心に－	予習	戦後日本の状況について調べておく		
				復習	戦後日本における子育ての在り方をまとめる		
	第4回	内容	子育て支援の歴史③－平成、令和を中心に－	予習	昨今の社会情勢について調べておく		
				復習	現代の子育て状況についてまとめる		
	第5回	内容	子育て支援の基本姿勢	予習	保育所保育指針を読んでおく		
				復習	子育て支援の基本姿勢についてまとめる		
	第6回	内容	子育て支援の基本的技術	予習	子育て支援の基本について調べておく		
				復習	子育て支援の基本的なプロセスについてまとめる		
	第7回	内容	対話をういた子育て支援	予習	対話したかについて調べておく		
				復習	コミュニケーション方法についてまとめる		
	第8回	内容	文書を用いた子育て支援	予習	文語体について調べておく		
				復習	手紙の書き方についてまとめる		
第9回	内容	子育て支援とソーシャルワーク	予習	社会資源について調べておく			
			復習	近隣にある子育て支援事業についてまとめる			
第10回	内容	保育機能を生かした子育て支援	予習	保育行事について調べておく			
			復習	保育行事の在り方についてまとめる			
第11回	内容	保育相談事例①－発達相談－	予習	幼児の発達について調べておく			
			復習	発達支援についてまとめる			
第12回	内容	保育相談事例②－不適切な養育・虐待－	予習	不適切な養育について調べておく			
			復習	不適切な保育の抑止抑制についてまとめる			
第13回	内容	保育相談事例③－生活支援－	予習	生活保護などについて調べておく			
			復習	生活支援への対応をまとめる			
第14回	内容	苦情・クレーム対応について	予習	昨今の保育・育児にかかるニュースを調べておく			
			復習	苦情対応の基本姿勢についてまとめる			
第15回	内容	子育て支援の今後の展望	予習	これまでの授業内容について復習する			
			復習	今後の子育て支援について展望する			
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	講義の始めに予習内容について意見交換する。講義毎の復習レポート(レスポンスシート)を添削する						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(80%)、レポート・課題(20%)、作品・発表( )%、実技( )%、授業態度【 】( )%						
教科書	『書名』(著者名、出版社名) なし						
参考文献	『書名』(著者名、出版社名) 保育所保育指針(2017年改訂)						
注意事項	欠出席については大学の規定に則りますので、欠席の無いようにしてください						

科目名	保育指導方法 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸橋 聡美
ナバリンコード	CHS12202		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	園生活のなかで、子どもの個と集団が共に育ちあうような保育を行っていくことが大切である。育つことが期待される心情、意欲、態度などが保育のねらいであり、それを達成するための保育の方法を学ぶ。授業を通して乳幼児の生活を支え、子どもの発達を保障する保育を展開できる保育者をめざすための指導方法について考え、身につけていく。							
到達目標	1. 保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 2. 子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 3. 遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている							
学位授与方針	幼児教育学科（ 1.2.3.4 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	講義内容を読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	保育指導方法とは	予習	保育のねらいを調べる			
				復習	保育指導方法についてまとめる			
	第3回	内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針	予習	幼稚園教育要領・保育所保育指針を確認する			
				復習	幼稚園教育要領・保育所保育指針のポイントをまとめる			
	第4回	内容	生活する力を育む保育方法	予習	保育所での子どもの生活を調べる			
				復習	生活する力とは何かを考える			
	第5回	内容	保育の環境構成について（事例検討・発表）	予習	保育の環境を調べる			
				復習	子どもに即した保育の環境をまとめる			
	第6回	内容	子どもと集団指導（グループワーク・発表）	予習	集団について調べる			
				復習	個と集団指導の関連性をまとめる			
	第7回	内容	子どもの発達と遊び	予習	子どもの遊びを調べる			
				復習	幼稚園や保育園での子どもの遊びをまとめる			
	第8回	内容	5歳児の保育の実践①教材研究（グループワーク）	予習	教材研究の留意点を調べる			
				復習	教材研究を行う			
第9回	内容	5歳児の保育の実践②作業（グループワーク）	予習	グループ活動の意義を考える				
			復習	グループワークでの意見をまとめる				
第10回	内容	5歳児の保育の実践③模擬保育（発表）	予習	模擬保育を行うための準備をする				
			復習	実践の振り返りをまとめる				
第11回	内容	5歳児の保育の実践④まとめ	予習	今まで学んできたことを振り返る				
			復習	まとめ課題を仕上げる				
第12回	内容	4歳児の保育の実践①保育活動（グループワーク）	予習	4歳児の発達と遊びを調べる				
			復習	保育活動の進行（計画）を仕上げる				
第13回	内容	4歳児の保育の実践②模擬保育・まとめ	予習	模擬保育を行うための準備をする				
			復習	実践の振り返りをまとめる				
第14回	内容	3歳児の保育の実践①保育活動（グループワーク）	予習	3歳児の発達と遊びを調べる				
			復習	保育活動の進行（計画）を仕上げる				
第15回	内容	3歳児の保育の実践②模擬保育・まとめ	予習	模擬保育を行うための準備をする				
			復習	実践の振り返りをまとめる				
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	発表後、講評を行う。課題返却後、説明をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（30%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習』若井編著他 大学図書出版							
参考文献								
注意事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は、実習での実践に向け継続した内容であることに留意し、履修すること							

科目名	保育指導方法Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸橋 聡美
ナンバリングコード	CHS12203		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	園生活のなかで、子どもの個と集団が共に育ちあうような保育を行っていくことが大切である。育つことが期待される心情、意欲、態度などが保育のねらいであり、それを達成するための保育の方法を学ぶ。授業を通して乳幼児の生活を支え、子どもの発達を保障する保育を展開できる保育者をめざすための指導方法について考え、身につけていく。							
到達目標	1. 子どもを捉える視点を身につけ、個と集団が活かされる保育方法を理解している。 2. 遊びを通して子どもの発達が保障されるような実践力・保育指導力を身につけている 3. 保育者としての基本的な姿勢や技能を身につけている。 4. 子どもへの援助の仕方を身につけ、それを表現できる。							
学位授与方針	幼児教育学科（2.3.4.7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	講義内容を読んでおく			
				復習	この科目で習得すべき内容を理解する			
	第2回	内容	子どもを捉える視点	予習	子どもを捉える視点を考える			
				復習	子どもを捉える視点をまとめる			
	第3回	内容	幼稚園の一日から子どもを捉える視点	予習	幼稚園で使われる保育用語を調べる①			
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする			
	第4回	内容	子どもを捉える視点と表現方法（幼稚園）（グループワーク）	予習	幼稚園で使われる保育用語を調べる②			
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする			
	第5回	内容	保育園の一日から子どもを捉える視点	予習	保育所で使われる保育用語を調べる①			
				復習	課題に沿って保育用語を説明できるようにする			
	第6回	内容	子どもを捉える視点と表現方法（保育園）（グループワーク）	予習	保育所で使われる保育用語を調べる②			
				復習	課題に沿って保育用語が説明できるようにする			
	第7回	内容	子どもと保育者との関わりから捉える保育方法（グループワーク）	予習	子どもを取り巻く人間関係を調べる			
				復習	課題を仕上げる			
	第8回	内容	保育の計画について	予習	プリントを行う			
				復習	保育の計画とPDCAサイクルをまとめる			
	第9回	内容	保育の計画と実践①指導案の書き方	予習	課題プリントを読む			
				復習	指導案の書き方を理解する			
	第10回	内容	保育の計画と実践②部分実習指導計画案	予習	教材研究をする			
				復習	指導案作成し、仕上げる			
第11回	内容	保育の計画と実践③模擬保育（グループワーク・発表）	予習	模擬保育の準備・イメージをする				
			復習	模擬保育の評価をする				
第12回	内容	乳児の保育の実践①教材研究	予習	教材研究をする				
			復習	教材研究をする				
第13回	内容	乳児の保育の実践②指導案作成	予習	指導案の書き方について確認する				
			復習	指導案を作成し、仕上げる				
第14回	内容	乳児の保育の実践③模擬保育（グループワーク・発表）	予習	模擬保育の準備・イメージをする				
			復習	模擬保育の評価をする				
第15回	内容	保育の計画と実践、評価（グループワーク）	予習	PDCAサイクルを確認する				
			復習	保育方法を総括する				
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	発表後、講評を行う。課題作成後、解説を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：課題（30%）、作品・発表（20%）、実技（20%）、授業態度【積極的な課題への取り組み】（30%）							
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』 『子どもの育ちを支え安全を守る幼稚園・保育所・施設実習』若井編著他 大学図書出版							
参考文献								
注意事項	「保育指導方法Ⅰ」「保育指導方法Ⅱ」の授業は、実習での実践に向けた継続した内容であることに留意し、履修すること							

科目名	保育指導方法Ⅱ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナバリングコード	CHS12203	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	保育指導方法Ⅰを踏まえ、保育の場での適切な保育実践を展開していくための指導方法について学んでいく。保育環境がさまざまに異なる保育実践を視野に入れ、わが国の保育の歴史、そして現在の保育方法などの理論の部分ははじめに学ぶ。その上で具体的な実践方法について学び、実践の場で実際に行い、自らの実践を振り返るプロセスを体験することを目指していく。						
到達目標	1. 我が国の保育実践のはじまりと現在の保育方法について理解している。 2. 保育の場での適切な保育実践を展開していくための指導方法理解している。 3. 受講者と共に話し合いながら主体的に学ぶ姿勢を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科( 2・3・4・7 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション—授業の計画と内容、準備について—	予習	シラバスを読む		
				復習	授業の振り返りを行う		
	第2回	内容	わが国の保育実践のはじまりと現在の保育方法について	予習	授業内容についての調べ学習をする		
				復習	配布資料を読み返し復習をする		
	第3回	内容	発達に即した保育について学ぶ①グループワーク —0歳児の事例・エピソード検討—	予習	教科書 p 6、p 16 を読む		
				復習	教科書を読み返し復習をする		
	第4回	内容	発達に即した保育について学ぶ②グループワーク —1歳児の事例・エピソード検討—	予習	教科書 p 26 を読む		
				復習	教科書を読み返し復習をする		
	第5回	内容	発達に即した保育について学ぶ③グループワーク —2歳児の事例・エピソード検討—	予習	教科書 p 36 を読む		
				復習	教科書を読み返し復習をする		
	第6回	内容	発達に即した保育について学ぶ④グループワーク —3歳児の事例・エピソード検討—	予習	教科書 p 46 を読む		
				復習	教科書を読み返し復習をする		
	第7回	内容	発達に即した保育について学ぶ⑤グループワーク —4歳児の事例・エピソード検討—	予習	教科書 p 58 を読む		
				復習	教科書を読み返し復習をする		
	第8回	内容	発達に即した保育について学ぶ⑥グループワーク —5歳児の事例・エピソード検討—	予習	教科書 p 68、P78 を読む		
				復習	教科書を読み返し復習をする		
第9回	内容	多様な保育思想、保育方法について学ぶ① —フレーベル、モンテッソーリ、シュタイナー—	予習	授業内容についての調べ学習をする			
			復習	配布資料を読み返し復習をする			
第10回	内容	多様な保育思想、保育方法について学ぶ② —レジオエミリアー—	予習	授業内容についての調べ学習をする			
			復習	配布資料を読み返し復習をする			
第11回	内容	児童文化財についての理解を深める① —おすすめ絵本を読み合う—	予習	自分のおすすめの絵本を選んでくる			
			復習	自分の選んだ絵本の概要についてまとめる			
第12回	内容	児童文化財についての理解を深める② —ブックトーク。ブックリストの作成をしよう—	予習	自分の選んだ絵本が保育の場でどのように活用できるかを考えてくる			
			復習	他の受講者が選んだ絵本の概要を1冊まとめる			
第13回	内容	事例検討グループワーク・討議 ～怪我・かみつき・ひっかき～	予習	授業内容についての調べ学習をする			
			復習	配布資料を読み返し復習をする			
第14回	内容	事例検討グループワーク・討議 ～保護者への対応・支援～	予習	授業内容についての調べ学習をする			
			復習	配布資料を読み返し復習をする			
第15回	内容	伝える力～連絡帳・お便り～実践ワーク	予習	授業内容についての調べ学習をする			
			復習	配布資料を読み返し復習をする			
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	レポートを返却し、評価についてのフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法： レポート・課題(60%)、作品・発表(20%)、授業態度【積極的参加】(20%)						
教科書	『0歳～6歳の子どもの発達と保育の本』(河原紀子、学研プラス)						
参考文献	『ちょっとした言葉かけで変わる保護者支援の新ルール』(大豆田啓友、メイト)						
注意事項	オンライン授業を5回ほど予定しているため、第1回授業にて予定をお伝えします						

科目名	健康(指導法)	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とりうみ ひろこ 鳥海 弘子
ナンバリングコード	CHS12204	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔 その他( )						
授業の内容	幼稚園教育要領の領域「健康」のねらいと内容および内容の取扱いを理解する。 幼児の発達や学びの過程を理解し、具体的な関わる指導場を想定した保育を演習等で身につける。						
到達目標	1. 幼児の心情、認識、思考および動き等を視野に入れた保育構成の重要性を理解している。 2. 指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 3. 模擬保育を通して、保育の改善する視点を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科( 2.4.5 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 領域「健康」のねらいと内容	予習	シラバスを読む	復習	自分自身の学習計画を立てる
	第2回	内容	基本的生活習慣を支える援助	予習	テキストP42～60を読む	復習	基本的生活習慣をまとめる
	第3回	内容	子どもの発達と事故	予習	テキストP61～77を読む	復習	今までの子どもの事故を調べよう
	第4回	内容	安全な園生活と保育者の役割 安全教育・安全管理とは	予習	テキストP186～201を読む	復習	安全な教育をまとめる
	第5回	内容	交通安全や避難訓練の指導と援助 グループ討議	予習	交通安全や避難訓練について調べる	復習	次回の模擬保育の準備をする
	第6回	内容	安全教育及び管理に関する指導・模擬保育	予習	指導計画を立てる(提出課題)	復習	模擬保育を振り返る(提出)
	第7回	内容	子どもの健康と遊び	予習	テキストP86～148を読む	復習	健康と遊びの関係性を考える
	第8回	内容	健康な心と体を育む保育の構想① 健康指導とは グループ討議	予習	グループで話し合いたいテーマを考える	復習	グループ討議の内容を振り返る
	第9回	内容	具体的な保育場を想定した健康指導計画	予習	どのような保育場面で計画を立てるか考える	復習	指導計画を完成させ、次回の授業で提出する
	第10回	内容	健康な心と体を育む保育の構想② 運動遊びの指導について グループ討議	予習	運動遊びを考える	復習	グループ討議の内容を振り返る
	第11回	内容	具体的な保育場を想定した運動遊びの指導計画	予習	どのような保育場面で計画を立てるか考える	復習	指導計画を完成させ、次回の授業で提出する
	第12回	内容	具体的な保育場を想定した運動遊びの模擬保育①	予習	模擬保育の準備をする	復習	模擬保育を振り返る(提出)
	第13回	内容	具体的な保育場を想定した運動遊びの模擬保育②	予習	模擬保育の準備をする	復習	模擬保育を振り返る(提出)
	第14回	内容	健康な心と体を育む保育の構想③ 評価と改善	予習	模擬保育を振り返り、改善点を考える	復習	評価と改善はどうして必要なかを考える
	第15回	内容	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿とは	予習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を調べる	復習	小学校接続と「健康」を考える
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内にて質問を受ける時間を設け、フィードバックできる環境を整える						
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験レポート・課題(40%)、発表(40%)、授業態度【積極的な取り組み】(20%)						
教科書	『新訂 事例で学ぶ保育内容 領域 健康』 無藤 隆・倉持清美 萌文書林						
参考文献	『幼稚園教育要領解説』文部科学省 フレーベル館 『幼児期の終わりまで育ってほしい姿(10の姿)と重要事項(プラス5)を見える化 10の姿プラス5・実践解説書』無藤隆 ひかりのくに						
注意事項	グループのメンバーと討議や模擬保育に向けての計画や準備を行います。積極的に取り組むようにしましょう。 提出課題等は必ず提出期限を守りましょう。						

科目名	健康(指導法)	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	きたほら せいいち 北洞 誠一	
ナンバリングコード	CHS12204	授業形態	演習	実務経験				
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	健康の授業で勉強した幼稚園教育要領と保育所保育指針の理解を基礎として、教科書やいろいろな資料、ビデオを参照しながら、健康の具体的な内容を考察し、現場での指導計画を作成し、現場での対処法を勉強する。							
到達目標	1. 現場で求められる健康のねらいと内容を理解し、実践の考え方と方法を身につけている 2. 子どもの健康だけではなく、自分の健康について関心を持ち、自身を健康に保つ方法を理解している 3. 健康のメカニズムを理解している							
学位授与方針	幼児教育学科( 4,5,6 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション。保育ビデオ鑑賞。	予習	シラバスを見て全体の流れを把握する。	復習	ビデオを観た感想を提出する。	
	第2回	内容	健康な心と体の具体的な姿	予習	健康な心と体のイメージをまとめる。	復習	健康な心と体を文章にまとめる。	
	第3回	内容	運動遊びの指導計画を理解する	予習	運動遊びの指導計画について教科書を読む。	復習	授業の指導計画の例について考えたことをまとめる。	
	第4回	内容	指導計画を作成する	予習	指定された運動遊びについて調べる。	復習	指定された指導計画を作成し提出する。	
	第5回	内容	ビデオ鑑賞：胎内記憶	予習	胎内記憶について調べる。	復習	ビデオの感想を提出する。	
	第6回	内容	食育について①	予習	食育について教科書を読む。	復習	食育について理解したことをノートにまとめる。	
	第7回	内容	食育について②	予習	ヒトの食について調べる。	復習	授業で理解したことをノートにまとめる。	
	第8回	内容	アレルギーについて	予習	アレルギーについて調べる。	復習	授業内容をノートにまとめる。	
	第9回	内容	子ども達の現状の理解：スマホの落とし穴	予習	スマホの子ども達への影響を調べる。	復習	授業内容をノートにまとめレポートを提出する。	
	第10回	内容	ビデオ鑑賞：ベイビーズ	予習	世界の子育てについて調べる。	復習	ビデオを観て世界の子育ての違いのレポートを提出する。	
	第11回	内容	現状の子どもの理解①：前頭葉の4つの型	予習	前頭葉について調べる。	復習	授業内容をノートにまとめる。	
	第12回	内容	現状の子どもの理解②：「すぐ疲れたという」の中身	予習	「すぐ疲れたという」の中身を考える。	復習	授業内容をノートにまとめる。	
	第13回	内容	安全指導について	予習	リスクとハザードについて調べる。	復習	授業内容をノートにまとめる。	
	第14回	内容	生体リズムについて	予習	体内リズムについて調べる。	復習	授業内容をノートにまとめる。	
	第15回	内容	まとめ：テスト形式の確認作業	予習	1～14回の授業内容を復習する。	復習	理解していなかった部分を復習する。	
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
	課題へのフィードバック	授業内の小テストを行うことによって、コメントをフィードバックし、内容の理解度を確認する。						
	成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(50%)、レポート・課題(30%)、作品・発表(0%)、実技(0%)、授業態度【積極性】(20%)						
	教科書	『乳幼児の健康』(茗井香保里・宮下恭子・平山素子編、大学図書出版)						
	参考文献							
	注意事項	自主的にインターネットを有効に活用すること。レポートはワードで提出すること。						

科目名	人間関係（指導法）	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸橋 聡美
ナバリングコード	CHS12205	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	幼稚園教育要領・保育所保育指針に示された領域「人間関係」のねらい及び内容について、子どもの姿と保育実践とを関連づけて理解を深める。具体的な保育の構想と実践方法を身につける。						
到達目標	1. 幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、領域「人間関係」のねらい及び内容を理解している。 2. 保育所保育指針に示された領域「人間関係」の1歳以上3歳未満児に関わるねらい及び内容を理解している。 3. 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「人間関係」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する方法を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（2.3. 4.5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	領域「人間関係」①ねらい、内容について	予習	講義内容を読んでおく	復習	領域「人間関係」のねらい・内容を確認しておく
	第2回	内容	領域「人間関係」②全体像を理解する（ICT活用）	予習	1歳以上3歳未満児の領域「人間関係」を読む	復習	小テストの内容（範囲）を理解する
	第3回	内容	自立心を育む援助（ICT活用）	予習	子どもの人間関係の発達を確認する	復習	事例を通して援助方法を考える
	第4回	内容	遊びのなかで育つ人間関係①仲間関係の形成（ICT活用）	予習	子どもの発達を調べておく	復習	事例を理解し、まとめる
	第5回	内容	遊びのなかで育つ人間関係②自己抑制	予習	3・4歳児の発達を調べておく	復習	事例①を理解し、まとめる
	第6回	内容	遊びのなかで育つ人間関係③自己主張、思いやり	予習	5・6歳児の発達を調べておく	復習	事例②③を理解し、まとめる
	第7回	内容	遊びのなかで育つ人間関係④いざこざ場面における援助（幼児）（ICT活用）	予習	事例プリントを読む	復習	保育者の子どもへの関わりを確認する
	第8回	内容	ルールのある遊びと援助（グループワーク）	予習	子どもの遊びを調べておく	復習	ルールの形成と遊びについてまとめる
	第9回	内容	個と集団の相即的發展①活動内容・指導案作成	予習	PDCAサイクルを理解する	復習	教材研究をする①
	第10回	内容	個と集団の相即的發展②指導案作成	予習	教材研究をする②	復習	指導案を作成する
	第11回	内容	個と集団の相即的發展③模擬保育（グループワーク・発表）	予習	指導案を仕上げる	復習	模擬保育の反省、振り返りをする
	第12回	内容	個と集団の相即的發展④振り返り（ディスカッション）	予習	PDCAサイクルを再確認する	復習	グループの意見をまとめる
	第13回	内容	個と集団の相即的發展⑤改善・まとめ	予習	他の視点より考える	復習	個と集団の相即的發展を理解し、まとめる
	第14回	内容	幼保・小の連携活動と小学校以降の生活や学習で活かされる力	予習	小学校学習指導要領を読む	復習	幼保小の連携をまとめる
	第15回	内容	領域「人間関係」をめぐる現代的諸問題・まとめ（ICT活用）	予習	「人間関係」の課題を考える	復習	「人間関係」をめぐる問題をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題に対して、添削し解説を行う。また、発表に対しては、講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（30%）、課題（30%）、発表（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（20%）						
教科書	『幼稚園教育要領』（平成29年3月告示 文部科学省）『保育所保育指針』（平成29年3月告示 厚生労働省）						
参考文献	『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（平成29年3月告示 内閣府、文部科学省、厚生労働省） 授業中に適宜資料を配布する						
注意事項							

科目名	人間関係（指導法）	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いまい ゆみ 今井 由美
ナンバリングコード	CHS12205	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	幼稚園教育要領、保育所保育指針に示された領域「人間関係」のねらい及び内容を学び、乳幼児期における人間関係を育てていくなかでの指導や援助のあり方を考えていく。事例検討や指導案作成を通して、具体的な保育の構想や方法を身につけることにより保育実践力の向上を目指す。						
到達目標	1. 領域「人間関係」を理解している 2. 乳幼児期の人間関係の育ちのための役割や援助方法を身につけている 3. 領域「人間関係」に関わる指導場면을想定した保育を構想する力を身につけている						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3,4 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション / 人間関係を指導するとは	予習	人間関係を指導することのイメージをしておく		
				復習	人間関係の指導について理解する		
	第2回	内容	乳児保育に関わるねらい及び内容	予習	ねらい及び内容（乳児）を読んでおく		
				復習	乳幼児期の人間関係を理解する		
	第3回	内容	領域「人間関係」のねらい及び内容（1,2歳児）	予習	領域「人間関係」（1,2歳児）を読んでおく		
				復習	2歳児までの人間関係を整理する		
	第4回	内容	領域「人間関係」のねらい及び内容（3歳児以上）	予習	領域「人間関係」（3歳児以上）を読んでおく		
				復習	領域「人間関係」を理解する		
	第5回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割① 仲間関係	予習	乳幼児の仲間関係をイメージしておく		
				復習	人間関係の広まり方を整理する		
	第6回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割② 自己主張・思いやり	予習	乳幼児の自己主張場面をイメージする		
				復習	指導や援助のあり方を整理する		
	第7回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割③ 自己抑制・葛藤（グループワーク）	予習	自己抑制場面での援助方法を調べておく		
				復習	ディスカッションの内容を整理する		
	第8回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割④ ルール・平等	予習	保育における平等を考えておく		
				復習	保育におけるルールや平等を整理する		
第9回	内容	遊びのなかで育つ人間関係と保育者の役割⑤ いざこざ	予習	いざこざが起きた時の援助方法を調べる			
			復習	人間関係を育むための援助方法を理解する			
第10回	内容	個と集団の環境構成① 指導案検討（乳児）	予習	事前に配布する指導案を読んでおく			
			復習	乳児の指導案作成について整理する			
第11回	内容	個と集団の環境構成② 指導案検討（1,2歳児）	予習	事前に配布する指導案を読んでおく			
			復習	2歳児までの指導案の違いを理解する			
第12回	内容	個と集団の環境構成③ 指導案検討（3歳児以上）	予習	事前に配布する指導案を読んでおく			
			復習	指導案の作成方法を整理する			
第13回	内容	個と集団の環境構成④ 指導案作成（グループワーク）	予習	指導案作成の下準備をする			
			復習	ディスカッションの内容を整理する			
第14回	内容	領域「人間関係」からみた小学校・地域との連携	予習	小学校・地域との関わり方を調べておく			
			復習	連携の必要性・重要性を理解する			
第15回	内容	領域「人間関係」における今日的課題	予習	これまでを振り返り自身の学びを確認しておく			
			復習	領域「人間関係」の理解を深める			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題・小テストは、添削して返却し、解説を行う。 グループワークは、発表後に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 60 %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（ 40 %）						
教科書	なし						
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省） 『幼稚園教育要領』（文部科学省） 『人間関係』（高杉自子・岸井慶子、東京書籍） 『事例で学ぶ保育内容 領域人間関係』（無藤隆・岩立京子、萌文書林）						
注意事項							

科目名	環境（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 なかむら よういち 中村 陽一
ナンバリングコード	CHS12206		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	「環境」で学んだ、幼児と環境とかかわりに関する学びと、幼稚園教育実習（前期）の体験の上に、実例に基づき、領域「環境」の「目的」「ねらい」「内容」の理解を深める。さらに、領域「環境」にかかわる具体的な指導場面を想定した指導方法を身につける。課題に応じて、グループを作り討論や発表を行う。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「幼稚園教育要領」に示された「環境を通した保育」の意義と、保育者に求められる援助について、具体的な指導法を示すことができる。</li> <li>2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、具体例を挙げて自分の考えを述べることができる。</li> <li>3. 領域「環境」に関わる幼児の自然体験や社会体験と、小学校教育の生活科への連続性について理解している。</li> <li>4. 子どもの自然体験を深めるための、子どもの発達を見据えた長期的計画の重要性を理解しており、大まかな計画を示すことができる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（1.2.3.4.5）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり。「環境」の復習。	予習	幼稚園教育要領 保育内容「環境」を読む。	復習	幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を確認。
	第2回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室）。グループ討論と発表。	予習	教科書9pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第3回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（園舎）。グループ討論と発表。	予習	教科書25pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第4回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。グループ討論と発表。	予習	教科書41pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第5回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境グループ討論と発表。	予習	教科書59pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第6回	内容	子どもの生活と自然環境②－季節感と取り入れた保育グループ討論と発表。	予習	教科書59pの演習課題3	復習	グループ討論のまとめ。
	第7回	内容	子どもの生活と自然環境③－飼育動物の特徴と配慮グループ討論と発表。	予習	実習で体験した動物飼育についてまとめる。	復習	グループ討論のまとめ。
	第8回	内容	子どもの生活と自然環境④－栽培植物の特徴と配慮グループ討論と発表。	予習	教科書41pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第9回	内容	子どもの生活と社会①－施設との関わりグループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題3	復習	グループ討論のまとめ。
	第10回	内容	子どもの生活と社会環境②－伝統的な行事との関わりグループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第11回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数グループ討論と発表。	予習	実習で体験した子どもの数体験について。	復習	グループ討論のまとめ。
	第12回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と文字グループ討論と発表。	予習	教科書91pの演習課題1	復習	グループ討論のまとめ。
	第13回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながりグループ討論と発表。	予習	教科書75pの演習課題3	復習	グループ討論のまとめ。
	第14回	内容	小学校教育への連続性－「環境」と「生活科」「総合学習」グループ討論と発表。	予習	教科書109pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ。グループ討論と発表	予習	教科書109pの演習課題2	復習	グループ討論のまとめ。
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題に対するフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（20%）						
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）						
参考文献	なし						
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。						

科目名	環境（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	きたざわ あきこ 北澤 明子
ナバリングコード	CHS12206		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	本授業では、現代の子どもを取り巻く環境や子どもと環境とのかかわりなどの専門的事項を踏まえ、領域「環境」のねらい及び内容について理解を深めていく。また、領域「環境」のねらい、内容について具体的な保育場面での事例等をみながら、実際の展開について学ぶとともに、グループワークや討議などを行いながら、実際の保育の環境とのかかわりその意義について理解を深めていく。							
到達目標	<p>1. 領域「環境」のねらい及び内容並びに全体構造を理解し、幼児が経験し身につけていく内容と指導上の留意点を理解している。</p> <p>2. 領域「環境」に関わる周囲の様々な環境に好奇心や探求心をもって関わり、それらを生活に取り入れていこうとする経験と小学校以降の教科等とのつながりを理解している。</p> <p>3. 幼児の発達や学びの過程を理解し、領域「環境」に関わる具体的な指導場面を想定した保育を構想する力が身につけている。</p>							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・5・6 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	保育における「環境」の捉え方について	予習	教科書 part1 第1章を読む			
				復習	保育における環境の捉え方についてまとめる			
	第2回	内容	環境を通した保育・保育の過程について	予習	教科書 part1 第3章を読む			
				復習	環境通した保育についてまとめる			
	第3回	内容	子どもの発達と「環境」 ー乳幼児期にふさわしい環境と環境構成の実際ー	予習	子どもの発達についてのおおまかにまとめる			
				復習	発達と環境の関係について資料等を読み返す			
	第4回	内容	領域「環境」のねらいと内容	予習	教科書第2章を読む			
				復習	ねらいと内容及び評価について資料や教科書を読み返す			
	第5回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開① ー身近なもののかかわりー	予習	教科書 part 2 第1章を読む			
				復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る			
	第6回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開② ー自然とのかかわりー	予習	教科書 part 2 第2章を読む			
				復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る			
	第7回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開③ ー数量・図形等とのかかわりー	予習	教科書 part 2 第3章を読む			
				復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る			
	第8回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開④ ー標識・文字等とのかかわりー	予習	教科書 part 2 第4章を読む			
				復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る			
第9回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開⑤ ー身近な情報とのかかわりー	予習	教科書 part 2 第5章を読む				
			復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る				
第10回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開⑤ ー施設・地域とのかかわりー	予習	教科書 part 2 第5章を読む				
			復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る				
第11回	内容	領域「環境」のねらい、内容の実際の展開⑤ ー文化とのかかわりー	予習	教科書 part 2 第5章を読む				
			復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る				
第12回	内容	身近な素材や自然物を用いた保育の実際 ー葉っぱのワークー	予習	身近な自然物として葉っぱを収集し、収集した葉っぱの特徴を観察してくる				
			復習	実践した遊びの一つを選び指導案を立てる				
第13回	内容	身近なもの（玩具）を用いた保育の実際（グループワーク・発表）ーおもちゃが引き出す子どもの遊びー	予習	自分のおすすめのおもちゃについてまとめる				
			復習	模擬保育のなかで遊んだおもちゃについて特徴をまとめる				
第14回	内容	身近な素材や自然物、ものを用いた保育の振り返り・討議 ー実践の省察、改善ー	予習	自然物や玩具での実践の省察を記入する				
			復習	評価についての配布資料を読み返す				
第15回	内容	環境に関わる現代的課題・小学校との接続について	予習	教科書 part3を読む				
			復習	教科書を読み返し、授業の内容を振り返る				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	レポートや課題の返却・オンラインでの振りかえりのフィードバック							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（ 60 %）、作品・発表（ 20 %）、実技（ 20 %）、授業態度【 積極的参加 】（ %）							
教科書	『保育内容・領域「環境」指導法』（仮題）、小櫃智子・小山朝子、相楽真樹子・善本真弓・北澤明子・福田篤子、わかば社							
参考文献	『演習 保育内容「環境」』岡健、建帛社							
注意事項	5回ほど、オンライン授業予定のため、第1回授業にて予定を配布する							

科目名	言葉（指導法）	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永修
カンパリングコード	CHS12207	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	領域「言葉」のねらいと内容についての理解を深め、言葉の発達と特徴を事例や映像を通して理解する。その上で、乳幼児の発達過程に合わせた保育を構築できるように児童文化財などの保育教材などへの理解を深め保育への取り入れ方などを理解するために、演じ合いやグループディスカッションを行う。						
到達目標	1. 領域「言葉」のねらい及び内容を理解している 2. 児童文化財などの保育教材を理解し、保育内容に活用することができる 3. 子どものことばの育ちを支える指導計画が作成できる						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	領域「言葉」のねらい及び内容について 子どもの言葉の発達過程について（1）	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第2回	内容	子どもの言葉の発達過程について（2）	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	配付資料をもとに解説された内容を振り返り子どものことばの発達に対する理解を深める		
	第3回	内容	映像視聴による保育現場での子どもの成長・発達の理解	予習	前回の授業内容を確認する		
				復習	映像から理解できた子どもの成長・発達について自分なりのまとめを行う		
	第4回	内容	子どものことばを豊かにする教材について 絵本・紙芝居などの児童文化財の保育の中での活かし方	予習	児童文化財について調べておく		
				復習	絵本・紙芝居などの特徴や保育への活かし方を自分なりにまとめる		
	第5回	内容	素話の魅力について考える	予習	素話について調べておく		
				復習	素話を保育にどのように取り入れるかについて自分なりにまとめる		
	第6回	内容	言葉遊びについて（1） 様々な言葉遊びについて	予習	言葉遊びについて調べておく		
				復習	言葉遊びを保育にどのように取り入れるかについて自分なりにまとめる		
	第7回	内容	素話を体験的に学ぶ（保育実践） 発表及グループディスカッション	予習	発表する素話の練習をする		
				復習	実践した素話へのアドバイスをもとに改めて自分の披露した素話の練習を行う		
	第8回	内容	言葉遊びについて（2） ことば遊びを用いた保育についてグループディスカッションを行い指導案を作成	予習	様々な言葉遊びの保育への取り入れ方について自分なりにまとめる		
復習				作成した指導案の再確認を行う			
第9回	内容	紙芝居を作る（ストーリーを考え、絵コンテを作成する）	予習	自作の紙芝居のイメージを考えておく			
			復習	決定したストーリー及び絵コンテが有効かについて検証する			
第10回	内容	紙芝居を作る（紙芝居を作成する）	予習	絵コンテをもとに作成する絵のイメージを膨らませておく			
			復習	完成した絵で話の内容が伝わるか検証する			
第11回	内容	文字が広げる世界（1） 話しことばから書き言葉へ	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
			復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
第12回	内容	文字が広げる世界（2） 文字を自分のものとし文字を使う	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく			
			復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る			
第13回	内容	作成した紙芝居の読み聞かせを行う	予習	完成した紙芝居の読み聞かせの練習をしておく			
			復習	他の人の読み聞かせを踏まえ、自分の読み聞かせの反省と課題について考える			
第14回	内容	教材研究のあり方について及び指導案の作成	予習	作成した紙芝居の保育への活かし方について考えておく			
			復習	作成した指導案について再検討を行う			
第15回	内容	まとめ：子どものことばの育ちを支え育む保育に向けての総まとめ	予習	当該授業の振り返りをしておく			
			復習	当該授業で学んだ事をどのように保育に活かしていくかについての総まとめを行う			
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。							
課題へのフィードバック	提出物を評価し、返却時に解説を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、実技（ %）、授業態度【参加度合】（30%）						
教科書	『事例で学ぶ保育内容』 無藤隆監修 萌文書林 <b>※1年次に購入済</b>						
参考文献	『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』 フレーバル館						
注意事項							

科目名	言葉（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員 はしもと ちづる 橋本 千鶴
ナバリングコード	CHS12207		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	乳幼児の言葉の発達過程や、「幼稚園教育要領」などに記されている領域「言葉」のねらいや内容、言葉の育ちにかかわる問題等について理解し、将来の保育者として、適切なかかわり、援助、環境構成ができるようにする。また、言葉を豊かに育てる児童文化財について実践的に学び、保育者として必要な知識や技能の習得を図る。						
到達目標	1. 乳幼児期の特性を踏まえ、環境を通して行われる言葉の指導の内容的、方法的特質を理解している。 2. 「幼稚園教育要領」などに記されている領域「言葉」のねらいや内容、保育実践での展開方法を理解している。 3. 乳幼児期の言葉の発達や、言葉の育ちにかかわる諸問題について説明できる。 4. 言葉を育てる児童文化財について積極的に学び、将来の保育者として必要な知識や技能を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2, 3, 7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション「言葉（指導法）」について・素話	予習	シラバスを読んで、授業内容を把握しておく。		
				復習	自分が発表する素話を決めて、発表に向けて練習を進める。		
	第2回	内容	子どもの言葉の発達①（0～1歳期）（グループディスカッション）	予習	身近にいる乳幼児の言葉に耳を傾け、記録する習慣をつける。		
				復習	0～1歳期の言葉の発達について、参考文献、プリント等を読み返し、理解を深める。		
	第3回	内容	子どもの言葉の発達②（2～5歳期）（グループディスカッション）	予習	実習で出会った子どもたちの言葉を振り返り、記録しておく。		
				復習	2～5歳期の言葉の発達について、参考文献、プリント等を読み返し、理解を深める。		
	第4回	内容	「幼稚園教育要領」等の領域「言葉」のねらいや内容について・文字との出会い（ペアワーク、ロールプレイ）	予習	「幼稚園教育要領解説」等の領域「言葉」を読んで、重要な箇所に線を引いておく。		
				復習	「幼稚園教育要領解説」等の領域「言葉」を読み深め、分かりやすくノートにまとめておく。		
	第5回	内容	模擬保育① 素話の発表（グループワーク、発表、相互評価）・簡単な絵本作りの確認	予習	素話を覚えて、3分以内で発表できるように準備しておく。		
				復習	素話の発表を参考によりよい語り方を取り入れ、さらに素話の練習を継続しておく。		
	第6回	内容	絵本の歴史・昔話（グループワーク）	予習	絵本を数冊読んでおく。		
				復習	自分が知らなかった昔話を読み進める。		
	第7回	内容	絵本の読み聞かせ（グループワーク、相互評価）	予習	読みたい絵本を2冊決め、読み聞かせの練習をして持参する。		
				復習	授業で学んだことを参考に、絵本の読み聞かせの留意事項をまとめておく。		
	第8回	内容	模擬保育② 絵本の読み聞かせ（グループワーク、発表、相互評価）	予習	絵本の読み聞かせ、模擬保育の練習をしておく。		
				復習	絵本の読み聞かせの模擬保育について振り返り、課題や改善点を確かめておく。		
	第9回	内容	紙芝居の歴史・演じ方（グループワーク）	予習	紙芝居について調べ、演じ方のイメージをもって臨む。		
				復習	授業で学んだことを参考に、紙芝居の演じ方の留意事項をまとめておく。		
	第10回	内容	模擬保育③ 紙芝居の演じ方（グループワーク、発表、相互評価）	予習	紙芝居の演じ方、模擬保育の練習をしておく。		
				復習	紙芝居の演じ方の模擬保育について振り返り、課題や改善点をノートにまとめておく。		
	第11回	内容	模擬保育④ 子どもと楽しむ言葉遊びの実践（指導案作成）（グループワーク）	予習	子どもと楽しむ言葉遊びについて、どのような活動ができるか考えてノートにまとめておく。		
				復習	子どもと楽しむ言葉遊びの模擬保育について振り返り、課題を確かめ、よりよい指導案に練り上げておく。		
	第12回	内容	模擬保育⑤ 人形劇の演じ方（グループワーク、発表、相互評価）	予習	さまざまな人形劇について調べ、それぞれの特色をノートにまとめておく。		
				復習	人形劇の演じ方について振り返り、その特色や留意点をノートにまとめておく。		
	第13回	内容	制作絵本の合評会（相互評価）	予習	簡単な絵本を1冊作って持参する。		
				復習	相互評価を参考に、自分の絵本作りを振り返る。		
	第14回	内容	言葉の育ちにかかわる問題（グループディスカッション）	予習	言葉の育ちにかかわる問題にはどのようなものがあるか調べ、ノートにまとめておく。		
				復習	本時で学んだことをもとに、さらに乳幼児の言葉に関心をもって聞くように心がけ、必要に応じて記録する習慣をつける。		
	第15回	内容	オノマトペ・授業全体のまとめ	予習	これまでの授業内容を踏まえ、子どもの言葉の発達と支援について自分なりにまとめておく。「幼稚園教育要領解説」等の領域「言葉」、配布資料などを読み返し、これまでの授業内容を復習しておく。		
				復習	「幼稚園教育要領解説」等の領域「言葉」を読み深め、今後の実習で学びたい目標、ねらいの形でまとめる。		

	予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。
課題へのフィードバック	各授業回で提出されたリアクションペーパー（実技の振り返りを含む）や指導案については、コメントをつけて評価し、次の授業回で講評、解説を行って返却する。作品については、学生同士による合評会で相互評価をした上で回収し、次の授業回で講評、紹介を行って返却する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（40%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（30%）
教科書	なし（授業時にプリントを配布する）
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『幼稚園教育要領解説』（文部科学省、フレーベル館）『保育所保育指針解説』（厚生労働省、フレーベル館）『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』（内閣府・文部科学省・厚生労働省、フレーベル館）
注意事項	保育者になる自覚をもちながら、積極的に講義、実技に取り組んでほしい。

科目名	造形表現（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おぐち すぐる 小口 偉
ナバリングコード	CHS12208		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	乳幼児期の造形的表現方法は、発達段階を踏まえ、適切な素材提供をすることが、活動に広がりとお興行きをもたらす。子どもの活動をもとにした活動体験をすることから、「素材、道具について」の造形的側面と、「乳幼児の表現活動について」の心身の発達における側面から、造形を通じた表現について理解、関心を深める。							
到達目標	1. 子どもたちの表現活動の意義を理解している。 2. 年齢やクラス編成ごとに変化する活動内容に応じた環境づくりができる。 3. 子どもたちと活動が楽しめる技術、視点、方法を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3,7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	素材体験1 紙について 質感で遊ぶ	予習	参考書等の紙の活動に関することを読み込む			
				復習	身近な紙の触り心地を確かめておく			
	第2回	内容	素材体験2 グループワーク 紙について2 空間を使って遊ぶ	予習	遊ぶことは何かノートに書き出し持参する。			
				復習	体験を通して空間を使って遊ぶことは何か自分なりに考え、まとめる。			
	第3回	内容	素材体験3 クレヨン、パスについて理解する	予習	参考書等のクレヨン、パスに関する項目を読み込む。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第4回	内容	素材体験4 グループワーク 粘土に触る	予習	参考書等の粘土に関する記述について読む。			
				復習	体験内容をノートにまとめる。			
	第5回	内容	素材体験5 グループワーク シート系素材を理解する	予習	参考書等のハサミに関する記述について、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第6回	内容	道具体験1 道具を理解する ハサミについて	予習	参考書等のステープラーに関する記述について、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第7回	内容	道具体験2 道具を理解する ステープラーについて	予習	参考書等の接着に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
	第8回	内容	応用1 構成遊びについて1 色画用紙を使った構成遊び制作を体験する	予習	構成遊びについて調べる。			
				復習	体験内容を記録ノートにまとめる。			
第9回	内容	応用2 構成遊びについて2 与えられたきっかけから画面構成をする1	予習	構成遊びについて調べる。				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
第10回	内容	応用3 構成遊びについて3 与えられたきっかけから画面構成をする2 発表	予習	構成遊びについて調べ、まとめたノートを持参する。				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
第11回	内容	応用4 様々な技法遊び デカルコマニー/スクラッチの制作体験をする	予習	技法遊びについて5つの種類とその方法を調べ、まとめたものを持参する。				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
第12回	内容	立体の扱いについて「紙立体」 合同制作と共同制作を体験する	予習	参考書の紙立体に関する記述について、ノートにまとめ持参する。				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
第13回	内容	生活素材を使った制作体験をする	予習	造形素材として使用できる可能性のあるものを集めておく。				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
第14回	内容	工作体験をする「動きを遊ぶ紙工作」	予習	参考書の紙工作に関する記述について読み込み、ノートにまとめ持参する				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
第15回	内容	振り返り ドキュメンテーション作成をする	予習	ドキュメンテーションについて調べ、まとめたノートを持参する。(60分)				
			復習	体験内容を記録ノートにまとめる。				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	各提出課題に対し採点をする。返却の際に保育現場での実践方法や、注意点を伝える。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（%）、レポート・課題（20%）、作品・発表（40%）、実技（%）、授業態度【積極的な取り組み】（40%）							
教科書	『保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領 幼稚園教育要領』平成29年3月31日告示							
参考文献	『楽しい造形表現』（子ども造形表現研究会、圭文社）『保育園・幼稚園の造形あそび』（鮫島良一、馬場千晶、成美堂出版）							
注意事項	出来映えは重視しません。誠実に、積極的に取り組むこと。 ※ 作品制作に関わる道具、材料費は個人負担です。(1600円)。							

科目名	音楽・身体表現（指導法）		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しおぎき はせがわ 塩崎・長谷川
ナバリングコード	CHS12209		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	保育内容の各領域を総合的にとらえ表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学ぶ。体の動き、音・リズムを工夫し、豊かな感性を育み、自らのイメージを広げて表現する楽しさについて理解し、具体的な指導場面を想定して保育を構想する方法を身に付ける。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児の心情、認識、思考、動きなどを視野にいれた保育の構想の重要性を理解している。</li> <li>2. 領域「表現」及び音楽・身体表現の特性と幼児の体験との関連を考慮した教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができている。</li> <li>3. 指導案の構造を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができている。</li> <li>4. 模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身に付けている。</li> <li>5. 音楽・身体表現の特性に応じた保育実践の動向を知り、保育構想の向上に取り組むことができている。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科（3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	本授業の概要			予習	領域「表現」について教育要領等を読んでくる	
			音楽・身体表現のねらい、および内容について乳幼児期の発達を踏まえて理解する			復習	本時の内容をノートにまとめる	
	第2回	内容	指導案作成の構造を理解し、身体表現活動におけるねらいについて考え、具体的な題材について検討し、指導実践法について研究する。			予習	1年後期の授業のプリントを読んでくる	
						復習	本時の内容をノートにまとめ、興味のある題材を一つに絞る	
	第3回	内容	豊かな感性を育み、イメージが広がり、工夫した動きを引き出す言葉かけ・問いかけについて理解し、具体的な保育を想定した指導場面での活用について考える。			予習	指導案のねらいを考え、ノートに記入しておく	
						復習	具体的な題材を決め、指導案を完成させてくる	
	第4回	内容	3歳未満児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。			予習	指導ノートの記入の仕方例を読み込んでくる	
						復習	指導案に沿った指導ノートを記入する	
	第5回	内容	3歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。			予習	指導のリハーサルを行う	
						復習	指導実践後の振り返りをノートにまとめる	
	第6回	内容	4歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。			予習	身体表現遊びのウォーミングアップについて考えてくる	
						復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる	
	第7回	内容	5歳児の身体表現の指導案を作成し、模擬保育の実践を行い、振り返りのグループディスカッションを通して保育の改善点について考える。			予習	5歳児の題材について考えノートにまとめる	
						復習	本時の指導実践の振り返りをノートにまとめる	
	第8回	内容	身体表現遊びの意義についてグループディスカッションし、指導法において重要な点についてまとめる			予習	身体表現遊びの意義について自分なりの考えをノートにまとめる	
			復習	指導法についてノートにまとめる				
第9回	内容	音楽教育の理論および保育における音楽指導の基礎を学び、その意義について理解を深める。			予習	1年後期の授業のプリントを読んでくる		
					復習	本時の内容をノートにまとめ、保育における音楽表現の重要性について記述する		
第10回	内容	音楽指導におけるねらいの観点を理解し、達成するための指導方法を学ぶ。			予習	音楽指導の意義をふまえ、どのようなねらいが設定できるか調べる		
					復習	本時の内容をノートにまとめ、音楽活動を想定してねらいを立ててみる		
第11回	内容	音楽教育の意義と音楽指導のねらいをふまえ、幼児期の発達段階をふまえた指導を計画し、指導案を作成する。			予習	幼児期の発達段階について理解し、各年齢に即した題材を考える		
					復習	指導案を完成させ、シミュレーションをする		
第12回	内容	指導案をもとに3歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。			予習	3歳児の音楽表現について理解しておく		
					復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、3歳児の音楽指導案をノートにまとめる		
第13回	内容	指導案をもとに4歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。			予習	4歳児の音楽表現について理解しておく		
					復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、4歳児の音楽指導案をノートにまとめる		
第14回	内容	指導案をもとに5歳児の音楽指導に関する模擬保育を行い、振り返りを通して改善点を検討する。			予習	5歳児の音楽表現について理解しておく		
					復習	音楽指導振り返りと改善点をふまえ、5歳児の音楽指導案をノートにまとめる		
第15回	内容	歌唱による鑑賞活動の模擬保育を行い、子どもに音楽表現			予習	子どもの各年齢に適した歌唱による鑑賞教材を検討し、提示の仕方考える		

		を伝える技術について検討する。	復習	模擬保育をふまえ、子どもへの歌唱表現の提示法の要点をノートにまとめる
	予習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 45 分を目安とする。			
課題へのフィードバック	発表において、発表後に講評を行う。 レポート、ノートについては集めた際にコメントを書き返却する			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： レポート・課題（30%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度【積極的な参加、出席状況】（20%）			
教科書	後日連絡する。 適宜授業内にてプリントを配布する。			
参考文献	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版 『いっしょにあそぼうわらべうた 3、4 歳児クラス編』『いっしょにあそぼうわらべうた 5 歳児クラス編』コダーイ芸術教育研究所編、明治図書			
注意事項	音楽表現の授業では、動きやすさや作業しやすさを考慮した服装で出席すること。 身体表現の授業では、原則学校指定のジャージを着用して出席すること。 クラスを半分にして実施。塩崎：15 回、長谷川：15 回			

科目名	幼児の運動遊び		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しおざき 塩崎 みづほ
ナンバリングコード	CHS12210		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	子どもの生活は遊びが中心にあるといわれるくらい遊びによって成長し、生きていくのに必要なことを真似し学んでいきます。本講義では、子どもの発育発達の特徴を理解し、それに即した運動遊びについて学び、さらには指導法について実践的に学びます。そこでは、グループで決められた題材を用いて、模擬授業も行います							
到達目標	1. 子どもの発育発達に応じた運動遊びの意義とその内容を理解している。 2. 運動遊びの指導に必要な、ねらい、指導案の記入法、指導法について理解している。 3. 幼児教育者として自ら動ける身体づくりと、体力の維持・向上に努める力を習得している。							
学位授与方針	幼児教育学科( 3、4、7 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	講義：履修上の注意事項 乳幼児期の運動遊びの意義	予習	シラバスを見て質問等を考える			
				復習	運動遊びの意義について自分の考えをまとめる			
	第2回	内容	鬼ごっこについて考えよう	予習	鬼ごっこの種類とルールをあげる			
				復習	鬼ごっこの意義とルールをまとめる			
	第3回	内容	米袋を使った遊び	予習	本時に使用する米袋を作成する			
				復習	米袋の遊びを、年齢ごとにまとめる			
	第4回	内容	フープを使った遊び	予習	フープの特性について教科書を読み考えてくる			
				復習	本時の活動を年齢ごとにまとめる			
	第5回	内容	縄を使った遊び	予習	縄の特性について考えてくる			
				復習	本時の活動を年齢ごとにノートにまとめる			
	第6回	内容	マットを使った遊び	予習	マットを使った遊びについて考えてくる			
				復習	本時の活動を年齢ごとにノートにまとめる			
	第7回	内容	身近なものを使った遊び	予習	身近なものを集める			
				復習	自分で考えて身近な遊びについてまとめる			
	第8回	内容	ボールを使った遊び	予習	ボールの特性について読み深める			
復習				ボール遊びの意義についてまとめる				
第9回	内容	サーキット遊び	予習	サーキット遊びの意義について考えてくる				
			復習	自分なりのサーキットを作成する				
第10回	内容	講義：運動遊びの指導について、指導案の書き方	予習	指示された箇所の教科書を読んでくる				
			復習	指導案の書き方を復習する				
第11回	内容	運動遊びの指導案作成と指導言語を考える	予習	指導案を書き上げ、指導言語について考えてくる				
			復習	指導練習を行う				
第12回	内容	模擬保育の実践とグループディスカッション① マットを使った遊び	予習	マット遊びの特性と指導法について復習する				
			復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
第13回	内容	模擬保育の実践とグループディスカッション② ボールを使った遊び	予習	ボール遊びの特性と指導法について復習する				
			復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
第14回	内容	模擬保育の実践とグループディスカッション③ 用具を使わない遊びや身近なものを使った遊び	予習	用具を使わない遊びの特性と指導法について復習する				
			復習	本時の授業内容、講評をノートに記入する				
第15回	内容	まとめ 幼児の運動遊びの指導における特徴と意義について考える グループディスカッション	予習	指導を行ってきたレポート課題を仕上げる				
			復習	本時のグループ討議を踏まえ考察をノートにまとめる				
予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	ノートの提出を行い、コメントを記入して返却する。 レポートはコメントして返却。発表は講評をする。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/( O )しない 成績評価の方法： 課題(20%)、作品(10%)、発表(10%) 実技(30%)、授業態度【積極的参加、服装、出席状況】(30%)							
教科書	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身に付ける理論と実例』宮下恭子編著、大学図書出版							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)							
注意事項	実技の際は、必ず指定のジャージを着用すること。長い髪の毛は結ぶ。 実技のため、受講者数は50名までとします。							

科目名	幼児の音楽遊び		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	はせがわ きょうこ 長谷川 恭子
ナンバリングコード	CHS12212		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	領域「表現」に関する、音楽表現の意義を理解し、乳幼児の感性や創造性を豊かにする音や音楽の表現について実践的に学ぶ。具体的には、音や音楽を伴う活動や遊びを体験したり、器楽や歌唱の演奏を楽しんだりすることで、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。							
到達目標	1. 聴く・動く・演奏するなどの様々な表現を体験することを通して、イメージを豊かにすることができる。 2. 生活の中の音環境を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. 音を感じたり音楽を表現したりするにあたり、積極的に活動に取り組み、企画に参加することができる。 4. 他者の表現や意見を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 3、7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション：音や音楽を楽しむことを考える	予習	領域「表現」を読んでくる			
				復習	本時の内容についてノートにまとめる			
	第2回	内容	音探しの旅1：身体で音を感じる	予習	身体から出る音について考えてくる			
				復習	本時の内容についてノートにまとめる			
	第3回	内容	音探しの旅2：身の回りの音を感じる～音の地図作り～ （グループワーク）	予習	グループワークの内容を確認し、活動の趣旨を理解してくる			
				復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる			
	第4回	内容	音探しの旅3：旅のまとめ 活動を振り返り、表現の可能性について検討する（グループワーク）	予習	グループワークの内容を確認し、必要なものを用意してくる			
				復習	活動を振り返り、活動の意義をノートにまとめる			
	第5回	内容	音楽を使った遊び1：楽器を使って音を楽しむ 楽器から出る音に注目し、響きを楽しむ	予習	一般的に保育で使われている楽器の奏法を確認しておく			
				復習	活動を振り返り、保育への応用をノートにまとめる			
	第6回	内容	音楽を使った遊び2：歌を伴う遊びを経験する	予習	歌の練習をする			
				復習	活動の振り返りをノートにまとめ、授業で行った遊びを覚える			
	第7回	内容	わらべうたによる保育の実際1：乳児におけるわらべうたの保育の実際（外部講師）	予習	これまでに学習した乳児のわらべうたについて復習しておく			
				復習	授業を振り返り、学んだことをノートにまとめる			
	第8回	内容	わらべうたによる保育の実際2：幼児におけるわらべうたの保育の実際（外部講師）	予習	これまでに学習した幼児のわらべうたについて復習しておく			
復習				授業を振り返り、学んだことをノートにまとめる				
第9回	内容	音楽表現の基礎1：発表の企画（グループワーク）	予習	どのような発表ができるか考える				
			復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる				
第10回	内容	音楽表現の基礎2：発表の練習（グループワーク）	予習	発表の内容を練習する				
			復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる				
第11回	内容	音楽表現の基礎3：発表のリハーサル（グループワーク）	予習	前時の反省をふまえ、発表の内容を練習する				
			復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる				
第12回	内容	音楽表現の応用1：発表内容の再検討（グループワーク）	予習	前時の反省をふまえ、改善点を考える				
			復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる				
第13回	内容	音楽表現の応用2：発表会	予習	発表に向けて練習する				
			復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる				
第14回	内容	音楽表現の応用3：発表をふまえての振り返り（討議）	予習	発表に関わる回のノートを確認し、グループ討議の準備をする				
			復習	活動を振り返り、感じたことをノートにまとめる				
第15回	内容	まとめ：授業をふまえて、音を楽しむとはどういうことかを考える（討議）	予習	これまでの活動についてノートを確認し、音楽表現の楽しさについてまとめておく				
			復習	保育における音楽表現の意義について考え、ノートにまとめる				
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	ノートや課題の提出時は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。							

成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（20%）、作品・発表（30%）、実技（20%）、授業態度【積極的な参加】（30%）
教科書	授業時にプリントを配布する。ファイリングできるようにしておくこと。
参考文献	
注意事項	出欠も評価の対象とする。動きやすさや作業やすさを考慮した服装で出席すること。40名程度の定員とする。

科目名	健康		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	ひらやま・とりうみ・きたほら 平山・鳥海・北洞
ナンバリングコード	CHS12102		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	○対面○・遠隔・その他( )							
授業の内容	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。具体的には、幼児の心身の発達、基本的な生活習慣、安全な生活、運動発達等において、幼児期には大人と異なった特徴や意義があることを踏まえ、その相違が指導方法にも関連していることについて理解する。							
到達目標	1. 幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解し、説明できる 2. 幼児期の体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解し、説明できる 3. 安全な生活と怪我の特徴や病気の予防を理解し、説明できる 4. 幼児期の運動発達の特徴と意義を理解し、説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科( 2,4 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	健康の定義と乳幼児期の健康の意義について	予習	シラバスを読んでおく			
				復習	乳幼児期の健康の意義についてまとめる			
	第2回	内容	乳幼児期の健康課題について	予習	乳幼児期にはどんな健康課題があるか考える			
				復習	乳幼児期の健康課題とサポート方法を考える			
	第3回	内容	乳幼児期の運動発達について	予習	乳幼児期の運動発達について調べる			
				復習	乳幼児期の運動発達についてまとめる			
	第4回	内容	乳幼児の体の発達の特徴について	予習	乳幼児の体はどのように発達するのか考える			
				復習	乳幼児の身体的発達の特徴についてまとめる			
	第5回	内容	基本的な生活習慣の形成とその意義について	予習	基本的な生活習慣とは何か調べる			
				復習	基本的な生活習慣形成の意義をまとめる			
	第6回	内容	基本的な生活習慣の形成のための援助について	予習	基本的な生活習慣の形成に必要な事項を考える			
				復習	基本的な生活習慣形成の援助方法をまとめる			
	第7回	内容	乳幼児期の危険と安全教育について	予習	乳幼児期にはどのような危険があるか考える			
				復習	乳幼児への安全教育の方法をまとめる			
	第8回	内容	健康管理や安全への意識や態度を育むことの重要性について	予習	乳幼児の健康管理とはどのようなことか考える			
復習				健康や安全の意識や態度を育む方法をまとめる				
第9回	内容	乳幼児期の怪我や事故の特徴	予習	乳幼児期の怪我や事故について調べる				
			復習	乳幼児の怪我や事故を防ぐ方法をまとめる				
第10回	内容	乳幼児期の怪我の応急処置の基礎	予習	乳幼児が怪我を負う状況について考える				
			復習	乳幼児の怪我の応急処置についてまとめる				
第11回	内容	乳幼児期の病気の予防	予習	乳幼児が罹りやすい病気について調べる				
			復習	乳幼児期の病気予防の方法をまとめる				
第12回	内容	乳幼児期の運動発達の特徴 - 運動コントロール能力と「多様な動き」について	予習	第3回授業内容のまとめに目を通しておく				
			復習	「多様な動き」を実践してみる				
第13回	内容	多様な運動経験の意義 - 多様な動きを獲得することの意義について	予習	「多様な動き」を実践した気付きをまとめる				
			復習	多様な動きと多様な運動経験についてまとめる				
第14回	内容	日常生活における運動 - 生活の中で行う動きの経験と配慮について	予習	生活の中で行う動きと運動を探す				
			復習	生活の中で多様な動きを実践する方法を考える				
第15回	内容	遊びとしての運動 - 遊びの中で行う運動の在り方と配慮について	予習	遊びの中で運動を行う際の配慮を考える				
			復習	運動を取り入れた遊びの保育活動をまとめる				
予習に要する学習時間：概ね15分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。								
課題へのフィードバック	作成した課題に対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法： レポート・課題(60%)、授業態度(40%)							
教科書	『乳幼児の健康-教育・保育に向けた計画と実践』(若井 他 編、大学図書出版)							
参考文献	保育所保育指針解説、幼稚園教育要領解説							
注意事項	授業の中で随時ディスカッションを行うので、積極的に参加して欲しい。							

科目名	人間関係	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	まるはし さとみ 丸橋 聡美
ナバリングコード	CHS12103	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	幼児の人間関係の育ちに影響を与えている社会的要因について理解し、幼児教育で保障すべき教育内容に関する知識を身につける。領域「人間関係」の指導基盤となる基礎理論として関係発達論的視点について学び、他者との関係や集団との関係のなかで人と関わる力が育つことを理解する。						
到達目標	1. 幼児を取り巻く人間関係をめぐる現代的課題を理解している。 2. 園生活における幼児期の人間関係の発達について理解している。 3. 遊びのなかで育つ人との関わりについて、乳幼児との関係、保育者との関係、集団のなかでの育ちを観点として説明できる。 4. 自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え、それぞれの育ちについて子どもの発達の姿と合わせて説明できる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2.3. 4.5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション、現代社会と幼児の人間関係①幼児期の生活経験と現代の幼児の生活（グループワーク）	予習	講義内容を読んでおく	復習	この科目で習得すべき内容を理解する
	第2回	内容	現代社会と子どもの人間関係②ディスカッション（ICTの活用）	予習	子どもの定義を考える	復習	人間関係の広義を理解する
	第3回	内容	3歳未満児の人間関係の発達①0歳児	予習	保育の基本とは何かを確認しておく	復習	0歳児の関わりを発達をまとめる
	第4回	内容	3歳未満児の人間関係の発達②1・2歳児	予習	1.2歳児の発達を調べておく	復習	1.2歳児の人との関わりを発達をまとめる 小テストの内容を確認する①
	第5回	内容	3歳以上児の人間関係の発達③3歳児	予習	3歳児の発達を調べておく	復習	小テストの内容を復習する①
	第6回	内容	3歳以上児の人間関係の発達④4・5歳児	予習	4.5歳児の発達を調べておく	復習	小テストの内容を確認する②
	第7回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係①乳幼児と遊び	予習	子どもの遊びを調べる	復習	小テストの内容を復習する②
	第8回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係②個の育ち	予習	事例プリントを読む	復習	小テストの内容を確認する③
	第9回	内容	遊びのなかで育つ幼児の人間関係③集団での育ち	予習	集団の形成について調べる	復習	小テストの内容を復習する③
	第10回	内容	乳幼児期の自立心の育ち（ICT活用）	予習	子どもの心の発達を調べる	復習	小テストの内容を確認する④
	第11回	内容	幼児期の共同性の育ち	予習	プリントを読んでおく	復習	小テストの内容を復習する④
	第12回	内容	幼児期の道徳性・規範意識の芽生えと育ち	予習	自身の事例をあげる	復習	小テストの内容を確認する⑤
	第13回	内容	乳幼児を取り巻く人間関係（家庭・地域など）の関わりと育ち	予習	身の周り（地域・家族）の事例を考える	復習	小テストの内容を復習する⑤
	第14回	内容	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	予習	幼稚園教育要領第1章第2を読んでおく	復習	幼児期までに育って欲しい10の姿をまとめる
	第15回	内容	幼児期に育みたい資質・能力と人間関係（ICT活用）	予習	実習を通して子どもの人間関係と育みたい資質を考える	復習	幼児期に育みたい資質・能力をまとめる
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題や小テスト採点后返却し、説明を行う						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート（40%）、課題（20%）、小テスト（20%）、授業態度【積極的な取り組み】（20%）						
教科書	『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』・解説書、プリント資料、						
参考文献	必要に応じてビデオ視聴を取り入れ、資料・プリントを配布しながら進める						
注意事項							

科目名	人間関係	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いまい ゆみ 今井 由美
ナンバリングコード	CHS12103	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	現代社会における諸問題を踏まえ、乳幼児の人間関係の育ちの基本や目的について理解し、乳幼児教育で保障すべき内容に関する知識を身につける。領域「人間関係」の指導基盤となるよう関係論的発達過程についても学び、他者や集団のなかで人と関わる力が育つことを理解する。						
到達目標	1. 乳幼児期の人間関係における現代的課題を理解している 2. 乳幼児の人間関係の発達について理解している 3. 乳幼児の人間関係を育むための知識を身につけている						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2,3,5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション / 人間関係を学ぶとは	予習	自身の人間関係を振り返っておく		
				復習	人間関係を学ぶ目的を理解する		
	第2回	内容	現代社会における保育と人間関係	予習	現代社会における諸問題を調べておく		
				復習	現代社会における人間関係の課題を整理する		
	第3回	内容	人間関係からみる乳幼児教育の基本	予習	乳幼児の生活をイメージしておく		
				復習	保育における人間関係の広がりを理解する		
	第4回	内容	人間関係からみる発達過程① 0歳児	予習	0歳児の発達を調べておく		
				復習	乳児の発達過程を整理する		
	第5回	内容	人間関係からみる発達過程② 1,2歳児	予習	1,2歳児の発達を調べておく		
				復習	2歳児までの発達過程を整理する		
	第6回	内容	人間関係からみる発達過程③ 3歳児	予習	3歳児の発達を調べておく		
				復習	3歳児までの発達過程を整理する		
	第7回	内容	人間関係からみる発達過程④ 4,5歳児	予習	4,5歳児の発達を調べておく		
				復習	乳幼児の発達過程を整理し理解する		
	第8回	内容	遊びのなかでの人との関わり① 遊びと育ち	予習	乳幼児の遊びをイメージしておく		
				復習	遊びながら学ぶことを理解する		
第9回	内容	遊びのなかでの人との関わり② 遊びと人間関係	予習	遊びから生まれる人間関係を考えておく			
			復習	遊びながら人と関わる力が育つことを理解する			
第10回	内容	遊びのなかでの人との関わり③ 遊びの広がり	予習	人間関係が広がるような遊びをイメージする			
			復習	遊びながら人間関係が広がることを理解する			
第11回	内容	人との関わりの基盤① 自立心の育ち	予習	保育で見られる自立場面をイメージしておく			
			復習	人間関係の中で自立心が育つことを理解する			
第12回	内容	人との関わりの基盤② 協同性の育ち（グループワーク）	予習	保育で見られる協同場面をイメージしておく			
			復習	ディスカッションの内容を整理する			
第13回	内容	人との関わりの基盤③ 道徳性・規範意識	予習	幼児にとっての道徳性・規範意識を調べておく			
			復習	人間関係を通しての育ちを理解する			
第14回	内容	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿	予習	幼児期の終わりまでに育って欲しい姿を調べる			
			復習	指針や要領を踏まえながら整理する			
第15回	内容	幼児期に育みたい資質・能力	予習	幼児期に育みたい資質・能力を調べておく			
			復習	小学校との連携を考えながら理解する			
	予習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	課題・小テストは、添削して返却し、解説を行う。 グループワークは、発表後に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ 60 %）、レポート・課題（ %）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【積極的参加】（ 40 %）						
教科書	なし						
参考文献	『保育所保育指針』（厚生労働省） 『幼稚園教育要領』（文部科学省） 『人間関係』（高杉自子・岸井慶子、東京書籍） 『事例で学ぶ保育内容 領域人間関係』（無藤隆・岩立京子、萌文書林）						
注意事項							

科目名	環境	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	なかむら よういち 中村 陽一
ナンバリングコード	CHS12104	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	子どもは家庭・保育所・幼稚園・地域社会などの「環境」の中で生活し、その体験を通じて、人格形成の基礎となる豊かな心情、思考力や想像力、意欲や態度などが培われる。本講義は、幼稚園教育要領・保育所保育指針の領域「環境」の内容を理解し、保育者に求められる援助について理解することを目的とする。						
到達目標	1. 子どもの成長にとって望ましい自然体験と保育者の適切な援助方法について理解している。 2. 「環境を通した保育」の意義と、保育者の援助について、自分の考えを述べることができる。 3. 自然と生命を尊重する態度を身につけ、子どもに伝えることができる。 4. 保育内容「環境」と小学校「生活科」の連続性について理解している。						
学位授与方針	幼児教育学科（1.2.3.4）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	保育と環境－「環境を通して行う保育」の特質、子どもの発達と環境との関わり	予習	幼稚園教育要領 第1章を読む。	復習	「環境を通して行う保育」についての課題
	第2回	内容	領域「環境」のねらいと内容－「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園 教育・保育要領」。	予習	教科書 1～8pを読む。	復習	領域「環境」の概要についての課題
	第3回	内容	子どもの生活と物的環境①－保育の環境構成（保育室、園舎）。	予習	教科書 11～15pを読む。	復習	類幾室の環境に関する課題
	第4回	内容	子どもの生活と物的環境②－保育の環境構成（園庭）。	予習	教科書 27～31pを読む。	復習	園庭の環境に関する課題
	第5回	内容	子どもの生活と自然環境①－子どもを取り巻く自然環境	予習	教科書 45～47pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 195pを読む。
	第6回	内容	子どもの生活と自然環境②－自然環境と保育実践（自然への気づき・季節感）	予習	教科書 47～54pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 197pを読む。
	第7回	内容	子どもの生活と自然環境③－動物との関わり、飼育動物の特徵と配慮	予習	教科書 54～57pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 66.67pを読む。
	第8回	内容	子どもの生活と自然環境④－植物の関わり、栽培植物の特徵と配慮、実践例	予習	教科書 57～58pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 199pを読む。
	第9回	内容	子どもの生活と社会①－社会環境と地域性、情報化と保育	予習	教科書 61～67pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 205pを読む。
	第10回	内容	子どもの生活と社会環境②－情報と生活、伝統的な行事との関わり、地域や施設との関わり	予習	教科書 67～75pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 200pを読む。
	第11回	内容	数量や文字に関する取り扱い①－子どもの生活と数、子どもの生活と文字	予習	教科書 77～84pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 203pを読む。
	第12回	内容	数量や文字に関する取り扱い②－小学校教育とのつながり	予習	教科書 84～91pを読む。	復習	幼稚園教育要領解説 212pを読む。
	第13回	内容	小学校教育への連続性－保育内容「環境」と小学校教育の「生活科」「総合学習」への連続性	予習	教科書 93～99pを読む。	復習	小学校「生活科」についての課題
	第14回	内容	保育内容「環境」に関わる教育思想の変遷－ペスタロッチ・フレーベル・オウエン・倉橋惣三など。	予習	配布された資料を読む	復習	環境を通した保育思想についてまとめる。
	第15回	内容	グループ討論と発表。 授業の振り返りとまとめ	予習	教科書 123～126pを読む。	復習	「環境を通して行う保育」についてレポートを作成する。
	予習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね30分を目安とする。						
課題へのフィードバック	Google Classroomを用いて課題に対するフィードバックを行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度（ %）						
教科書	『保育所保育指針/幼保連携型認定こども園教育・保育要領/幼稚園教育要領』（文部科学省・厚生労働省・内閣府、チャイルド本社） 『コンパス 保育内容 環境』（高橋貴志・目良秋子編、建帛社）						
参考文献	なし						
注意事項	保育者としての自覚と問題意識を持って授業に臨むこと。						

科目名	言葉	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	いざわ えいしゅう 伊澤 永修
ナバリンクコード	CHS12105	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	人が社会の中で生活するために必要な言葉の意義や機能、乳幼児の言葉の発達過程、言葉の楽しさや美しさなどを映像や事例を通して具体的に学ぶ。また、保育の中で効果的に活用できるように、児童文化財についての教材研究を行い、また、実際に演じることで保育への活かし方について体験的に学ぶ。						
到達目標	1. 「言葉」の意義や機能について理解している 2. 乳幼児の言葉の発達過程について理解している 3. 領域「言葉」のねらいや内容に基づく保育内容について理解している						
学位授与方針	幼児教育学科( 2, 3, 7 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	シラバスを読んでおく		
			自己紹介文章作成及び実施を通して効率的な言葉による伝達方法について理解する。	復習	この科目で習得できる内容について理解する		
	第2回	内容	幼児教育の根幹及び育みたい資質・能力、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第3回	内容	幼児教育における非認知能力について及び用語と教育の一体性についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第4回	内容	幼児期にふさわしい保育とは何か、子どもの発達を促すとは何かについてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第5回	内容	遊びを通しての総合的な指導と一人一人の発達に合わせた指導についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第6回	内容	保育者の様々な役割についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第7回	内容	乳幼児期の発達とことばについて理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第8回	内容	乳幼児期のことばの発達と大人の存在と言葉の発達を捉える視点についてグループディスカッション及び解説から理解する	予習	テキストの該当箇所を読み込んでおく		
				復習	授業の内容を踏まえ、テキストの該当箇所を読み理解の定着を図る		
	第9回	内容	乳幼児期のことばの発達を映像視聴から理解を深める(前半)	予習	これまで学んだ乳幼児のことばの発達について振り返りしておく		
				復習	映像から理解できたことをこれまで学習してきたことと照らし合わせて理解を深める		
	第10回	内容	乳幼児期のことばの発達を映像視聴から理解を深める(後半)	予習	これまで学んだ乳幼児のことばの発達について振り返りしておく		
				復習	映像から理解できたことをこれまで学習してきたことと照らし合わせて理解を深める		
	第11回	内容	言葉の働きや役割及び言葉と文化の関係性を理解する	予習	言葉と文化について下調べをしておく		
				復習	体験学習を通して理解した言葉の働きや役割についてまとめる		
	第12回	内容	言葉を使つてのグループワークを通して言葉の機能について体感的に学ぶことで理解する	予習	前週で学んだ言葉の働きや役割について振り返りしておく		
				復習	グループワークで体験したことを振りかえりながら改めて言葉の機能について理解を深める		
	第13回	内容	日本語の特徴や魅力についての理解する	予習	日本語の特徴や魅力について自分なりにまとめる		
				復習	魅力的な言葉を用いた声かけについてまとめる		
	第14回	内容	コミュニケーションについて理解するとともに様々なコミュニケーション方法についての理解を深める	予習	コミュニケーションとは何か及びコミュニケーションの方法についてまとめる		
				復習	コミュニケーションについて学んだ事を実生活の中で確認を行う		
	第15回	内容	様々な児童文化財について理解を深める	予習	児童文化財についての下調べをしておく		
				復習	それぞれの児童文化財の特徴や魅力をまとめる		
予習に要する学習時間：概ね25分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね20分を目安とする。							

課題へのフィードバック	提出物に関する評価を行い、返却時に解説する。
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（70%）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【参加度合】（30%）
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 『事例で学ぶ保育内容』 無藤隆監修 萌文書林
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』フレーベル館
注意事項	

科目名	造形表現		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	とよいずみ なおみ 豊 泉 尚美
ナンバリングコード	CHS12106		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼児の造形表現について、その発達のと重要性を理解し、幼児の感性や創造性を豊かに育むための表現遊びや環境構成などの専門的な知識・技能を学ぶ。また、幼児の表現を支えるために、自身の感性も大切にしながら表現力を身につける。							
到達目標	1. 幼児期に特徴的な造形表現について理解し、それを受け止めて共感したうえで、造形活動の指導計画が立案できる。 2. 様々な表現の基礎的知識・技能を生かし、幼児の造形表現活動に展開できる。 3. 自然と生命を大切にすることをもち、それを子どもに伝えることができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3・6・7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	授業のねらい・進め方について・幼児の造形表現とは	予習	こども園教育・保育要領等の領域「表現」の箇所を読み込んでおく。			
				復習	幼児の造形表現について、自身の考えをまとめる。			
	第2回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う (1)自然の色・自然の美しさ（ICT活用）	予習	自然の中にある色の多様性を調べておく。			
				復習	植物染料を幼児の造形活動で活用する方法をまとめる。			
	第3回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う (2)自然素材でスタンプング	予習	幼児が楽しめる造形活動について考えておく。			
				復習	幼児が造形活動を行う準備と方法をまとめる。			
	第4回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う (3)自然素材でフロッタージュ・コラージュ	予習	現代美術の描画技法について調べる。			
				復習	自然素材を使って行う造形活動の方法をまとめる。			
	第5回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う (4)自然素材を使って描く（ICT活用）	予習	自然の中にある音や風を感じ、その感想（イメージ）をメモしておく。			
				復習	幼児の描画活動についてまとめる。			
	第6回	内容	造形表現活動を体験し、分析と考察を行う (5)自然素材で作る	予習	自然素材を使った造形活動を調べておく。			
				復習	幼児が制作するための「指導案」を作成する			
	第7回	内容	幼児画と造形活動の発達について－保育事例の映像を通して－（ICT活用）	予習	幼児の手指の発達について調べをする。			
				復習	幼児画の発達についてまとめる。			
	第8回	内容	季節や自然に関わる伝承遊びや行事を学び、制作する (1)春～夏編	予習	春から夏の行事について調べておく。			
				復習	自然に関わる伝承遊びと行事についてまとめる。			
第9回	内容	季節や自然に関わる伝承遊びや行事を学び、制作する (2)秋～冬編	予習	秋から冬の行事について調べておく。				
			復習	自然に関わる伝承遊びと行事についてまとめる。				
第10回	内容	造形表現活動を支える環境構成について－レッジョ・エミリアの幼児教育から－（ICT活用）	予習	造形活動を行う環境について考えておく。				
			復習	レッジョ・エミリアの幼児教の特徴をまとめる。				
第11回	内容	造形表現のプロジェクト活動について－共同制作のテーマを決める－	予習	レッジョ・エミリアでのプロジェクトについて調べる。				
			復習	グループで話し合ったことをまとめ、テーマを決める。				
第12回	内容	テーマに沿った制作の準備と制作	予習	制作のための準備をする。				
			復習	制作過程をまとめ、次回の制作予定を立てる。				
第13回	内容	テーマを共同で制作し、完成する	予習	制作のための準備をしておく。				
			復習	制作活動の過程をまとめる。				
第14回	内容	プロジェクト活動のドキュメンテーションを作成する	予習	ドキュメンテーションについて調べる。				
			復習	グループでのプロジェクト活動をまとめる。				
第15回	内容	グループで発表する	予習	グループ発表の準備をする。				
			復習	発表の様子、感想をまとめる。				
予習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 20 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題に対して解説を行う。発表後は講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（30 ）、作品・発表（30%）、実技（ ）、授業態度【積極的参加・丁寧な制作】（40%）							
教科書	『地球市民を育てる～子どもと自然をむすぶ～』森下英美子・豊泉尚美 著（圭文社）							
参考文献	『子どもたちの100の言葉』レッジョ・チルドレン編（学習研究社） 『センス・オブ・ワンダー』レイチェル・カーソン著（新潮社）							
注意事項	作品提出の期限を厳守すること。制作活動に積極的に、丁寧に取り組むこと。							

科目名	音楽・身体表現		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しおぎき はせがわ 塩崎・長谷川
ナバリンコード*	CHS12107		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	領域「表現」における音楽・身体表現の指導法に関する、乳幼児期の特徴を捉え、乳幼児の感性や創造性を豊かにする表現遊びや環境について実践的に学ぶとともに、保育者として必要な知識・技能を学び、豊かな感性と表現力を身に付ける。							
到達目標	1. 見る・聴く・動くなどの様々な表現を楽しむことを通して、イメージを豊かにすることができている。 2. 生活の中での出来事を、様々な素材を生かして表現することができる。 3. それぞれの表出・表現を受け止め、表現する過程を工夫し、より楽しめるよう発展させることができている。 4. 他者を受け入れ、互いに共感しあう活動を通して、表現の楽しさの要因についての知識を深め、生かすことができている。							
学位授与方針	幼児教育学科( 3、7 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	「表現とは」 領域「表現」のねらい及び内容について理解する	予習	領域「表現」のねらいの箇所を読んでくる			
				復習	本時の内容についてノートにまとめる			
	第2回	内容	「乳幼児の表現」 保育者として受け止める視点についてグループ討議し、その大切さについて考える。	予習	乳幼児期の表現の特徴について、調べる			
				復習	グループ討議やまとめの内容をノートまとめる			
	第3回	内容	「身体表現とは」 豊かな表現を引き出すための保育者の役割や、題材について討議する。	予習	身体表現遊びの題材について調べてくる			
				復習	身体表現の題材についてまとめる			
	第4回	内容	「音楽」や「歌遊び」を題材とした身体表現遊びの実技の実践とまとめ	予習	身体表現へ用いることのできる「歌遊び」を2つ探してくる			
				復習	本時の活動を発達ごとにノートにまとめる			
	第5回	内容	「絵本と身体表現」 絵本を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループ討議する。	予習	身体表現に利用できる絵本を探してくる			
				復習	気に入った絵本で身体表現遊びの活用についてまとめる			
	第6回	内容	「自然と身体表現」 自然を題材とした身体表現遊びの実技を通して、展開についてグループ創作・発表、討議をする。	予習	自然観察し、動きに用いることのできる対象物を選び動画、写真などに撮影してくる			
				復習	本時の発表作品とグループ討議の内容をノートにまとめる			
	第7回	内容	「生活の中での身体表現」 生活を題材とした身体表現遊びの実技を通して、豊かな表現活動の展開の可能性についてグループ討議する。	予習	生活の中での身表現の題材について考えてくる			
				復習	本時の活動を発達ごとにノートにまとめ、考察する			
	第8回	内容	「ICTを使った身体表現」 ICTを活用した表現方法について実践し、生かし方・工夫について話し合い、まとめる。	予習	ICTの意味について調べ活用方法について考えてくる			
				復習	活用の仕方、操作の仕方の練習をする			
	第9回	内容	音楽の応用1 多様な音楽表現の方法	予習	授業で指示した資料を確認する			
				復習	経験した音楽表現法を記録し振り返りをする			
	第10回	内容	音楽の応用2 アレンジによる音楽表現の応用	予習	コードネームについて確認する			
				復習	経験した音楽表現法を記録し振り返りをする			
	第11回	内容	音楽表現の展開1 幼児の豊かな表現力と音楽的な資質・能力を養うための教材選択	予習	授業で指示した資料を確認する			
				復習	教材選択の観点について考察し記録する			
	第12回	内容	音楽表現の展開2 童謡を用いた総合的な表現活動の展開	予習	授業で支持した課題に取り組む			
				復習	経験した総合的な表現活動について記録する			
	第13回	内容	音楽と身体表現の出会い 音と体を使って表現を楽しむ、工夫する	予習	発表の題材について考えてくる			
				復習	本時の内容をまとめ、次時の課題を考えてくる			
	第14回	内容	様々な表現方法を用いて 様々な表現を集めて小作品を創作する	予習	音楽、動きについて考えてくる			
				復習	発表作品の練習課題についてまとめる			
	第15回	内容	学習のまとめを発表する	予習	発表作品の練習をする			
				復習	ノートのまとめをし、考察する			
予習に要する学習時間：概ね45分を目安とする。 復習に要する学習時間：概45分を目安とする。								
課題へのフィードバック	ノートや課題提出の際は、コメントを記入し返却する。 発表後は、講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施( )する/ (○)しない 成績評価の方法：筆記試験( %)、レポート・課題(30%)、作品・発表(20%)、実技(20%)、授業態度【積極的参加、出席状況】(30%)							

教科書	『運動あそび・表現あそび 指導方法を身につける理論と実例』（宮下恭子編著、大学図書出版）
参考文献	
注意事項	音楽表現の授業では、動きやすさや作業しやすさを考慮した服装で出席すること。 身体表現の授業では、原則学校指定のジャージを着用して出席すること。 クラスを2つに分けて実施。塩崎：15回、長谷川：15回

科目名	音楽 I		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一範 他
ナンバリングコード	EDS12101		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	この授業では、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽に関する基礎的な知識や理論（楽典）、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する							
到達目標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3・7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション 授業内容、進め方について	予習	事前にシラバスを読んでおく			
				復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく			
	第2回	内容	ハ長調の和音・分散和音の伴奏形① 大学ピアノ教本 No. 1～8	予習	大学ピアノ教本 No. 1～8 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 1～8 の復習			
	第3回	内容	分散和音の伴奏形②・③ 大学ピアノ教本 No. 9～16	予習	大学ピアノ教本 No. 9～16 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 9～16 の復習			
	第4回	内容	分散和音の伴奏形④ 4分音符と8分音符 大学ピアノ教本 No. 17～24	予習	大学ピアノ教本 No. 17～24 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 17～24 の復習			
	第5回	内容	ハ長調の下属和音 大学ピアノ教本 No. 25～26	予習	大学ピアノ教本 No. 25～26 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 25～26 の復習			
	第6回	内容	ハ長調の主和音・下属和音・属和音 大学ピアノ教本 No. 27～32	予習	大学ピアノ教本 No. 27～32 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 27～32 の復習			
	第7回	内容	ト長調の主和音・下属和音・属和音 大学ピアノ教本 No. 33～38	予習	大学ピアノ教本 No. 33～38 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 33～38 の復習			
	第8回	内容	中間発表会（個人発表） いろいろな伴奏形①～④ 大学ピアノ教本 No. 39～42	予習	大学ピアノ教本 No. 39～42 の予習			
				復習	大学ピアノ教本 No. 39～42 の復習			
第9回	内容	高い音の練習 大学ピアノ教本 No. 43～46	予習	大学ピアノ教本 No. 43～46 の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No. 43～46 の復習				
第10回	内容	3/8拍子と6/8拍子 大学ピアノ教本 No. 47～48 生活のうたの弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No. 47～48 他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No. 47～48 他の復習				
第11回	内容	付点4分音符を用いたリズム 大学ピアノ教本 No. 49～54 生活のうたの弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No. 49～54 他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No. 49～54 他の復習				
第12回	内容	ハ長調の音階 大学ピアノ教本 No. 55～58 生活のうたの弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No. 55～58 他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No. 55～58 他の復習				
第13回	内容	ハ長調の音階 大学ピアノ教本 No. 59～61 生活のうたの弾き歌い④	予習	大学ピアノ教本 No. 59～61 他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No. 59～61 他の復習				
第14回	内容	ト長調の音階 大学ピアノ教本 No. 62～67 生活のうたの弾き歌い⑤	予習	大学ピアノ教本 No. 62～67 他の予習				
			復習	大学ピアノ教本 No. 62～67 他の復習				
第15回	内容	これまでの授業のまとめと発表	予習	発表曲の予習				
			復習	指導を受けた点を復習する				
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（10%）、作品・発表（30%）、実技（50%）、授業態度（10%）							
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』（大学音楽教育研究グループ、教育芸術社） 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項								

科目名	音楽Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一範 他
ナンバリングコード	EDS12102		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )							
授業の内容	音楽Ⅰに引き続き、保育現場で求められるピアノ演奏技術の修得のための個人レッスンと、音楽に関する基礎的な知識や理論(楽典)、歌唱法、伴奏法を学ぶクラス授業を並行して行う。6名前後のグループの半数が個人レッスン、それ以外の半数はクラス授業を受講し、45分で交代する。							
到達目標	1. 基礎的な練習曲を学習することで、保育現場で求められるピアノ演奏技術を修得している。 2. 幼稚園・保育所実習や保育現場での実践に対応できるよう、こどものうたの弾き歌いができる。 3. 保育の中の音楽に必要な楽典やソルフェージュへの理解を深めることによって、楽譜の読み書きができ、自らの力でピアノ演奏することができる。							
学位授与方針	幼児教育学科(2・3・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )							
授業計画	第1回	内容	臨時記号と半音階 大学ピアノ教本 No.68~69 季節のうた(春) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.68~69 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.68~69 他の復習	
	第2回	内容	16分音符を用いたリズム 大学ピアノ教本 No.70~72 季節のうた(春) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.70~72 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.70~72 他の復習	
	第3回	内容	イ短調の主要三和音 大学ピアノ教本 No.73~76 季節のうた(春) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.73~76 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.73~76 他の復習	
	第4回	内容	6度・3度の重音 大学ピアノ教本 No.77~78 季節のうた(夏) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.77~78 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.77~78 他の復習	
	第5回	内容	3連符 大学ピアノ教本 No.79~80 季節のうた(夏) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.79~80 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.79~80 他の復習	
	第6回	内容	へ長調よりハ長調への転調 大学ピアノ教本 No.81 季節のうた(夏) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.81 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.81 他の復習	
	第7回	内容	3度の重音と8度の跳躍 大学ピアノ教本 No.82 季節のうた(秋) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.82 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.82 他の復習	
	第8回	内容	弱起の曲 大学ピアノ教本 No.83~84 季節のうた(秋) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.83~84 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.83~84 他の復習	
	第9回	内容	ニ長調とニ短調の主要三和音 大学ピアノ教本 No.85~86 季節のうた(秋) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.85~86 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.85~86 他の復習	
	第10回	内容	装飾音 大学ピアノ教本 No.87~90 季節のうた(冬) 弾き歌い①	予習	大学ピアノ教本 No.87~90 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.87~90 他の復習	
	第11回	内容	複付点音符 大学ピアノ教本 No.91 季節のうた(冬) 弾き歌い②	予習	大学ピアノ教本 No.91 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.91 他の復習	
	第12回	内容	大学ピアノ教本 No.92~94 季節のうた(冬) 弾き歌い③	予習	大学ピアノ教本 No.92~94 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.92~94 他の復習	
	第13回	内容	マーチ、その他① 大学ピアノ教本 No.95~98	予習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.95~98)の予習	復習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.95~98)の復習	
	第14回	内容	マーチ、その他② 大学ピアノ教本 No.99~102	予習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.99~)の予習	復習	マーチ曲(大学ピアノ教本 No.99~)の復習	
	第15回	内容	マーチ、その他③ 大学ピアノ教本 No.103~107	予習	大学ピアノ教本 No.103~107 他の予習	復習	大学ピアノ教本 No.103~107 他の復習	
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：筆記試験(10%)、作品・発表(30%)、実技(50%)、授業態度(10%)							
教科書	『教職課程のための大学ピアノ教本』(大学音楽教育研究グループ、教育芸術社) 『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』(小林美実 他、チャイルド本社)							
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。							
注意事項								

科目名	音楽Ⅲ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一範 他
ナバリングコード	EDS12201	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	音楽Ⅰ、音楽Ⅱで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。						
到達目標	1. 音楽Ⅰ、音楽Ⅱで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。 2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2・3・7 ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション	予習	事前にシラバスを読んでおく		
				復習	この科目で学ぶ内容を確認しておく		
	第2回	内容	園生活のうた 弾き歌い① 「おはよう」「おはようのうた」他	予習	「おはよう」「おはようのうた」の予習		
				復習	「おはよう」「おはようのうた」を復習		
	第3回	内容	園生活のうた 弾き歌い② 「おべんとう」「おかえりのうた」他	予習	「おべんとう」「おかえりのうた」の予習		
				復習	「おべんとう」「おかえりのうた」の復習		
	第4回	内容	園生活のうた 弾き歌い③ 「さよならのうた」「おかたづけ」「おむねをはりましょ」	予習	「さよならのうた」の予習		
				復習	「さよならのうた」の復習		
	第5回	内容	季節のうた 4月① 他 「あくしゅでこんにちは」「せんせいとおともだち」	予習	「あくしゅでこんにちは」他の予習		
				復習	「せんせいとおともだち」他の復習		
	第6回	内容	季節のうた 4月② 「チューリップ」「ちょうちょう」「めだかの学校」他	予習	「チューリップ」「ちょうちょう」他の予習		
				復習	「ちょうちょう」「めだかの学校」他の復習		
	第7回	内容	季節のうた 5月① 「こいのぼり」「手をたたきましょ」他	予習	「手をたたきましょ」「こいのぼり」他の予習		
				復習	「手をたたきましょ」「こいのぼり」他の復習		
	第8回	内容	季節のうた 5月② 「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他	予習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の予習		
				復習	「ぶんぶんぶん」「むすんでひらいて」他の復習		
	第9回	内容	季節のうた 6月① 「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」他	予習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の予習		
			復習	「あめふりくまのこ」「あまだれぼったん」の復習			
第10回	内容	季節のうた 6月② 「とけいのうた」「すてきなパパ」「歯をみがきましょ」	予習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の予習			
			復習	「とけいのうた」「すてきなパパ」他の復習			
第11回	内容	季節のうた 7・8月① 「たなばたさま」「うみ」「アイスクリームのうた」他	予習	「たなばたさま」「うみ」の予習			
			復習	「たなばたさま」「うみ」の復習			
第12回	内容	季節のうた 7・8月② 「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他	予習	「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他の予習			
			復習	「おぼけなんてないさ」「シャボン玉」他の復習			
第13回	内容	あそびのうた① 「グーチョキパーでなにつくろう」他	予習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の予習			
			復習	「グーチョキパーでなにつくろう」他の復習			
第14回	内容	あそびのうた② 「とんとんとんとんひげいさん」他	予習	「とんとんとんとんひげいさん」他の予習			
			復習	「とんとんとんとんひげいさん」他の復習			
第15回	内容	あそびのうた③ 「むすんでひらいて」「こぶたぬきつねこ」他	予習	「むすんでひらいて」他の予習			
			復習	「こぶたぬきつねこ」他の復習			
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： 作品・発表（30%）、実技（50%）、授業態度（20%）						
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』（小林美実 他、チャイルド本社）						
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。						
注意事項							

科目名	音楽Ⅳ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しかと かずのり 鹿戸 一範 他
ナンバリングコード	EDS12202	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	音楽Ⅰ～Ⅲで学んだ内容をもとに、子どもの音楽活動を支える基礎技能として、さらに高度なピアノ演奏技術を修得し、教育実習や保育所実習、採用試験で重要視されるこどもの歌の弾き歌いを中心に学ぶ。クラスを担当する複数の教員より指導を受ける。						
到達目標	<p>1. 音楽Ⅰ～Ⅲで身につけた知識、ピアノ演奏技術を深め、教育実習や保育現場での実践に対応できるよう、より多くのこどものうたの弾き歌いができている。</p> <p>2. コードネームを用いた楽譜から、簡単な伴奏付けをすることができている。</p>						
学位授与方針	幼児教育学科(2・3・7) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	季節のうた 9月① 「とんぼのめがね」「つき」「大きなくりの木の下で」他	予習	「とんぼのめがね」「つき」他の予習		
				復習	「とんぼのめがね」「つき」他の復習		
	第2回	内容	季節のうた 9月② 「きらきら星」「どんぐりころころ」他	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習		
				復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習		
	第3回	内容	季節のうた 10月① 「やきいもグーチャーパー」「きのこ」他	予習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の予習		
				復習	「きらきら星」「どんぐりころころ」他の復習		
	第4回	内容	季節のうた 10月② 「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」他	予習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の予習		
				復習	「小さい秋みつけた」「まつぼっくり」の復習		
	第5回	内容	季節のうた 11月① 「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」他	予習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の予習		
				復習	「大きなくりの木の下で」「まっかな秋」の復習		
	第6回	内容	季節のうた 11月② 「夕やけこやけ」「たきび」「こぎつね」他	予習	「夕やけこやけ」「たきび」他の予習		
				復習	「夕やけこやけ」「たきび」他の復習		
	第7回	内容	季節のうた 12月① 「あわてんぼうのサンタクロース」他	予習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の予習		
				復習	「あわてんぼうのサンタクロース」他の復習		
	第8回	内容	季節のうた 12月② 「ジングルベル」「サンタクロース」他	予習	「ジングルベル」他の予習		
				復習	「ジングルベル」他の復習		
第9回	内容	季節のうた 1月① 「お正月」「雪」他	予習	「お正月」「雪」他の予習			
			復習	「お正月」「雪」他の復習			
第10回	内容	季節のうた 1月② 「雪のこぼろず」「雪のペンキやさん」他	予習	「雪のこぼろず」「雪のペンキやさん」他の予習			
			復習	「雪のこぼろず」「雪のペンキやさん」他の復習			
第11回	内容	季節のうた 2月① 「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他	予習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の予習			
			復習	「まめまき」「北風小僧の寒太郎」他の復習			
第12回	内容	季節のうた 2月② 「春がきた」「どこかで春が」他	予習	「春がきた」「どこかで春が」他の予習			
			復習	「春がきた」「どこかで春が」他の復習			
第13回	内容	季節のうた 3月① 「うれしいひなまつり」「思い出のアルバム」他	予習	「うれしいひなまつり」他の予習			
			復習	「思い出のアルバム」他の復習			
第14回	内容	季節のうた 3月② 「さよならぼくたちのほいくえん」「一年生になったら」	予習	「一年生になったら」他の予習			
			復習	「さよならぼくたちのほいくえん」他の復習			
第15回	内容	コードネームを用いた伴奏付け	予習	コードネームについての予習			
			復習	コードネームを用いた伴奏の練習			
予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	授業内での発表や実技試験での演奏に対して、個別に講評を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施(○)する/( )しない 成績評価の方法：作品・発表(30%)、実技(50%)、授業態度(20%)						
教科書	『いろいろな伴奏で弾ける こどものうた100』(小林美実 他、チャイルド本社)						
参考文献	必要に応じて楽譜・プリントを配布する。						
注意事項							

科目名	教育社会学		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	のぶた りな 信田 理奈
ナンバリングコード	SOE12101		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面 ・ <u>遠隔</u> ・ その他 ( )							
授業の内容	AI 技術や IoT が進化するなか、2020 年度から小学校でプログラミング教育が始まった。しかしその一方で、いじめ、不登校、ネット依存、ブラック校則、教育格差、スマホ育児、性的マイノリティへの偏見など、子どもたちをめぐる問題は後を絶たない。この授業では、グローバル化や ICT により変動する社会との関係から教育事象を捉え、いかなる社会的要因が教育問題の発生や増減に影響しているかを考える。							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代の教育事象について社会的視点から説明できる。</li> <li>2. 子どもを取り巻く環境と教育的課題について理解している。</li> <li>3. 保育や教育の現場で適用可能な社会的思考力を身につけている。</li> </ol>							
学位授与方針	幼児教育学科 ( 4,5 ) 地域保育学科 ( ) 文化表現学科 ( )							
授業計画	第1回	内容	ガイダンス：教育社会学とは何か	予習	教育に関する最新のニュースについて調べる			
				復習	教育社会的思考の特徴についてまとめる			
	第2回	内容	家族の機能と子どもの社会化	予習	現代の子どものしつけについて調べる			
				復習	家庭の教育力についてノートにまとめる			
	第3回	内容	成育環境としての地域とコミュニティ	予習	地域の変容と子どもの遊びについて調べる			
				復習	地域の教育力についてノートにまとめる			
	第4回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応① いじめ	予習	いじめの定義と認知件数について調べる			
				復習	いじめ問題の捉え方についてノートにまとめる			
	第5回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応② 不登校	予習	不登校の定義と認知件数について調べる			
				復習	教育機会確保法についてノートにまとめる			
	第6回	内容	子どもの非行・逸脱・不適応③ ブラック校則	予習	中高時代の理不尽な校則について振り返る			
				復習	校則の教育的意義についてノートにまとめる			
	第7回	内容	子どもの貧困と居場所づくり 子ども食堂	予習	子どもにとって居場所とは何かを考える			
				復習	子ども食堂の機能についてノートにまとめる			
	第8回	内容	グローバリゼーションと教育格差① 途上国の子どもたち	予習	途上国の就学率と識字率について調べる			
				復習	貧困による負の連鎖についてノートにまとめる			
	第9回	内容	グローバリゼーションと教育格差② 先進国の子どもたち	予習	日本の子どもの相対的貧困率について調べる			
				復習	ユニセフの子どもの幸福度についてまとめる			
	第10回	内容	ICTと教育の情報化① 学びのイノベーション	予習	PISA (学習到達度調査) について調べる			
				復習	ICT教育の課題についてノートにまとめる			
	第11回	内容	ICTと教育の情報化② ネット依存、スマホ育児	予習	メディア環境が育児に及ぼす影響を調べる			
				復習	情報リテラシーについてノートにまとめる			
	第12回	内容	教育とジェンダー① 男/女を二分化する学校文化	予習	幼稚園における性別分化の事例について調べる			
				復習	隠れたカリキュラムについてノートにまとめる			
	第13回	内容	教育とジェンダー② 高等教育における男女格差	予習	男女別の大学進学率と学部学科について調べる			
				復習	高等教育のジェンダー構図についてまとめる			
	第14回	内容	教育とジェンダー③ 人権としてのLGBT教育	予習	性同一性障害の児童生徒数について調べる			
				復習	多様な性と人権についてノートにまとめる			
	第15回	内容	持続可能な社会と教育、多様性の尊重に向けて	予習	持続可能な開発目標 (SDGs) について調べる			
				復習	SDGsの実現と教育についてノートにまとめる			
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を通じて、レポート・課題 (小テストを含む) を返却する。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 ( ) する / ( ○ ) しない 成績評価の方法： レポート・課題 (70%)、授業態度【積極的参加】(30%)							
教科書	なし							
参考文献	『新版 教育の社会学』(荻谷剛彦・濱名陽子・木村涼子・酒井朗、有斐閣アルマ) 『シリーズ現代の教職7 新しい時代の教育社会学』(加野芳正・越智康詞、ミネルヴァ書房)							
注意事項	日頃から教育に関する最新のニュースをチェックし、問題意識をもって授業に臨むこと。							

科目名	教育方法・技術論		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	あさい たくや 浅井 拓久也
カンパリクコード	EDU12203		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（遠隔授業を複数回実施する）							
授業の内容	これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育むために、保育者として必要な教育方法や教育技術、情報機器を用いた教材作成・活用方法を学ぶ。受講生が自分で調べる、話し合う、まとめる、発表することを中心とした能動的な授業を行う。							
到達目標	1. 3法令の原理や原則を理解している。 2. 幼児教育に必要な理論的な知識や、実践的な技術を身につけている。 3. 情報機器を用いた教材の作成や活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	教育方法・技術論の目的	予習	シラバス及び教科書の目次を読む			
				復習	本講座から学びたいことを3つ書く			
	第2回	内容	幼稚園教育要領の概要：幼稚園教育の目的と特徴	予習	幼稚園教育要領の第1章を読む			
				復習	社会に開かれた教育課程についてまとめる			
	第3回	内容	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要：認定子ども園の目的と特徴	予習	教育・保育要領の第1章を読む			
				復習	要領と教育・保育要領との違いをまとめる			
	第4回	内容	情報機器を活用した幼児教育	予習	なぜ情報機器を幼児教育で活用するか考える			
				復習	情報機器を活用した幼児教育を調べる			
	第5回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：情報機器の基本的な使い方	予習	情報機器の活用に関する倫理をまとめる			
				復習	情報機器の基本的な操作を一覧表にまとめる			
	第6回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：部分実習指導案の作成	予習	部分実習指導案を考える			
				復習	情報機器を活用して指導案を作る			
	第7回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：園と保護者をつなぐ多様なツール	予習	なぜ園だよりが必要か考える			
				復習	保護者支援についてまとめる			
	第8回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：実際の園だよりの作成	予習	見本となる園だよりを準備する			
				復習	情報機器を活用して園だよりを作る			
第9回	内容	ドキュメンテーションを通じた子どもたちの主体的で対話的な学びの実現	予習	ドキュメンテーションとは何か調べる				
			復習	ドキュメンテーションを作る				
第10回	内容	幼児教育における児童文化財とその活用方法	予習	なぜ幼児教育に絵本が必要か考える				
			復習	物語完結型の紙芝居を3つ調べる				
第11回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：絵本や紙芝居の構成	予習	絵本と紙芝居の違いを調べる				
			復習	なぜ紙芝居には舞台が必要かまとめる				
第12回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：グループワークでストーリー作成	予習	どのようなストーリーにするか考える				
			復習	なぜストーリーが重要かまとめる				
第13回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：デザインや写真の作成	予習	パワーポイントの基本的な使い方を調べる				
			復習	アニメーションの使い方を一覧表にまとめる				
第14回	内容	情報機器を活用した絵本（紙芝居）作り：自分の作品の発表	予習	発表する作品を事前に読んでおく				
			復習	紙芝居の基本的な演じ方をまとめる				
第15回	内容	これからの時代の教育方法・技術論	予習	第1回から第14回までのノートを見直す				
			復習	本講座から学んだことを書く				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（40%）、作品・発表（50%）、授業態度【積極的参加】（10%）							
教科書	『マンガでわかる！幼稚園教育要領 2017年告示対応版』（浅井拓久也、中央法規出版）							
参考文献	『保育所保育指針（平成29年告示）』（厚生労働省、フレーベル館）、『幼稚園教育要領（平成29年告示）』（文部科学省、フレーベル館）							
注意事項	PC教室の利用可否によって、授業計画を変更することがある。							

科目名	教育方法・技術論		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	たじま だいすけ 田島 大輔
ナンバリングコード	EDU12203		授業形態	演習	実務経験	有り		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	れからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育むために、保育者として必要な教育方法や教育技術、情報機器を用いた教材作成・活用方法を学ぶ。受講生が自分で調べる、話し合う、まとめる、発表することを中心とした能動的な授業を行う。							
到達目標	1. 幼稚園教育要領・保育所保育指針・認定こども園教育保育要領の原理や原則を理解している。 2. 幼児教育に必要な理論的な知識や、実践的な技術を身につけている。 3. 情報機器を用いた教材の作成を保育においての活用ができる。							
学位授与方針	幼児教育学科（2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	教育方法・技術論の目的	予習	シラバス及び教科書の目次を読む			
				復習	本講座から学びたいことを3つ書く			
	第2回	内容	幼稚園教育要領の概要：幼稚園教育の目的と特徴	予習	幼稚園教育要領の第1章を読む			
				復習	社会に開かれた教育課程についてまとめる			
	第3回	内容	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の概要：認定こども園の目的と特徴	予習	教育・保育要領の第1章を読む			
				復習	要領と教育・保育要領との違いをまとめる			
	第4回	内容	情報機器を活用した幼児教育	予習	なぜ情報機器を幼児教育で活用するか考える			
				復習	情報機器を活用した幼児教育を調べる			
	第5回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：情報機器の基本的な使い方	予習	情報機器の活用に関する倫理をまとめる			
				復習	情報機器の基本的な操作を一覧表にまとめる			
	第6回	内容	情報機器を活用した指導案の作成：部分実習指導案の作成	予習	部分実習指導案を考える			
				復習	情報機器を活用して指導案を作る			
	第7回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：園と保護者をつなぐ多様なツール	予習	なぜ園だよりが必要か考える			
				復習	保護者支援についてまとめる			
	第8回	内容	情報機器を活用した園だよりの作成：実際の園だよりの作成	予習	見本となる園だよりを準備する			
				復習	情報機器を活用して園だよりを作る			
第9回	内容	ドキュメンテーションを通じた子どもたちの主体的で対話的な学びの実現	予習	ドキュメンテーションとは何か調べる				
			復習	ドキュメンテーションを作る				
第10回	内容	幼児教育における児童文化財とその活用方法	予習	なぜ幼児教育に絵本が必要か考える				
			復習	物語完結型の紙芝居を3つ調べる				
第11回	内容	情報機器を活用した実例	予習	PCの基本操作について				
			復習	PCの基本操作の復習				
第12回	内容	情報機器を活用した実際 ①実際の操作	予習	PCの基本操作の確認				
			復習	PCの基本操作の実際の確認				
第13回	内容	情報機器を活用した実際 ②応用	予習	PCの基本操作の実際の実際の操作の確認				
			復習	PCの基本操作の実際の実際の応用について				
第14回	内容	情報機器を活用した実際 ③作成	予習	PCの基本操作の実際の実際の応用の確認				
			復習	PCの基本操作の作成について				
第15回	内容	これからの時代の教育方法・技術論	予習	第1回から第14回までのノートを見直す				
			復習	本講座から学んだことを書く				
	予習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね60分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（40%）、作品・発表（50%）、授業態度（10%）							
教科書	授業内で資料を配布する							
参考文献	『保育所保育指針 解説』（厚生労働省、フレーベル館）、『幼稚園教育要領 解説』（文部科学省、フレーベル館）、『認定こども園教育・保育要領 解説』（内閣府、フレーベル館）							
注意事項	PC教室の利用可否によって、授業計画を変更することがある。							

科目名	教育相談		単位数	2	授業時間数	30	担当教員	みよし ちから 三好 力
ナンバリングコード	EDP12203		授業形態	講義	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	幼稚園や学校における教育相談は、心理学の専門家や一部の教師が担うものではなく、学級運営と同じように全ての教師が担当する教育活動の一環として位置づけられている。本講義では、教育相談の理論、技術、キンダー（スクール）カウンセラーの位置づけなどについて概説し、幼稚園や学校（教育現場）における教育相談の役割を理解することを目的とする。							
到達目標	1. 教育現場での生徒指導上の問題に応じ、適切に対応できる。 2. カウンセリングの基本的な理論と態度技術を身につけている。 3. 集団指導に有益な心理的技術について理解している。 4. 教育相談における保護者や地域との連携と関わり、キンダー（スクール）カウンセラー等との連携を理解している。							
学位授与方針	幼児教育学科（②④⑤） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	オリエンテーションとガイダンス：教育相談とは何か	予習	教育相談についてのイメージを膨らませる			
				復習	教育相談の日本における位置づけを整理する			
	第2回	内容	子どもを支えるために必要な教師の資質とカウンセリングマインド	予習	教師の資質について考えておく			
				復習	カウンセリングマインドを整理する			
	第3回	内容	子ども理解のための心理学——理論と実際の双方向からの多面的理解	予習	事前配布のプリントを見ておく			
				復習	子ども理解に必要な心理学を整理する			
	第4回	内容	教育相談のための発達心理学的基礎知識	予習	子ども家庭支援の心理学などのノートを確認			
				復習	発達理論に基づき各世代について理解整理する			
	第5回	内容	教育相談のための臨床心理学的基礎知識	予習	臨床心理学を漠然とで良いので下調べしておく			
				復習	臨床心理学の有用な技法を整理しておく			
	第6回	内容	発達障害をめぐる諸問題	予習	発達障害について下調べしておく			
				復習	学修した後のギャップを整理しておく			
	第7回	内容	アセスメント——多面的に子どもを理解する視点と方法	予習	子どもに利用するアセスメントツールを調べる			
				復習	アセスメントについての自分の考えをまとめる			
	第8回	内容	カウンセリング——信頼関係を築き、子どもを援助する方法	予習	カウンセリングについて下調べしておく			
				復習	カウンセリング技法について整理する			
第9回	内容	コンサルテーション——よりよい指導・援助のための協働	予習	コンサルテーションとは何かを調べる				
			復習	コンサルテーションにおける連携を整理する				
第10回	内容	ソーシャルスキル教育やストレスマネジメント教育	予習	自分のストレスマネジメントについて整理する				
			復習	SSTについて整理する				
第11回	内容	教育相談を成立させる現実条件（目標の立て方や進め方）	予習	事前に配布プリントを読み込んでおく				
			復習	教育相談の目標設定について整理する				
第12回	内容	学級経営と学校のリスクマネジメント	予習	学校や園のリスクについて考えておく				
			復習	多くのリスクについて整理しておく				
第13回	内容	「チーム学校」にみる支援体制（他職種連携）、保幼小連携	予習	保幼小連携について大切なことを考えておく				
			復習	他職種連携と保幼小連携について整理する				
第14回	内容	相談事例の検討：いじめ、不登校・不登園、非行などを扱いグループディスカッションを行う	予習	事前に配布するプリントを読み込んでおく				
			復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
第15回	内容	相談事例の検討：対人コミュニケーションの問題、発達障害を伴う問題などを扱いグループディスカッションを行う	予習	事前に配布するプリントを読み込んでおく				
			復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
	予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（100%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【 】（ %）							
教科書	使用しない							
参考文献	絶対役立つ教育相談：学校現場の今に向き合う 藤田哲也他 2017 ミネルヴァ書房 教師のための教育相談の技術 吉田圭吾 2007 金子書房 ほか							
注意事項	毎回小テストや課題を行う。							

科目名	教育相談		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 いまみず ゆたか 今水 豊
ナンバリングコード	EDP12203		授業形態	講義	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	教育相談は、家庭や幼稚園における子どものさまざまな問題について、その望ましい解決に向けて助言や援助を行う実践活動である。もちろんその有用性は保育園においても同様である。授業ではまず援助の前提となる子どもの発達の総まとめをする。次に子どもに起こりうる問題と相談場面の実際を紹介していく。						
到達目標	1.発達を多角的にとらえることができる 2.発達の知識と臨床心理学的な知識を援助活動に活かすことができる 3.相談に必要な臨床心理学的な見立てについて理解する						
学位授与方針	幼児教育学科 (3.5.7 ) 地域保育学科 ( ) 文化表現学科 ( )						
授業計画	第1回	内容	I 教育相談とは何か ①相談の必要性	予習	園での相談について思い起こしメモしておく		
				復習	教育相談の意義を理解する		
	第2回	内容	I 教育相談とは何か ②相談のながれ	予習	意義を理解しながら相談場面を想像する		
				復習	相談のパターンを把握する		
	第3回	内容	II 子どもの発達の特徴 ①発達の表の作成 (身体・運動・言語の発達)	予習	連絡帳を利用した相談に回答する		
				復習	他の生徒や事例から対応を検討する		
	第4回	内容	II 子どもの発達の特徴 ②発達の表の作成 (認知・親子関係の発達)	予習	左記の子どもの発達について考える		
				復習	表を通して認知の発達を理解する		
	第5回	内容	II 子どもの発達の特徴 ③発達の表の作成 (親子関係の発達)	予習	母子関係の発達について思い出す		
				復習	表を通して人間関係の発達を俯瞰する		
	第6回	内容	II 子どもの発達の特徴 ④発達の表の作成 (社会心理的発達)	予習	身体から親子関係までの発達を把握する		
				復習	表を通じて子どもの発達を多角的に理解する		
	第7回	内容	III 子どもに見られる発達・心理的問題 ①発達障害の実際	予習	発達障害の記事や話題を調べておく		
				復習	発達障害の実際を理解する		
	第8回	内容	III 子どもに見られる発達・心理的問題 ②特別支援教育	予習	義務教育の支援について調べる		
				復習	義務教育の支援を把握する		
第9回	内容	III 子どもに見られる発達・心理的問題 ③養育者の実際	予習	実習の経験から養育者の苦勞を思い出す			
			復習	障害受容について理解し、共感する			
第10回	内容	III 子どもに見られる発達・心理的問題 ④虐待	予習	虐待の記事や話題、最近の傾向を調べる			
			復習	虐待の心理的影響を把握する			
第11回	内容	III 子どもに見られる発達・心理的問題 ⑤大震災と PTSD	予習	東日本大震災当時を思い起こす			
			復習	PTSDについて理解する			
第12回	内容	III 子どもに見られる発達・心理的問題 ⑥心のケアの実際	予習	震災が子どもに及ぼす影響を考える			
			復習	子どもの反応と対応を理解し、その時に備える			
第13回	内容	IV 相談の実際 ①教育相談の意義	予習	連携する相談機関を調べる			
			復習	教育相談の利点を理解する			
第14回	内容	IV 相談の実際 ②遊戯療法	予習	遊戯療法と園での遊戯の違いを想像する			
			復習	遊戯療法の利点を理解する			
第15回	内容	IV 相談の実際 ③遊戯療法の実際	予習	母子並行面接の特徴について意識する			
			復習	見立てについて意識して活動する			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。							
課題へのフィードバック	わからない内容や疑問に思うことは、授業後質問して理解すること。 レポートについては生徒の回答例や模範解答などを提示し、定期テストについては実施後に答え合わせと解説を行う。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（50%）、レポート・課題（30%）、作品・発表（ %）、実技（ %）、授業態度【人の話を聴く姿勢】（20%）						
教科書	なし（適宜資料を配布）						
参考文献	授業にて適宜紹介する						
注意事項	教育相談では、保護者の相談ごとに耳を傾け、その心情を理解する謙虚な態度が不可欠である。 その姿勢を身につけるためにも、授業をしっかりと聞き理解するという構えを求める。						

科目名	保育・教職実践演習(幼稚園)		単位数	2	授業時間数	30	担当教員 なかむら まるはし おおくま 中村・丸橋・大熊
ナンバリングコード	EDU12204		授業形態	演習	実務経験		
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	<p>これまでの教育に関する科目および教職に関する科目の学修や実習経験を踏まえ、保育士・幼稚園教諭として必要な学びを振り返り、将来の教職生活のために自己課題を見つける。</p> <p>尚、学生が主体的に学ぶことを基本とし、これまで履修してきた科目や実習とのつながりを理解し、保育を総合的に捉えることができるよう演習を展開する。</p>						
到達目標	<p>幼児教育学科のディプロマポリシーに照らして、本演習を通して保育士・幼稚園教諭として必要な以下の資質能力を身につけている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 幼児教育学・保育学の知識と技能をしっかりと習得している。</li> <li>2. コミュニケーション能力があり、周囲の人と協調することができる。</li> <li>3. 子どもを取り巻く環境や社会問題を理解し、自ら課題を見つけ取り組むことができる。</li> <li>4. 自然と生命を大切にすることをもち、それを子どもに伝えることができる。</li> <li>5. 自分を生き生きと表現し、他者の表現を受け入れることができる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科(①②③④⑤⑥⑦) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	保育・教職実践演習の授業の進め方について	予習	この授業についてシラバスを読んでおく。		
				復習	授業の概要をまとめる。		
	第2回	内容	保育者の役割・職務内容・子どもに対する責任等について (1) 講義・レポート	予習	保育者の役割・職務内容について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第3回	内容	保育者の役割・職務内容・子どもに対する責任等について (2) グループ討論	予習	グループ討論に必要な情報をまとめる。		
				復習	グループ討論の内容をまとめる。		
	第4回	内容	学級経営、学級経営案の作成について(講義・レポート)	予習	学級経営について調べてくる。		
				復習	授業内容を振り返り、レポートを書く。		
	第5回	内容	幼児の理解について(講義・レポート)	予習	幼児を理解するための方法について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第6回	内容	組織の一員としての自覚(講義・レポート)	予習	組織で協働することについて調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第7回	内容	子どもを取り巻く環境、子育てに関する社会問題について (講義・レポート)	予習	子どもを巡る社会問題について調べる。		
				復習	講義内容を振り返り、レポートを書く。		
	第8回	内容	感性と認識についてのフィールドワーク(自然保育実習)	予習	幼児の感性について調べる。		
				復習	自然保育実習を振り返り、レポートを書く。		
第9回	内容	各種実習の振り返り(講義・ポスター作成のガイダンス)	予習	各種実習について振り返る。			
			復習	講義内容を振り返り、まとめる。			
第10回	内容	各種実習についてのポスター作成(1)グループワーク	予習	ポスター作成に必要な資料を集める。			
			復習	グループの話し合いを振り返り、まとめる。			
第11回	内容	各種実習についてポスター作成(2)グループワーク	予習	ポスターの完成に必要な資料を準備する。			
			復習	ポスターを作成する。			
第12回	内容	保育における活動を計画する。(1)グループワーク	予習	保育における様々な活動を調べる。			
			復習	話し合った計画についてまとめる。			
第13回	内容	保育における活動を実践する。(2)ロールプレイ	予習	グループでの計画を実践するための材料を準備し、方法を調べる。			
			復習	実践してみたことを振り返り、まとめる。			
第14回	内容	各種実習に関するポスター発表・グループワークの結果発表	予習	ポスター発表とグループワークの結果発表の準備・練習をする。			
			復習	発表の振り返りを行い、まとめる。			
第15回	内容	授業全体の振り返り・資質能力の確認	予習	学科のディプロマポリシーを読み、自己課題を考える。			
			復習	授業全体を振り返り、自己課題をまとめる。			
予習に要する学習時間：概ね 20分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題への取り組み・ドキュメンテーション作成の過程で、また発表後に講評を行う。						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施( )する／(○)しない</p> <p>成績評価の方法：筆記試験( )%、レポート・課題(30%)、作品・発表(40%)、実技( )%、授業態度【積極的参加】(30%)</p>						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	グループワークに積極的に参加すること。						

科目名	保育所実習 I	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	おぐち すぐる 小口 偉
ナンバリングコード	CHS12108	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	<p>これまでに講義、演習で学んだ内容を基礎として、保育所保育、保育所の機能・役割、保育士の職務内容について、実際の保育の場で観察・参加実習をすることで理解を深める。実習中は課題を明確にし、日誌へ記録し考察をする。</p> <p>保育所実習のうち保育所実習 I は前期実習となる。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の1日の流れを理解している。</li> <li>2. 保育所の役割や機能について理解している。</li> <li>3. 保育士の職務内容を理解している。</li> <li>4. 観察、参加実習や子どもとの関わりを通して子どもを理解している。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ 2、5 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	<p>第1回 実習施設について理解する</p> <p>第2回 保育所における一日の流れを学ぶ</p> <p>第3回 観察と記録により子どもを理解する</p> <p>第4回 子どもの生活と遊びについて学ぶ</p> <p>第5回 子どもの発達過程を理解し援助や関わり方を学ぶ</p> <p>第6回 保育計画や発達過程に応じた保育内容を学ぶ</p> <p>第7回 保育の環境について学ぶ</p> <p>第8回 安全への配慮について学ぶ</p> <p>第9回 保育者の個々の子どもへの対応について学ぶ</p> <p>第10回 保育士の業務内容や役割分担、連携方法について学ぶ</p> <p>第11回 保育士の役割と職業倫理について学ぶ</p> <p>第12回 反省会を通し実習を振り返る</p>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習（80%）、レポート・課題（10%）、日誌等書類作成（10%）</p>						
教科書							
参考文献	『保育所保育指針<平成29年告示>』（厚生労働省、フレーベル館）、『保育所保育指針解説 平成30年3月』（厚生労働省、フレーベル館）						
注意事項	実習関係書類の提出遅延、実習中の怠惰等があった場合は本学「実習派遣規制」により実習の中止等があり得るので注意すること。						

科目名	施設実習	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	しのはら みよし せき 志濃原・三好・関
ナンバリングコード	SWS12204	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	<p>施設実習を通して、施設の役割や機能、日々の生活の展開、利用者の理解と関係の形成、保育者としての職務内容等について实际的に学習する。</p> <p>保育士証を取得するため、保育実習（必修）の中に施設実習を行なうことが定められており、保育に関する講義や演習で学んできた内容を児童福祉施設、障害者支援施設等で実践するものである。</p>						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 居住型及び通所型児童福祉施設等の利用者の生活が理解できる。</li> <li>2. 居住型及び通所型児童福祉施設等の保育士の役割について理解できる。</li> <li>3. 居住型及び通所型児童福祉施設等の機能が理解できる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 実習施設の目的・機能の理解①（一日の生活の理解）</li> <li>2. 実習施設の目的・機能の理解②（利用児・者についての理解）</li> <li>3. 実習施設の人的・物的環境の理解①（施設職員の役割・協働について）</li> <li>4. 実習施設の人的・物的環境の理解②（施設の物的環境について）</li> <li>5. 施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得①（利用者の生活実態の把握）</li> <li>6. 施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得②（利用者への援助）</li> <li>7. 施設の利用者の生活実態の把握と援助技術の習得③（利用者への援助のための間接業務）</li> <li>8. 保育士の職務内容・役割・他職種との連携の理解①（施設で働く保育士の役割）</li> <li>9. 保育士の職務内容・役割・他職種との連携の理解②（保育士と他職種との連携）</li> <li>10. 施設と地域・家庭・関係機関等との連携についての理解</li> <li>11. 反省会・まとめ①</li> <li>12. 実習施設の役割の理解</li> <li>13. 実習施設の社会的機能の理解</li> <li>14. これからの施設の在り方への考察</li> <li>15. 反省会・まとめ②</li> </ol>						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 実習（80%）、レポート・課題（10%）、日誌等書類作成（10%）						
教科書	『保育福祉小六法2021年版』（保育福祉小六法編集委員会編、みらい）						
参考文献	施設種別毎の「実習園資料」（本学実習資料室のもの）等を、数多く参照すること。						
注意事項	<p>「福祉施設実習研究」で履修した内容を理解して実践すると同時に、施設の指導を受け、実習生としてふさわしい言動がとれるように、十分に留意すること。</p> <p>また、実習関係報告書類の提出遅延、実習中の怠惰、非行等があった場合は、本学の「実習派遣規制基準」によって、実習の停止、中止等が行なわれる場合があり、保育士証取得ができないことになるので注意すること。</p>						

科目名	保育所実習Ⅱ	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	あさい たくや 浅井 拓久也
ナンバリングコード	CHS12211	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	実習施設での具体的な実践を通して、保育所の役割や機能、保育の理解を深める。また、保育実習Ⅰ等での学びを踏まえ、子どもの保育や子育て支援、保育の計画や記録等について実際に取り組み、理解を深める。さらに、保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践に結びつけて理解したり、実習における自己の課題を明確化したりする。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現代社会での保育所の役割や機能について総合的に理解する。</li> <li>2. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的な実践・事例とともに理解する。</li> <li>3. 保育の計画を適切に作成することができる。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（1、2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	<p>実習施設での具体的な実践を通して、以下を学ぶ。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 保育所の役割や機能の具体的展開 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 養護と教育が一体となって行われる保育</li> <li>(2) 保育所の社会的役割と責任</li> </ol> </li> <li>2. 観察に基づく保育理解 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 子どもの心身の状態や活動の観察</li> <li>(2) 保育士等の援助や関わり</li> <li>(3) 保育所の生活の流れや展開の把握</li> </ol> </li> <li>3. 子どもの保育及び保護者・家庭への支援と地域社会等との連携 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 環境を通して行う保育、生活や遊びを通して総合的に行う保育の理解</li> <li>(2) 入所している子どもの保護者に対する子育て支援及び地域の保護者等に対する子育て支援</li> <li>(3) 関係機関や地域社会との連携・協働</li> </ol> </li> <li>4. 指導計画の作成・実践・観察・記録・評価 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 全体的な計画に基づく指導計画の作成・実践・省察・評価と保育の過程の理解</li> <li>(2) 作成した指導計画に基づく保育の実践と評価</li> </ol> </li> <li>5. 保育士の業務と職業倫理 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 多様な保育の展開と保育士の業務</li> <li>(2) 多様な保育の展開と保育士の職業倫理</li> </ol> </li> <li>6. 自己の課題の明確化</li> </ol>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法：実習施設による評価（50%）、実習日誌の評価（30%）、個別面談等（20%）</p>						
教科書	なし						
参考文献	なし						
注意事項	なし						

科目名	保育所実習指導 I	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おぐち すぐる 小口 偉
ナバリンクコード	CHS12109	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	保育所実習に必要な知識や技術を学ぶ。保育所実習の目的、内容、方法、実習施設の機能を学ぶとともに、手続書類の作成等について指導を行う。実習に対する課題を立て、事後の学習目標を明確にしていくことで今後の実習に対する意欲を高める。						
到達目標	1. 保育所実習の意義・目的・内容を理解している。 2. 実習の計画、実践、観察、評価の方法について理解し実践できる。 3. 事前準備として実習課題を明確にし、取り組むことができる。 4. 事後指導の実習の統括と自己評価から、課題と目標を明確にしている。						
学位授与方針	幼児教育学科( 2、5 ) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	保育所実習の意義を知る	予習	「保育施設とは」ノートにまとめる		
				復習	授業内容を振り返り、ノートにまとめる		
	第2回	内容	保育所実習 I、II の目的を理解する	予習	保育所実習の目的を考える		
				復習	授業内容を踏まえて、自分自身の実習の目的を考える		
	第3回	内容	保育実習 I の目的を理解する	予習	事前に配布する資料を読む		
				復習	前期実習の目的を考えノートにまとめる		
	第4回	内容	保育所前期実習参加の心得を知る	予習	実習の注意事項を考える		
				復習	前期実習の心得をノートにまとめる		
	第5回	内容	実習手続き書類の作成指導( 配当資料の作成 )	予習	事前の配布資料を読む		
				復習	清書をする( 次回授業提出 )		
	第6回	内容	実習手続き書類の作成指導( 調査書の作成 )	予習	事前の配布資料を読む		
				復習	清書をする( 次回授業提出 )		
	第7回	内容	参加・観察実習の留意点を知る	予習	事前の配布資料を読む		
				復習	参加・観察実習の留意点をノートにまとめる		
	第8回	内容	保育所の一日の流れを知る	予習	事前の配布資料を読む		
				復習	保育所の一日の流れをノートにまとめる		
	第9回	内容	実習日誌の作成指導 1 実習開始前に必要な記入事項の説明	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	必要事項を日誌に記入する		
	第10回	内容	実習日誌の作成指導 2 実習課題の立て方	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	実習課題を考える		
	第11回	内容	実習日誌の作成指導 3 時系列記録による記録方法の理解 1	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	記録方法をノートに整理する		
	第12回	内容	実習日誌の作成指導 4 時系列記録による記録方法の理解 2	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	記録方法をノートに整理する		
	第13回	内容	実習日誌の作成指導 5 時系列記録による記録方法の理解 3	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	記録方法をノートに整理する		
	第14回	内容	実習日誌の作成指導 6 エピソード記録による記録方法の理解	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	記録方法をノートに整理する		
	第15回	内容	実習日誌の作成指導 7 振り返り等の書き方の理解	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	記録方法をノートに整理する		
	第16回	内容	部分実習指導計画案作成指導	予習	テキストの関連ページを読み込んでおく		
				復習	指導計画案を作成する		
	第17回	内容	実習オリエンテーションについて理解する	予習	事前配布資料を読んでおく		
				復習	オリエンテーションの注意事項をノートにまとめる		
	第18回	内容	持ち物、身だしなみ等、実習の諸注意について	予習	事前配布資料を読んでおく		
				復習	諸注意事項をノートにまとめる		
	第19回	内容	実習の評価の観点と訪問指導を理解する	予習	事前配布資料を読んでおく		
				復習	訪問指導についての必要性をノートにまとめる		
	第20回	内容	実習の総括と自己評価	予習	これまでの授業のノートを見直す		
				復習	実習指導 I から学んだ事をノートにまとめる		

	第 21 回	内容		予習		
				復習		
	第 22 回	内容			予習	
					復習	
	第 23 回	内容			予習	
					復習	
	第 24 回	内容			予習	
					復習	
	第 25 回	内容			予習	
					復習	
	第 26 回	内容			予習	
					復習	
	第 27 回	内容			予習	
					復習	
	第 28 回	内容			予習	
					復習	
	第 29 回	内容			予習	
					復習	
	第 30 回	内容			予習	
					復習	
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。						
課題へのフィードバック	授業内で課題への補足説明を行う。					
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：筆記試験（ %）、レポート・課題（60%）、授業態度【積極的な参加】（40%）					
教科書	『パターンと練習問題でだれでも書けるようになる！保育実習日誌・指導案』（浅井拓久也、明治図書出版）					
参考文献	『保育所保育指針<平成 29 年告示>』（厚生労働省、フレール館）、『保育所保育指針解説 平成 30 年 3 月』（厚生労働省、フレール館）					
注意事項						

科目名	施設実習指導	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	しのはら みよし せき 志濃原・三好・関
ナンバリングコード	SWS12205	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）						
授業の内容	この授業は、施設実習の前後に行なわれるものである。事前授業では実習の目的、実習施設の機能、保育者の職務内容、および実習手続き書類の作成等について学習し、実習心得を身に付け、実習参加意欲の高揚を図るとともに、各自の実習課題を確立する。 実習後授業は、実習報告会の参加、実習報告書と実習アンケートの作成等を通して、自己の適性を見直し、保育者としての使命感や人権意識等を考え今後の学習課題を設定する。						
到達目標	1. 実習施設について理解を深めることができる 2. 実習課題が設定できる 3. 自己の適性を知ることができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 3 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	オリエンテーション（履修上の諸注意）	予習	シラバスを確認する		
				復習	履修上の諸注意を確認する		
	第2回	内容	施設実習の意義の理解	予習	実習の手引きを一読する		
				復習	実習の手引きを確認しながら理解を深める		
	第3回	内容	実習施設の配当発表及び各実習施設の理解	予習	配当の確認をする		
				復習	配当の施設について調べる		
	第4回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（乳児院）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする		
				復習	感想文を書く		
	第5回	内容	実習生調書の作成1	予習	実習生調書下書き		
				復習	実習生調書を直す		
	第6回	内容	実習生調書の作成2	予習	実習生調書下書き		
				復習	実習生調書清書		
	第7回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（児童養護施設）	予習	児童福祉施設の知識の復習をする		
				復習	感想文を書く		
	第8回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害児関連施設）	予習	障害児への知識を確認する		
				復習	感想文を書く		
	第9回	内容	居住型福祉施設の生活実態を知る（障害者関連施設）	予習	障がい者福祉の知識を確認する		
				復習	感想文を書く		
	第10回	内容	各施設への実習前訪問と諸注意	予習	実習先の概要を確認する		
				復習	実習先への交通経路等の確認をする		
	第11回	内容	外部講師の話	予習	実習への心構えを考えておく		
				復習	感想文を書く		
	第12回	内容	実習日誌の書き方1	予習	実習日誌を一読する		
				復習	日誌の記入方法等を確認する		
	第13回	内容	実習日誌の書き方2	予習	実習日誌の部分的に書くことのできる箇所に記入する		
				復習	日誌の記入方法等を確認する		
	第14回	内容	実習の各種手続き1（細菌検査等）	予習	実習に向けての準備を整える		
				復習	細菌検査の日程などを確認する		
	第15回	内容	実習に各種手続き2（巡回指導の方法）	予習	実習に向けての準備を整える		
				復習	巡回指導の書類の確認、担当教員へあいさつをする		
	第16回	内容	実習課題の作成とレポートの内容説明	予習	実習課題の下書きをする		
				復習	実習課題をたてる		
	第17回	内容	実習に向けての諸注意	予習	実習に向けて準備を整える		
				復習	諸注意の確認をする		
	第18回	内容	実習概要報告書の作成1（書き方の説明）	予習	報告書の下書きをする		
				復習	報告書の作成		
	第19回	内容	実習概要報告書の作成2	予習	報告書の作成		
				復習	報告書の作成、提出		
	第20回	内容	実習報告会について	予習			
				復習	実習を振り返る		

	第 21 回	内容	実習報告会の資料作成	予習	実習報告会の資料作成準備
				復習	実習報告会の資料作成
	第 22 回	内容	提出物の確認と書類の整理	予習	実習報告会の準備
				復習	実習に関わる提出物の用意
	第 23 回	内容	評価面談 1	予習	提出物・書類の確認
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 24 回	内容	評価面談 2	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 25 回	内容	評価面談 3	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 26 回	内容	評価面談 4	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 27 回	内容	評価面談 5	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 28 回	内容	評価面談 6	予習	自己評価と省察
				復習	実習の振り返りと自己評価
	第 29 回	内容	実習を振り返って	予習	自己評価と省察
				復習	グループごとの実習の振り返り
	第 30 回	内容	まとめ、日誌の返却、講評	予習	感想文を書く
				復習	自己評価を考察する
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。					
課題へのフィードバック	実習の評価面談、及び反省を通して、フィードバックする				
成績評価	試験期間における定期試験： 実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：課題（ 30%）、レポート（ 20%）、授業態度【積極的参加】（ 50%）				
教科書	『施設実習』（立花直樹他著者、ミネルヴァ書房）				
参考文献	『保育福祉小六法 2021 年版』（保育福祉小六法編集委員会編、みらい）				
注意事項	各実習園に対する注意事項の説明、提出書類の作成等を行うので、原則として欠席は認めない。また、実習提出書類の遅延、非行・怠惰等は、「実習派遣規制基準」によって禁じられているので十分に留意すること。 ◎派遣施設が決まったら、自主的にその施設機能や利用者について予備学習を行うこと。				

科目名	保育所実習指導Ⅱ	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	あさい たくや 浅井 拓久也
ナンバリングコード	CHS12212	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（遠隔授業を複数回実施する）						
授業の内容	保育実習Ⅱに必要な知識や技術を学ぶ。特に、指導実習での指導計画や実習日誌の考え方や書き方について重点を置く。受講生が自分で調べる、話し合う、まとめる、発表することを中心とした能動的な授業を行う。また、現役保育士によるゲスト講義も行う。						
到達目標	1. 保育実習Ⅱの意義と目的を理解し、保育を総合的に理解する。 2. 指導実習での指導計画の基本的な考え方や書き方を身につける 3. 実習日誌を適切に作成することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1、2、3、4、5、7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授業計画	第1回	内容	保育所実習研究Ⅱの目的と概要	予習	シラバスの目次を読む		
				復習	保育所実習研究Ⅱを学ぶ理由を3つ書く		
	第2回	内容	保育実習Ⅱにおける心構えとマナー	予習	なぜ保育実習にマナーが必要か考える		
				復習	保育実習Ⅰと保育実習Ⅱの違いをまとめる		
	第3回	内容	保育実習Ⅱに必要な書類の準備	予習	どのような書類が必要になるか調べる		
				復習	個人情報とは何かまとめる		
	第4回	内容	指導実習での指導計画の書き方：ねらいの書き方	予習	保育所保育指針の第2章を読む		
				復習	ねらいの書き方をまとめる		
	第5回	内容	指導実習での指導計画の書き方：援助や配慮の書き方	予習	援助と配慮とは何か考える		
				復習	援助と配慮の違いをまとめる		
	第6回	内容	指導実習での指導計画の書き方：乳児クラスの指導計画	予習	乳児の発達の特徴を調べる		
				復習	乳児クラスの指導計画をもう1つ書く		
	第7回	内容	指導実習での指導計画の書き方：1歳児クラスの指導計画	予習	1歳児の発達の特徴を調べる		
				復習	1歳児クラスの指導計画をもう1つ書く		
	第8回	内容	指導実習での指導計画の書き方：2歳児クラスの指導計画	予習	2歳児の発達の特徴を調べる		
				復習	2歳児クラスの指導計画をもう1つ書く		
	第9回	内容	指導実習での指導計画の書き方：3歳児クラスの指導計画	予習	3歳児の発達の特徴を調べる		
				復習	3歳児クラスの指導計画をもう1つ書く		
	第10回	内容	指導実習での指導計画の書き方：4歳児クラスの指導計画	予習	4歳児の発達の特徴を調べる		
				復習	4歳児クラスの指導計画をもう1つ書く		
	第11回	内容	指導実習での指導計画の書き方：5歳児クラスの指導計画	予習	5歳児の発達の特徴を調べる		
復習				5歳児クラスの指導計画をもう1つ書く			
第12回	内容	実習日誌の書き方：目的と概要	予習	なぜ実習日誌が必要か考える			
			復習	なぜ実習課題が必要か考える			
第13回	内容	実習日誌の書き方：エピソードの選び方と書き方	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
			復習	考察の書き方をまとめる			
第14回	内容	実習日誌の書き方：乳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
			復習	乳児クラスのエピソードを調べる			
第15回	内容	実習日誌の書き方：2歳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
			復習	2歳児クラスのエピソードを調べる			
第16回	内容	実習日誌の書き方：3歳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
			復習	3歳児クラスのエピソードを調べる			
第17回	内容	実習日誌の書き方：5歳児クラスのエピソードの事例分析	予習	保育実習Ⅰの日誌を読みなおす			
			復習	5歳児クラスのエピソードを調べる			
第18回	内容	実習日誌の書き方：他者の日誌を添削する	予習	第12回から第17回までのノートを見直す			
			復習	保育実習Ⅰの日誌を添削する			
第19回	内容	訪問指導の意義と目的	予習	なぜ訪問指導が必要か考える			
			復習	訪問指導時に質問すべきことをまとめる			
第20回	内容	保育所実習研究Ⅱでの学びを振り返る	予習	第1回から第19回までのノートを見直す			
			復習	保育所実習研究Ⅱから学んだことを書く			
第21回	内容		予習				
			復習				

	第 22 回	内容		予習		
				復習		
	第 23 回	内容		予習		
				復習		
	第 24 回	内容		予習		
				復習		
	第 25 回	内容		予習		
				復習		
	第 26 回	内容		予習		
				復習		
	第 27 回	内容		予習		
				復習		
	第 28 回	内容		予習		
				復習		
	第 29 回	内容		予習		
				復習		
	第 30 回	内容		予習		
				復習		
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。復習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。					
	課題へのフィードバック	課題や発表に関しては確認後、授業内で補足説明や解説講義を行う。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法：レポート・課題（50%）、作品・発表（30%）、授業態度【積極的参加】（20%）					
教科書	『パターンと練習問題でだれでも書けるようになる！保育実習日誌・指導案』（浅井拓久也、明治図書）					
参考文献	『保育所保育指針（平成29年告示）』（厚生労働省、フレーベル館）、『保育所保育指針解説 平成30年3月』（厚生労働省、フレーベル館）					
注意事項	幼児教育研究の授業内容や各種実習時期等の関係で、授業計画を変更することがある。					

科 目 名	教育実習 I	単 位 数	2	授業時間数	90	担当教員	おおくま きたざわ 大 熊 ・ 北 澤
ナンバリングコード	EDU12105	授業形態	実習	実務経験	有		
授 業 の 内 容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。教育実習 I（前期教育実習）では、保育活動に直接参加する前段階として、子どもや保育者の活動を見学・観察し、客観的に記録する見学・観察実習と、保育活動に加わり、体験を通して保育の営みについて学ぶ参加実習を行う。						
到 達 目 標	1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができる。 2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。 3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科（1・2・3・4・7）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）						
授 業 計 画	○前期教育実習：見学・観察・参加実習 幼稚園で生活する子どもや保育者の日々の営みについて、見学・観察をする。また、子どもの実態や保育内容、保育者の職務等について理解を深める。具体的には、以下の5つのねらいを持ち10日間の実習を行う。 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 一日の保育の流れを理解する。</li> <li>(2) 子どもの生活実態と活動の様子を理解する。</li> <li>(3) 保育者の職務内容や保育活動について理解する。</li> <li>(4) 保育者としての自覚・態度を確認する。</li> <li>(5) 今後の学習の目標や自己課題について確認する。</li> </ol>						
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（ ）、レポート・課題（ 10 ）、作品・発表（ ）、実技（ 70 ）、授業態度【積極的参加】（ 10 ）						
教科書	『書名』（著者名、出版社名）						
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）						
注意事項							

科目名	教育実習Ⅱ	単位数	2	授業時間数	90	担当教員	おおくま 大熊 いざわ ・伊澤
ナンバリングコード	EDU12205	授業形態	実習	実務経験	有		
授業の内容	教育実習は幼稚園教諭の免許状を取得するための必修科目である。これまで学んできた学校での理論を統合的に整理し、保育の場でどのように具現化・統合化されているのかを理解する。前期実習での学びを通し、後期実習では、幼稚園での子どもの生活や保育者の日々の営みについてさらに理解を深め、幼稚園教諭（保育者）として必要な技術を習得していく。						
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育実習の意義を理解し、課題を持ち実習に臨むことができている。</li> <li>2. 幼稚園の機能や活動内容を理解し、幼稚園教育の場を統合的に理解している。</li> <li>3. 実習を通し、社会人としてのマナー、保育者としての使命感を認識することができている。</li> </ol>						
学位授与方針	幼児教育学科（ 1, 2, 3, 4, 7 ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ ）						
授業計画	<p>○後期教育実習：参加・指導実習</p> <p>前期実習での体験、大学で学んだ理論や技術を基に、幼稚園教育の場を統合的に理解する。また、実習生が主体となって指導する実践体験を積み重ねることにより、保育者論や指導技術の向上を図る。具体的には以下の3つのねらいを持ち、10日間の実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 幼稚園の機能や活動内容を理解する。</li> <li>(2) 大学で学んだ理論や技術と実践との関連性を確認する。</li> <li>(3) 社会人としてのマナー、保育者としての使命感等を認識する。</li> </ol>						
成績評価	<p>試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない</p> <p>成績評価の方法： 実習園による評価（50%）、実習日誌評価（50%）</p>						
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）						
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）						
注意事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「教育実習指導Ⅱ」を履修し、準備をすると同時に実習生としてふさわしい言動を心がけること。</li> <li>2. 実習関係書類の提出期限は厳守すること。</li> <li>3. 「実習派遣規制」に基づき、実習の停止、中止等が行われる場合があるため注意すること。</li> </ol>						

科目名	教育実習指導 I	単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおくま きたざわ 大熊・北澤
ナンバリングコード	EDU12106	授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他( )						
授業の内容	教育実習と並行して行われる授業であり、教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。前期教育実習の各段階における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。						
到達目標	1. 前期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持っている。 2. 前期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3. 前期教育実習の事前事後指導を通し、後期教育実習に向けて必要な、保育者としての資質・能力を身につけている。						
学位授与方針	幼児教育学科(1・2・3・4) 地域保育学科( ) 文化表現学科( )						
授業計画	第1回	内容	幼稚園教育の意義の理解	予習	幼稚園教育要領を読んでおく		
				復習	配布資料を読み返す		
	第2回	内容	教育実習の目的の理解	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	教育実習の目的についてまとめる		
	第3回	内容	前期教育実習の目的の理解	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	実習の手引きと配布資料を読み復習する		
	第4回	内容	前期教育実習参加の心得	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	手引き・配布資料をみながら復習をする		
	第5回	内容	実習配当資料作成指導① 配当資料について	予習	自分の住んでいる地域の幼稚園について調べる		
				復習	授業での説明を基に、幼稚園を調べる		
	第6回	内容	実習配当資料作成指導② 配当資料の作成	予習	先輩の報告書を読み、自分の行きたい園を考える		
				復習	配当資料の作成を行う		
	第7回	内容	実習内容指導① 幼稚園の一日の流れ	予習	配当資料に記入した園のディリープログラムを調べる		
				復習	配布資料と自分の調べたディリープログラムを見直し幼稚園の一日の流れについて理解を深める		
	第8回	内容	実習内容指導② 参加・観察実習の留意点	予習	実習の手引きの教育実習部分を読み直しておく		
				復習	配布資料と手引きを読み返す		
	第9回	内容	実習内容指導③ 実習中の心構え	予習	実習の手引きの該当部分を読んでくる		
				復習	配布資料・手引きをみて自分の心構えをまとめる		
	第10回	内容	実習内容指導④ 実習中のマナー・身支度	予習	実習中のマナーや身支度について考えまとめておく		
				復習	配布資料を読み返し、今から実施できることを箇条書きにまとめる		
	第11回	内容	実習内容指導⑤ 守秘義務について	予習	実習の手引きの該当部分を読んでおく		
				復習	実習の手引きを読み返し守秘義務について理解する		
	第12回	内容	実習生調査書作成指導① 記入上の注意	予習	自分の長所・短所を箇条書きにしておく		
				復習	記入上の注意を読み返す		
	第13回	内容	実習生調査書作成指導② 自己評価・資格・健康状態棟	予習	自分の持つ資格などを確認しておく		
				復習	実習生調査書(下書き)の抱負以外を記入する		
	第14回	内容	実習生調査書作成指導③ 抱負	予習	実習への心構えや想いを整理しておく		
				復習	実習への抱負を文章にしてみる		
	第15回	内容	実習生調査書作成指導④ 作成・提出	予習	実習生調査書(下書き)の抱負の見直しを行う		
				復習	作成したものの見直しを行う		
	第16回	内容	実習配当発表と今後の流れについて	予習	前期の内容を復習する		
				復習	自分の配当先を確認し実習園の概要を調べる		
	第17回	内容	オリエンテーションについて	予習	実習園の概要の見直し、場所などを確認しておく		
				復習	オリエンテーションへの準備を行う		
	第18回	内容	教育実習日誌の作成指導① 教育実習日誌とは	予習	実習園の概要などをまとめたものに目を通しておく		
				復習	配布資料を読み返す		
第19回	内容	教育実習日誌の作成指導② 実習園の概況・環境等	予習	実習日誌の書式全体に目を通す			
			復習	実習園の概況など記入できる部分を記入する			

第20回	内容	教育実習日誌の作成指導③ 実習課題とは	予習	前期教育実習において学びたいことを箇条書きにしておく
			復習	実習課題をまとめる
第21回	内容	実習報告会	予習	先輩への質問を箇条書きにしておく
			復習	報告会の振り返りを記入する
第22回	内容	教育実習日誌の作成指導④ 保育の記録:一日の流れ	予習	幼稚園の一日についての配布資料を読み返す
			復習	一日の流れについての出された課題を行う
第23回	内容	教育実習日誌の作成指導⑤ 保育の記録:振り返り	予習	振り返りの書式(日誌)に目を通しておく
			復習	配布資料を読み返す
第24回	内容	部分実習指導案の作成指導	予習	前期教育実習の段階について手引きや配布資料を見返しておく
			復習	部分実習指導案を作成する
第25回	内容	直前指導・最終確認	予習	日誌の必要な部分を記入する
			復習	最終チェックの項目を自分で確認し実習への準備を進める
第26回	内容	前期教育実習の振り返り:自己評価	予習	実習日誌を完成し実習園への提出などを行う
			復習	自分自身の評価を記入する
第27回	内容	前期教育実習の振り返り:グループワーク	予習	実習の振り返りを自分の言葉でまとめておく
			復習	振り返りを共有した感想などをまとめる
第28回	内容	前期教育実習評価	予習	評価面談にむけて実習の振り返りを行う
			復習	園からの評価を受け、後期への課題を考える
第29回	内容	前期教育実習の総括	予習	学校への日誌提出に向け、最終確認する
			復習	これまでの振り返りを行う
第30回	内容	後期教育実習に向けて	予習	後期実習に向けて主活動の内容を調べてくる
			復習	後期実習に向けて春休みの課題を行う
予習に要する学習時間:概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間:概ね90 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	評価面談にて実習の評価を伝え、後期実習につなげていく。			
成績評価	試験期間における定期試験:実施( )する/( )しない 成績評価の方法: レポート・課題(100%) 授業態度【 積極的参加 】( ) (%)			
教科書	『幼稚園・保育所実習パーフェクトガイド』(小櫃智子他2名、わかば社) 『実習の手引き』(秋草学園短期大学・実習委員会)			
参考文献	『幼稚園教育要領』(文部科学省)			
注意事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明, 提出書類の作成を行うので, 原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延, 授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており, 実習派遣できなくなるので十分に留意すること。 3. 必要な資料は授業内で適宜、配布するので、ファイルを作り毎週持参すること。			

科目名	教育実習指導Ⅱ		単位数	1	授業時間数	30	担当教員	おおくま いざわ 大熊・伊澤
ナンバリングコード	EDU12206		授業形態	演習	実務経験			
授業方式	対面・遠隔・その他（ ）							
授業の内容	教育実習Ⅱと並行して行われる授業であり、後期教育実習に関する事前事後の指導を行う。具体的には、後期教育実習の目的、幼稚園の機能、幼稚園教諭の職務内容について学ぶとともに、実習手続きに必要な書類の作成の指導を行っていく。後期実習における実習内容や目的、実習記録の方法、指導計画の理解と作成について学習することを目的とする。							
到達目標	1. 後期教育実習の事前準備として、実習の心構えを理解し、実習に必要な態度や意欲を持つ。 2. 後期教育実習の事前準備として、実習の課題を明確にしている。 3. 実習の事前事後指導を通し、保育者としての資質・能力を身につけている。							
学位授与方針	幼児教育学科（1, 2, 3, 4）地域保育学科（ ）文化表現学科（ ）							
授業計画	第1回	内容	後期実習の目的・心得の理解	予習	「実習の手引き」の後期実習の目的・心得を読んでおく			
				復習	後期実習の目的・心得について、まとめる			
	第2回	内容	後期実習手続き書類の作成指導 調査書について	予習	調査書記入内容について考えてくる			
				復習	調査書を完成させる			
	第3回	内容	オリエンテーションについて	予習	前期実習のオリエンテーションの反省点を書きだしておく			
				復習	後期実習のオリエンテーションに必要なことをまとめる			
	第4回	内容	実習中のマナーについて	予習	実習生のマナーについて確認する			
				復習	実習生として必要マナーについて理解を深める			
	第5回	内容	部分実習の留意点	予習	部分実習の内容について考えてくる			
				復習	部分実習の内容をまとめる			
	第6回	内容	責任実習の留意点	予習	責任実習の内容について考えてくる			
				復習	責任実習の内容をまとめる			
	第7回	内容	後期実習日誌の作成指導① 実習課題について	予習	後期実習に必要な視点について考えてくる			
				復習	後期実習に必要な視点について、まとめる			
	第8回	内容	後期実習日誌の作成指導③ 保育の記録・振り返り	予習	前期実習の保育の記録で指摘された点について確認してくる			
				復習	保育の記録記入の留意点をまとめる			
	第9回	内容	指導計画案の作成指導① 指導案とは	予習	指導案について調べてくる			
				復習	指導案を作成する目的について理解を深める			
	第10回	内容	指導計画案の作成指導② 指導案作成の留意点	予習	指導案作成の留意点について考えてくる			
				復習	指導案作成の留意点についてまとめる			
第11回	内容	指導計画案の作成指導③ 部分指導案作成（主活動：制作）	予習	指導案を作成する制作活動を調べてくる				
			復習	制作の指導案を完成させる				
第12回	内容	指導計画案の作成指導④ 部分指導案作成（主活動：ゲーム）	予習	指導案を作成するゲームを調べてくる				
			復習	ゲームの指導案を完成させる				
第13回	内容	指導計画案の作成指導⑤ 日案作成（デイリー）	予習	日案作成に必要な情報を調べてくる				
			復習	日案の主活動以外の部分を完成させる				
第14回	内容	指導計画案の作成指導⑥ 日案作成	予習	日案作成に必要な材料をそろえてくる				
			復習	デイリーと主活動を合わせて、日案を完成させる				
第15回	内容	直前指導・まとめ	予習	これまで学んだ内容を復習してくる				
			復習	後期実習の準備が整っているか確認する				
第16回	内容	実習概要報告書の作成	予習	概要報告書に記入する内容をまとめてくる				
			復習	概要報告書を完成させる				
第17回	内容	実習の総括① 後期実習の振り返り：責任実習について（自己評価）	予習	後期実習の責任実習の振り返りをしてくる				
			復習	後期実習の責任実習で学んだことをまとめる				
第18回	内容	実習の総括② 後期実習の振り返り：責任実習について（グループワーク）	予習	後期実習の責任実習から学んだことをワークシートに記入しておく				
			復習	グループワークから見えてきたことをまとめる				
第19回	内容	実習の総括③ 後期実習の振り返り：課題について（自己評価）	予習	後期実習の課題の振り返りをしてくる				
			復習	後期実習の課題で達成できたことをまとめる				
第20回	内容	実習の総括④	予習	後期実習から学んだことをワークシートに記入しておく				

		後期実習の振り返り：課題について（グループワーク）	復習	グループワークから見てきたことをまとめる
第 21 回	内容	実習の総括⑤ 前期実習との比較から振り返り（自己評価）	予習	前期実習との違いを考えてくる
			復習	前期実習と比較して、成長した点、今後学ぶべき点等をまとめる
第 22 回	内容	実習の総括⑥ 前期実習との比較から振り返り（グループワーク）	予習	前期実習との違いを発表できるように準備する
			復習	グループワークから見てきたことをまとめる
第 23 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
			復習	評価を受けて、省察する。
第 24 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
			復習	評価を受けて、省察する。
第 25 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
			復習	評価を受けて、省察する。
第 26 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
			復習	評価を受けて、省察する。
第 27 回	内容	評価面談	予習	実習の自己評価をまとめる
			復習	評価を受けて、省察する。
第 28 回	内容	成果報告①	予習	成果報告の準備をする
			復習	成果報告をまとめる
第 29 回	内容	成果報告②	予習	成果報告の準備をする
			復習	成果報告をまとめる
第 30 回	内容	成果報告③	予習	成果報告の準備をする
			復習	成果報告をまとめる
予習に要する学習時間：概ね 15 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	個別面談にて実習に関する評価を伝える。			
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： レポート・課題（60%）、授業態度【主体的取組】（40%）			
教科書	『実習の手引き』（実習委員会）			
参考文献	『幼稚園教育要領』（文部科学省）			
注意事項	1. 実習について必要な事柄や注意事項の説明，提出書類の作成を行うので，原則として欠席は認めない。 2. 実習書類の遅延，授業態度の怠慢等は「実習派遣規制」によって禁じられており，実習派遣できなくなるので十分に留意すること。			

【幼児教育学科第一部・二部】

「実務経験のある教員等による授業科目」一覧

(シラバスリンク)

[https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/infant1\\_resume/yk\\_syllabus\\_2021.pdf](https://www.akikusa.ac.jp/akitan/pdf/infant1_resume/yk_syllabus_2021.pdf)

	科目名	単位数	授業形態	担当教員	シラバスページ
1	保育所実習Ⅰ	2	実習	小口偉	109
2	施設実習	2	実習	志濃原亜美・三好力	110
3	保育所実習Ⅱ	2	実習	浅井拓久也	111
4	教育実習Ⅰ	2	実習	大熊美佳子・北澤明子	118
5	教育実習Ⅱ	2	実習	大熊美佳子・伊澤永修	119
	計	10			

注) 「実務経験のある教員等による授業科目」とは、担当する授業科目に関連した実務経験を有している者が、その実務経験を十分に授業に活かしつつ、実践的教育を行っている授業科目を指す。実務経験があっても、担当する授業科目の教育内容と関わりがなく、授業に実務経験を活かしているとは言えない場合は対象とはならないことに注意すること。また、必ずしも実務経験のある教員が直接の担当でなくとも、例えば、オムニバス形式で多様な企業等から講師を招いて指導を行う場合や、学外でのインターンシップや実習等を授業の中心に位置付けているなど、主として実践的教育から構成される授業科目もこれに含む。必修科目、選択科目又は自由科目の別を問わない。